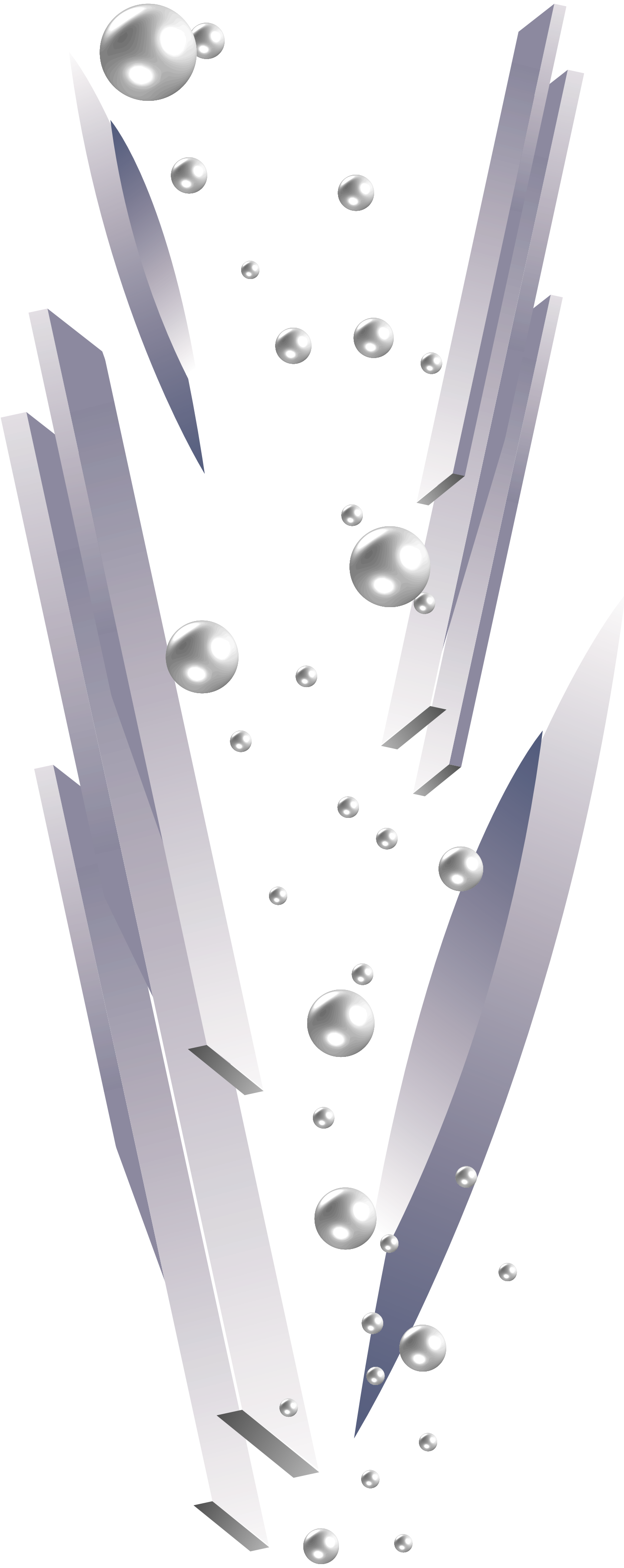
NTT

ISDN



INSメイトV-384

取扱説明書

このたびは、INSメイトV-384をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いておお使いください。

1 お使いになる前に

2 データ通信を行う

3 より便利に使う

4 リモート保守を行う

5 ご参考に

技術的条件適合認定品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、NTT窓口等でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用にあたってのお願い

本商品をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機がご不要となった場合は、NTT（局番なしの116番）にご連絡いただければ、「機器使用料金」は、不要となります。

- 本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
  取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、NTT窓口等へお申しつけください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

⚠警告

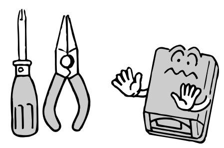
●万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

●万一、本装置を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

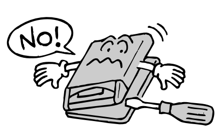
●万一、内部に水などが入ったり、本装置をぬらした場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●本装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●本装置を分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●本装置のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

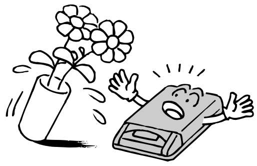


●異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

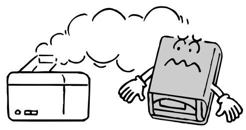
安全にお使いいただくために必ず お読みください

⚠警告

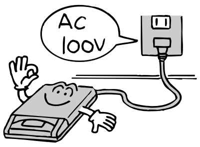
●本装置のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



●ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



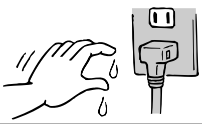
●ＡＣ１００Ｖの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



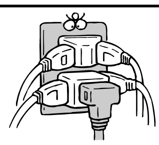
●電源コードに傷をつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら、電源プラグをコンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

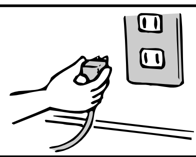


●お客様がご用意された機器を本装置に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続して使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●本装置を移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、電話機コードを差込口から抜いて、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグを電源コンセント（ＡＣ１００Ｖ）に差し込むときは、確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグの本体を持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



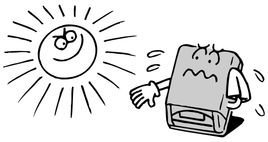
●電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また半年から1年に1回は電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。

お使いになる前に（設置環境）

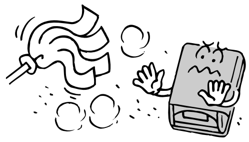
⚠注意

●本装置底面にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

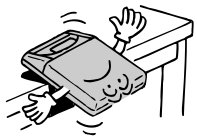
●直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



●調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所、鉄粉や有毒ガスが発生する場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



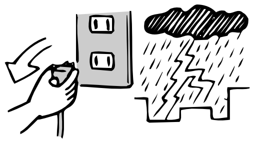
●振動・衝撃の多い場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お使いのとき

⚠注意

●雷が鳴り出したら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷により感電の原因となることがあります。



●本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●本装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと本装置の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
次のような使い方はしないでください。

- じゅうたんや布団の上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。
- 本棚、タンスの中、押入の中など風通しの悪い場所に置く。
- あおむけに置く。

●長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●電源コードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。

●お手入れをするときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

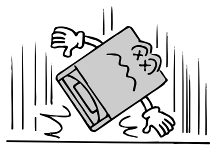
取り扱いについて

STOP お願い

●ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本装置の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。



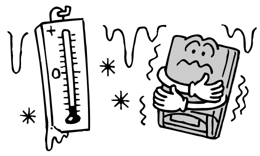
●落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



置き場所について

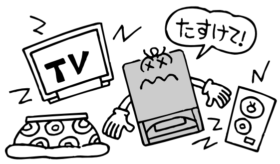
STOP お願い

●製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本装置が正常に動作しないことがあります。



●電気製品・ＡＶ・ＯＡ機器などの磁気を帯びているところや磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクス、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音等が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 放送局や無線局などが近く、雑音等が大きいときは、本装置の設置場所を移動してみてください。



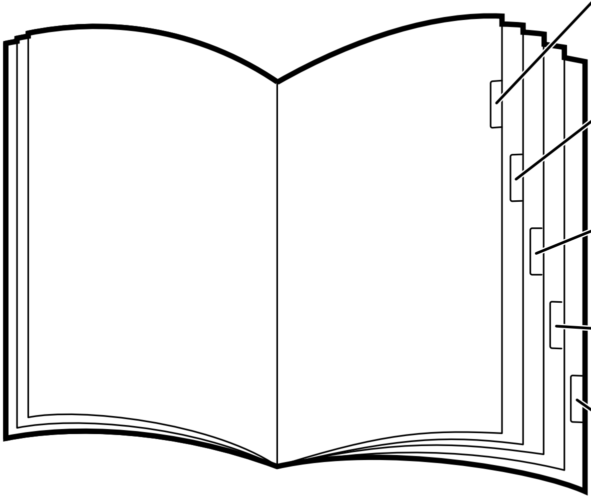
●硫化水素が発生する場所（温泉地）などでは、本装置の寿命が短くなることがあります。

●本装置を積み重ねて使用しないでください。本装置を２台以上使用する場合、積み重ねて設置すると、内部に熱がこもり、キャビネットの表面が熱くなることがあります。



この取扱説明書の見方

この取扱説明書の構成



1 お使いになる前に
ご使用前に知っておいていただきたいことをまとめています。

2 データ通信を行う
データ通信を行うために、発信したり、着信を受けたりする基本操作について説明しています。

3 より便利に使う
各機能をご利用になるときの使い方について説明しています。

4 リモート保守を行う
遠隔地から機能を設定したり、設定データを確認するときの操作方法などを説明しています。

5 ご参考に
故障かな？と思ったときの確認方法などを説明しています。

操作説明書のページの構成

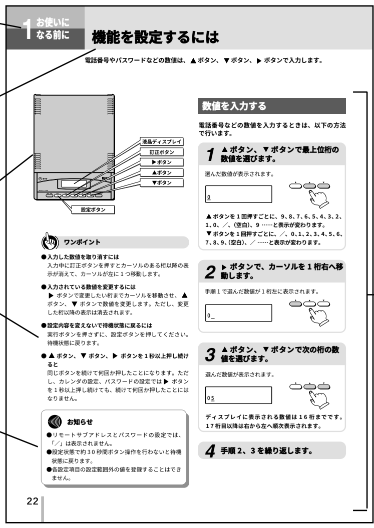
章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル
目的ごとにタイトルが付けられています。

装置イラスト
操作で使うボタンなどの位置を示します。

ワンポイント
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明です。

お願いまたはお知らせ
〈お願い〉
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。
〈お知らせ〉
この表示は、本装置を取り扱ううえでの注意事項を示します。



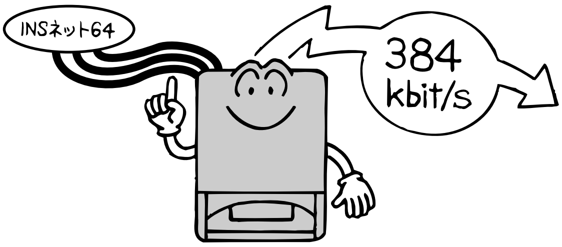
操作手順説明
順番に操作を説明します。

目　次

特長

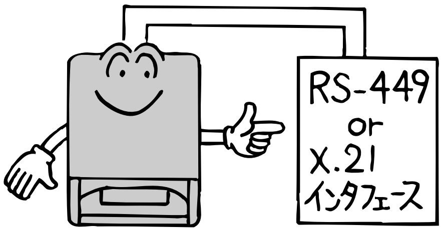
高速データ通信

INSネット64のBチャネルを束ねて384kbit/sのデータ伝送が可能です。



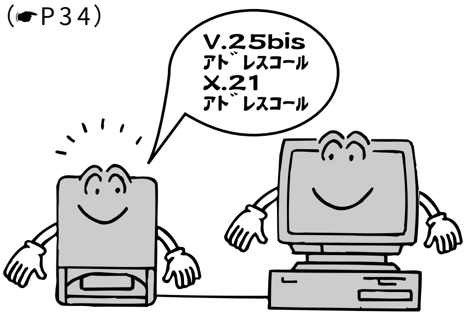
V.35のデータポートを装備

オプションの変換ケーブルをお使いになると、データポートにRS-449またはX.21インタフェースを持つデータ端末機器などを接続することができます。（☛P30、31）



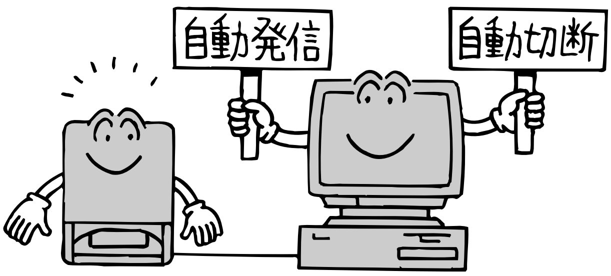
アドレスコール

データポートに接続したデータ端末機器により、V.25bisアドレスコール、X.21アドレスコールができます。（☛P34）



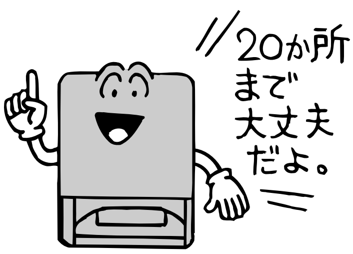
自動発信／自動切断が可能

データポートに接続したデータ端末機器により、自動発信／自動切断の操作が行えます。（☛P40）



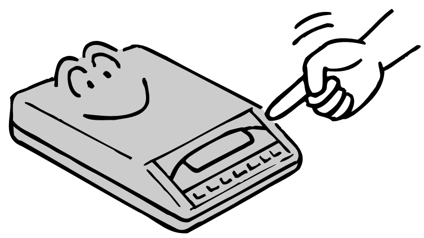
短縮ダイヤルによる発信

相手先の電話番号やサブアドレスを20か所まで短縮番号に登録し、短縮ダイヤルを使って発信することができます。（☛P43）



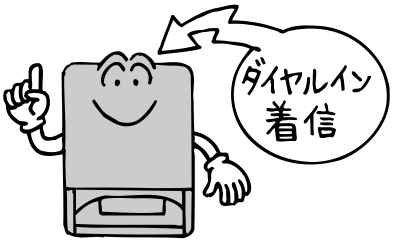
操作パネルを使った手動発信

操作パネルのボタンで、相手先の電話番号やサブアドレスを指定して発信することができます。（☛P44）



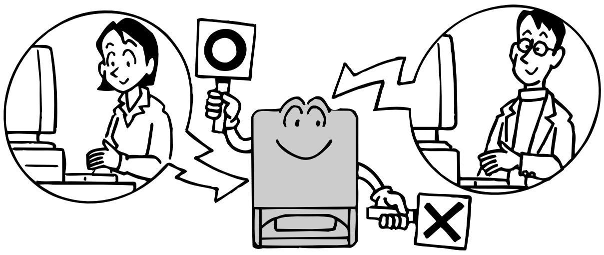
ダイヤルイン着信が可能

着番号、着サブアドレスを設定することにより、ダイヤルイン着信が行えます。（☛P23）



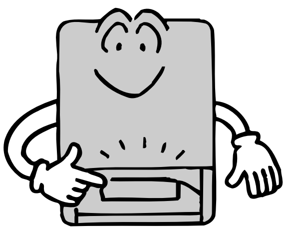
識別着信

あらかじめ登録しておいた相手先からの着信だけを受け付けることができます。（☛P50）



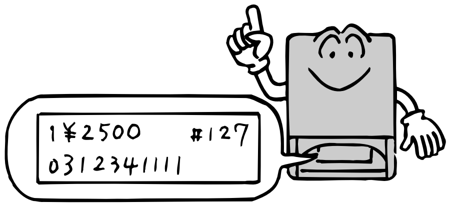
液晶ディスプレイによる状態表示

液晶ディスプレイに動作状態が表示されます。（☛P13）



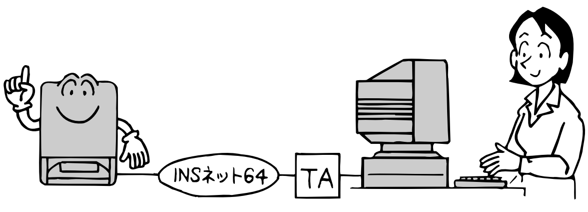
通信履歴の表示

過去20回分の相手先の電話番号、切断理由、通信開始時刻、通信終了時刻、料金、切断要因を液晶ディスプレイに表示することができます。（☛P49）



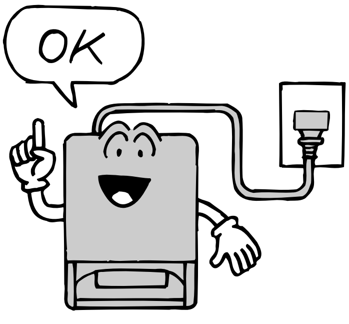
リモート保守

遠隔地からV.110端末を使って、データ設定の一部や自己診断結果、通信履歴などを確認することができます。（☛P53）



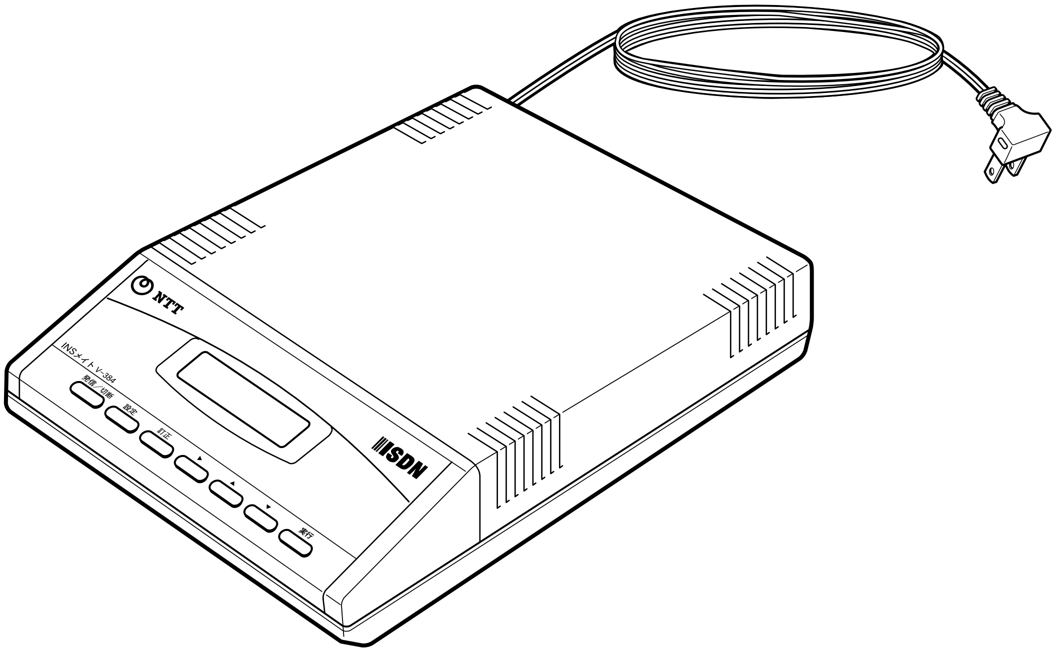
自己診断

電源を入れたときやリセットしたときに、装置内の回路などが正常かどうかを自動的にチェックします。
（☛P14）

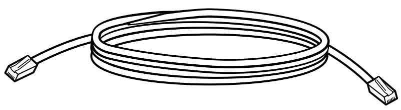


セットを確認してください

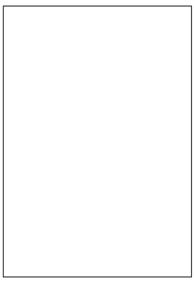
■本体



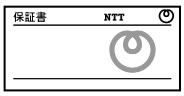
■付属品



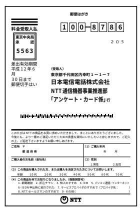
電話機コード（8ピン）
（3本）



取扱説明書（1部）



保証書（1枚）



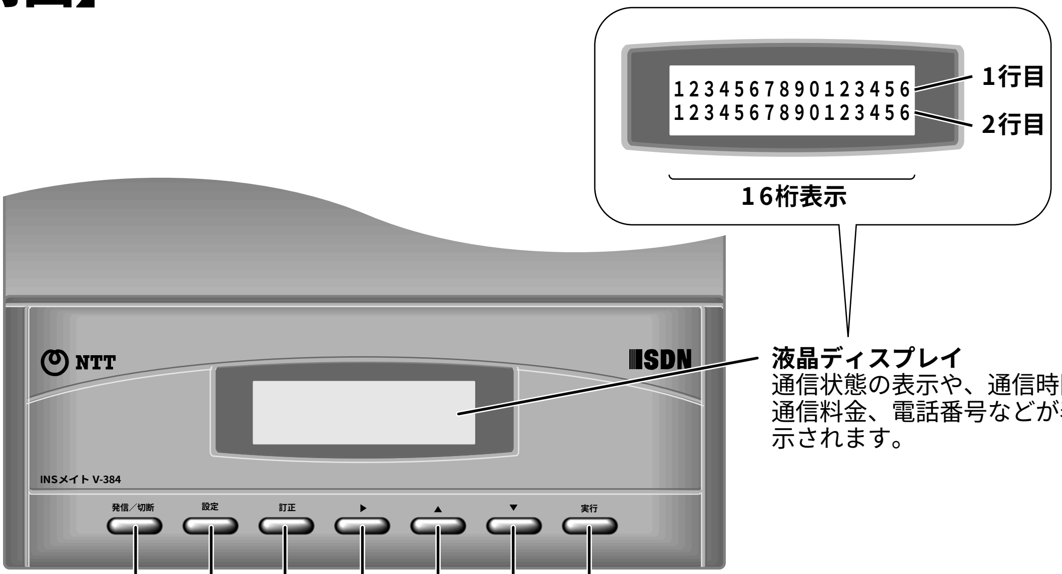
アンケートハガキ（1枚）

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、NTT窓口等へご連絡ください。

●本装置はRS-449またはX.21インタフェースを持ったデータ端末機器を接続することができます。その際はRS-449変換ケーブルまたはX.21変換ケーブル（オプション）をNTT窓口等でお買い求めのうえ、ご使用ください。（☛P30、31）

各部の名前

【上面／前面】



液晶ディスプレイ
通信状態の表示や、通信時間、通信料金、電話番号などが表示されます。

発信／切断ボタン

設定ボタン

訂正ボタン

実行ボタン

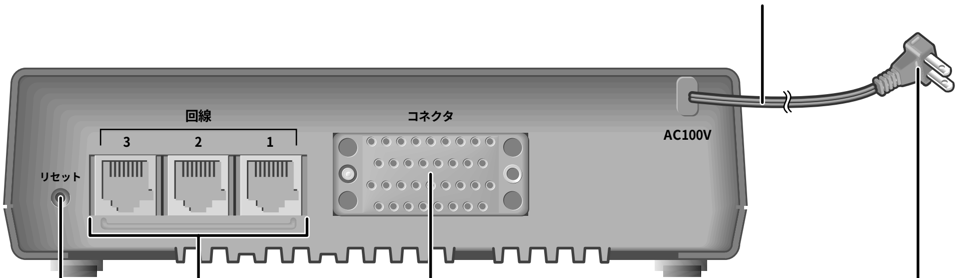
▼ ボタン

▲ ボタン

▶ ボタン

【背面】

電源コード



リセットスイッチ

電源プラグ
商用電源のコンセント（AC100V、50/60Hz）に差し込みます。

INSネット64回線接続用ジャック（回線）
INSネット64回線に付属の電話機コード（8ピン）で接続します。

データ端末機器コネクタ
データ端末機器を接続します。（V.35インタフェース34ピンコネクタ）

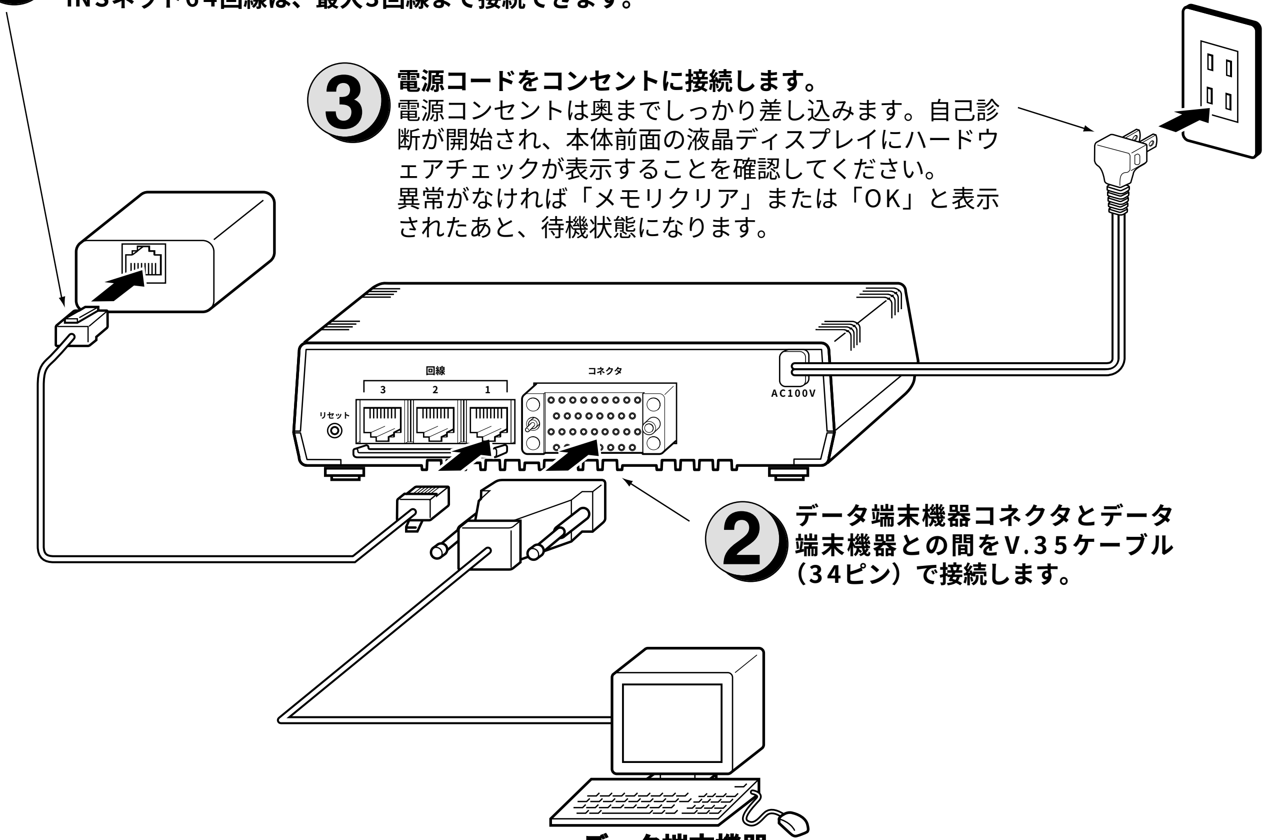
接続します

本装置とINSネット64回線、データ端末機器および電源を接続します。

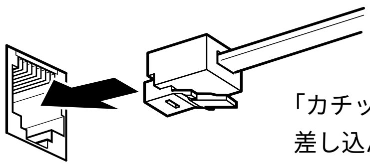
① INSネット64回線接続用ジャック（回線）とINSネット64回線用モジュラジャックとの間を、付属品の電話機コード（8ピン）で接続します。INSネット64回線は、最大3回線まで接続できます。

③ 電源コードをコンセントに接続します。
電源コンセントは奥までしっかり差し込みます。自己診断が開始され、本体前面の液晶ディスプレイにハードウェアチェックが表示することを確認してください。
異常がなければ「メモリクリア」または「OK」と表示されたあと、待機状態になります。

② データ端末機器コネクタとデータ端末機器との間をV.35ケーブル（34ピン）で接続します。

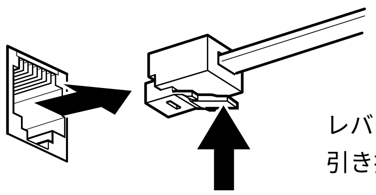


●電話機コードを差し込むとき



「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

●電話機コードを引き抜くとき



レバーを押さえながら引き抜いてください。

お知らせ

- ●INSネット64回線接続用ジャック（回線）に接続している電話機コードが外れたときは、再び接続しても正常に動作できない場合がありますので、ご注意ください。再び接続しても正常に動作しない場合は、電話機コードを外したまま約10秒間待ってから接続してください。
- ●ハードウェアチェックで「ソウチイジョウ」と表示されたときは、当社のサービス取扱所へお問い合わせください。
- ●データ端末機器の種類によっては正常に動作できない場合がありますので、ご注意ください。

お願い

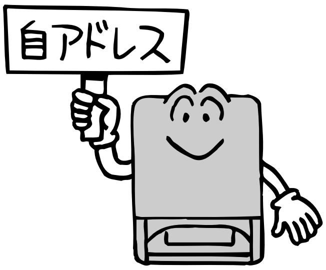
- ●データ端末機器の接続に使用するコード類は、データ端末機器に付属のものを使用するか、接続するデータ端末機器に適合したものを使用してください。
- ●INSネット64回線接続用ジャック（回線）へ接続するときは、付属品の電話機コード（8ピン）を使用してください。
- ●データ端末機器コネクタへの接続は、本装置の電源を切った状態で行い、ネジで固定してください。
- ●データ端末機器コネクタへ接続するケーブルは、使用するDTEインタフェースの規格に従った長さ20mまでのケーブルを使用してください。
- ●オプションのRS-449変換ケーブルとX.21変換ケーブルの接続は、本装置側およびデータ端末側ともネジで固定してください。

お使いになる前に設定する機能一覧

お使いになる前に、あらかじめ設定する機能は以下のとおりです。

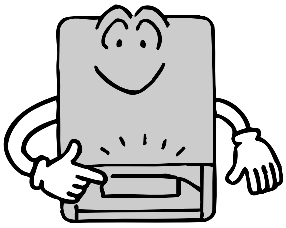
アドレス、サブアドレスを設定する

アドレスコール、手動発信、短縮発信、自動発信、自動応答を行うために、アドレスを必ず設定してください。(☛P23)



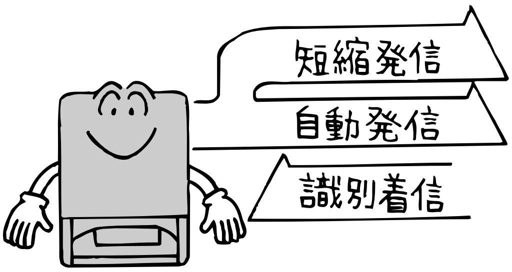
カレンダを設定する

カレンダを設定すると、液晶ディスプレイに現在の時刻を表示することができます。また、通信履歴として通信開始時刻、通信終了時刻を表示することができます。(☛P26)



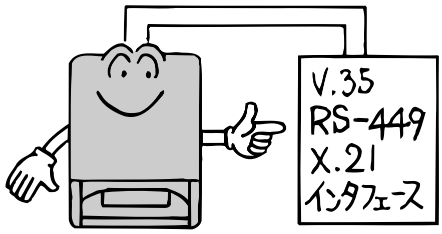
短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルを登録すると、短縮発信、自動発信、識別着信を行うことができます。(☛P28)



データポートのインタフェースを設定する

お買い求め時は、V.35インタフェースに設定されています。RS-449インタフェース、X.21インタフェースを接続する場合は、データポートのインタフェースを設定してください。(☛P30、31)



ワンポイント

● **RS-449インタフェースを接続するには**
RS-449インタフェースを設定し、オプションの変換ケーブルをお使いになると、データポートにRS-449インタフェースを接続することができます。

● **X.21インタフェースを接続するには**
X.21インタフェースを設定し、オプションの変換ケーブルをお使いになると、データポートにX.21インタフェースを接続することができます。

機能を設定するには

機能を設定するときは本装置が通信状態でないこと、および外からの着信がないことを確認してから行ってください。また、設定中はデータ端末機器による自動発信はご使用にならないでください。はじめて設定を行うときは、必ず設定内容をすべてクリアする操作（カレンダを除く）を行ってください。（☛P20）

設定する

待機状態
「01-01　11：59　ADRS」（例）が表示されます。

↓

設定ボタンを押します。

↓

▲ ボタン、▼ ボタンで「ソウチセッテイ」、「DTEセッテイ」、「サンショウ」、「クリア」の中から設定したい項目を選び ▶ ボタンを押します。

↓

▲ ボタン、▼ ボタン、▶ ボタンで設定したい内容を選びます。

↓

▲ ボタン、▼ ボタンで設定内容を入力します。

↓

実行ボタンを押します。
入力した内容が設定されます。

↓

入力していた設定画面が表示されます。

↓

設定ボタンを押します。

↓

待機状態
「01-01　11：59　ADRS」（例）が表示されます。

ワンポイント

●▲ ボタン、▼ ボタンを1秒以上押し続けると
同じボタンを続けて何回か押したことになります。

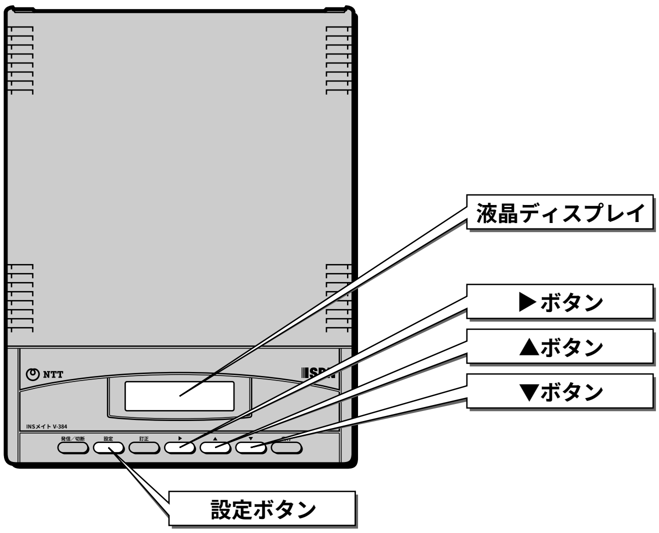
●待機状態の表示は
待機状態のときは液晶ディスプレイに現在の日付、時刻などが表示されます。「ADRS」が表示されるときは、自動発信設定が「ナシ」に設定されていて、アドレスコールが「アリ」に設定されていることを示します。

■設定メニュー一覧

- ソウチセッテイ
  - タンシュクダイヤル
  - ジドウハッシン
  - ジアドレス
  - シキベツチャクシン
  - ハツアドレスツウチ
  - DTEインタフェース
  - カレンダ
  - リモートサブアドレス
  - パスワード
  - オウトウ
  - バルクドウサ
- DTEセッテイ
  - ジドウハッシンセイギョ
  - ER・Cセッテイ
  - RSセッテイ
  - DRセッテイ
  - CIセッテイ
  - CDセッテイ
  - ER・C／RSオフケンシュツ
  - CSチエンジカン
  - V.25bisモード
  - V.25bisハッシンVAL
  - V.25bisアドレス
  - X.21 SIキャラクタ
  - モジコウセイ
  - アドレスコール
- サンショウ
  - ツウシンリレキ
  - ジコシンダンケッカ
- クリア
  - セッテイクリア
  - オールクリア

お知らせ

●設定内容は約7年間メモリバックアップされます。ただし、使用状態によってはこの限りではありません。
●設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。
●各設定項目の設定範囲外の値を登録することはできません。

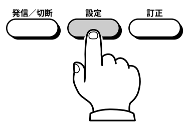


設定したものを確認する

1 設定ボタンを押します。

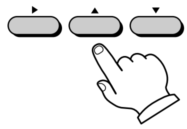
キー設定画面が表示されます。

ソウチセッテイ



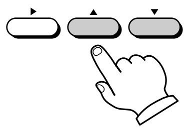
2 ▲ボタン、▼ボタンで「ソウチセッテイ」、「DTEセッテイ」、「サンショウ」、「クリア」の中から確認したい項目を選び▶ボタンを押します。

ジドウハッシンセイギョ



3 ▲ボタン、▼ボタンで確認したい内容を選びます。

ジドウハッシンセイギョ



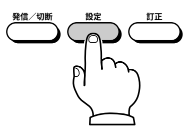
4 ▶ボタンを押し、設定データを確認します。

ジドウハッシンセイギョ
ER

17桁以上の数値が設定されているときは、16桁目まで表示されたあと約5秒後に右から左へ順次表示されます。
設定データが複数ある場合は、▶ボタンで次の項目に進みます。

5 設定ボタンを押します。

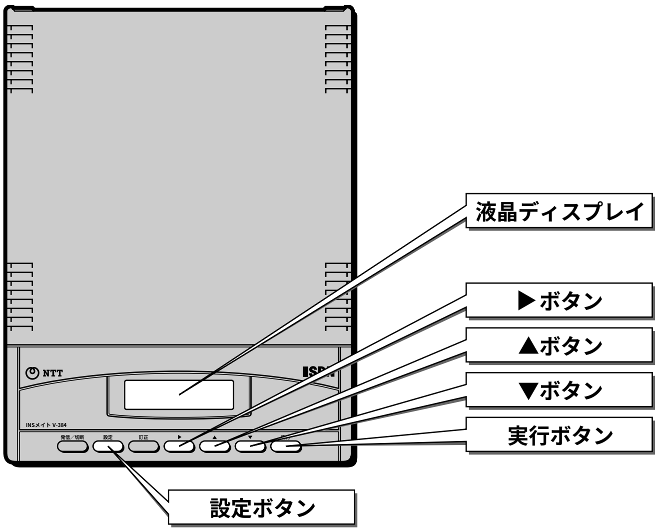
待機状態に戻ります。



ワンポイント

● **▲ボタン、▼ボタンを1秒以上押し続けると**
同じボタンを続けて何回か押したことになります。

機能を設定するには



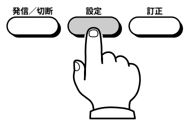
設定内容をクリアする

短縮ダイヤル、パスワード、カレンダを除く設定内容をお買い求め時の設定内容に戻します。

1 設定ボタンを押します。

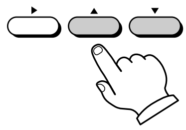
キー設定画面が表示されます。

ソウチセッテイ



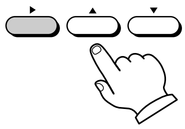
2 ▲ ボタン、▼ ボタンで「クリア」を選びます。

クリア



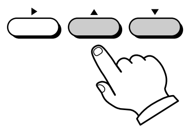
3 ▶ ボタンを押します。

セッテイクリア



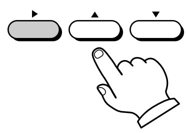
4 ▲ ボタン、▼ ボタンで「セッテイクリア」を選びます。

セッテイクリア



5 ▶ ボタンを押します。

セッテイクリア
NO



ワンポイント

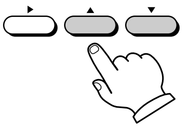
● **▲ ボタン、▼ ボタンを1秒以上押し続けると**
同じボタンを続けて何回か押したことになります。

お知らせ

設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。

6 ▲ボタン、▼ボタンで「YES」を選びます。

セッテイクリア
YES



中止するときは「NO」を選びます。

7 実行ボタンを押します。

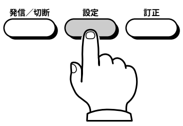
設定されていた内容が消去されます。

セッテイクリア　OK

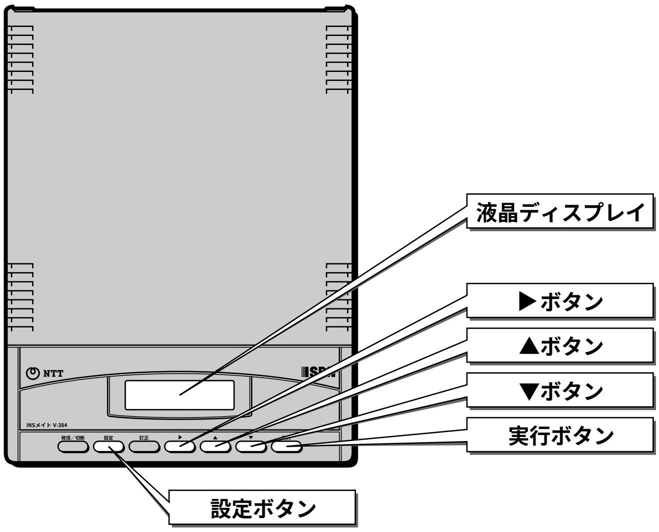


8 設定ボタンを押します。

待機状態に戻ります。



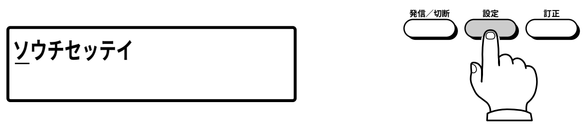
機能を設定するには



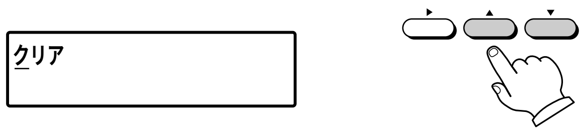
設定内容をすべてクリアする

カレンダを除く設定内容をすべてお買い求め時の設定内容に戻します。

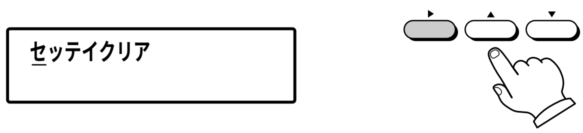
1 設定ボタンを押します。



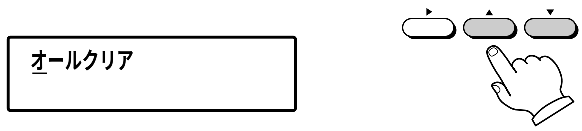
2 ▲ボタン、▼ボタンで「クリア」を選びます。



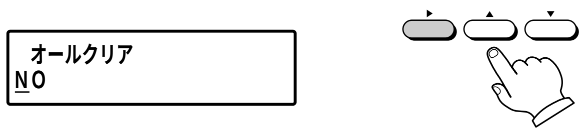
3 ▶ボタンを押します。



4 ▲ボタン、▼ボタンで「オールクリア」を選びます。



5 ▶ボタンを押します。



ワンポイント

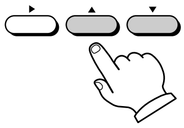
- **▲ボタン、▼ボタンを1秒以上押し続けると**
  同じボタンを続けて何回か押したことになります。

お知らせ

設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。

6 ▲ボタン、▼ボタンで「YES」を選びます。

```
 オールクリア
YES
```



中止するときは「NO」を選びます。

7 実行ボタンを押します。

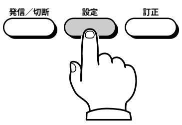
設定されていた内容が消去されます。

```
 オールクリア  OK
```



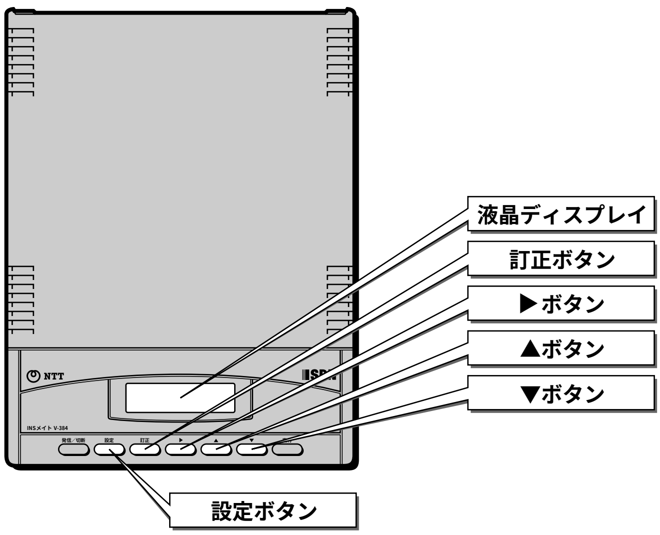
8 設定ボタンを押します。

待機状態に戻ります。



機能を設定するには

電話番号やパスワードなどの数値は、▲ボタン、▼ボタン、▶ボタンで入力します。



ワンポイント

●入力した数値を取り消すには
入力中に訂正ボタンを押すとカーソルのある桁以降の表示が消えて、カーソルが左に1つ移動します。

●入力されている数値を変更するには
▶ボタンで変更したい桁までカーソルを移動させ、▲ボタン、▼ボタンで数値を変更します。ただし、変更した桁以降の表示は消去されます。

●設定内容を変えないで待機状態に戻るには
実行ボタンを押さずに、設定ボタンを押してください。待機状態に戻ります。

●▲ボタン、▼ボタン、▶ボタンを1秒以上押し続けると
同じボタンを続けて何回か押したことになります。ただし、カレンダの設定、パスワードの設定では▶ボタンを1秒以上押し続けても、続けて何回か押したことにはなりません。

お知らせ

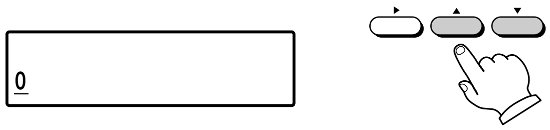
●リモートサブアドレスとパスワードの設定では、「／」は表示されません。
●設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。
●各設定項目の設定範囲外の値を登録することはできません。

数値を入力する

電話番号などの数値を入力するときは、以下の方法で行います。

1 ▲ボタン、▼ボタンで最上位桁の数値を選びます。

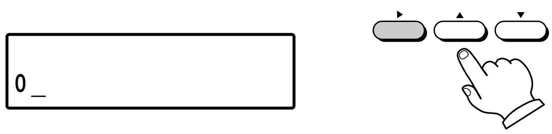
選んだ数値が表示されます。



▲ボタンを1回押すごとに、9、8、7、6、5、4、3、2、1、0、／、（空白）、9 ……と表示が変わります。
▼ボタンを1回押すごとに、／、0、1、2、3、4、5、6、7、8、9、（空白）、／ ……と表示が変わります。

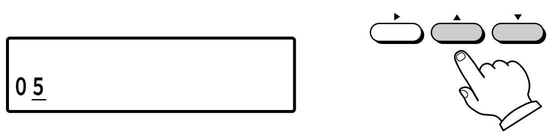
2 ▶ボタンで、カーソルを1桁右へ移動します。

手順1で選んだ数値が1桁左に表示されます。



3 ▲ボタン、▼ボタンで次の桁の数値を選びます。

選んだ数値が表示されます。



ディスプレイに表示される数値は16桁までです。17桁目以降は右から左へ順次表示されます。

4 手順2、3を繰り返します。

アドレス、サブアドレスを設定するには

本装置の電話番号（自アドレス）を設定します。

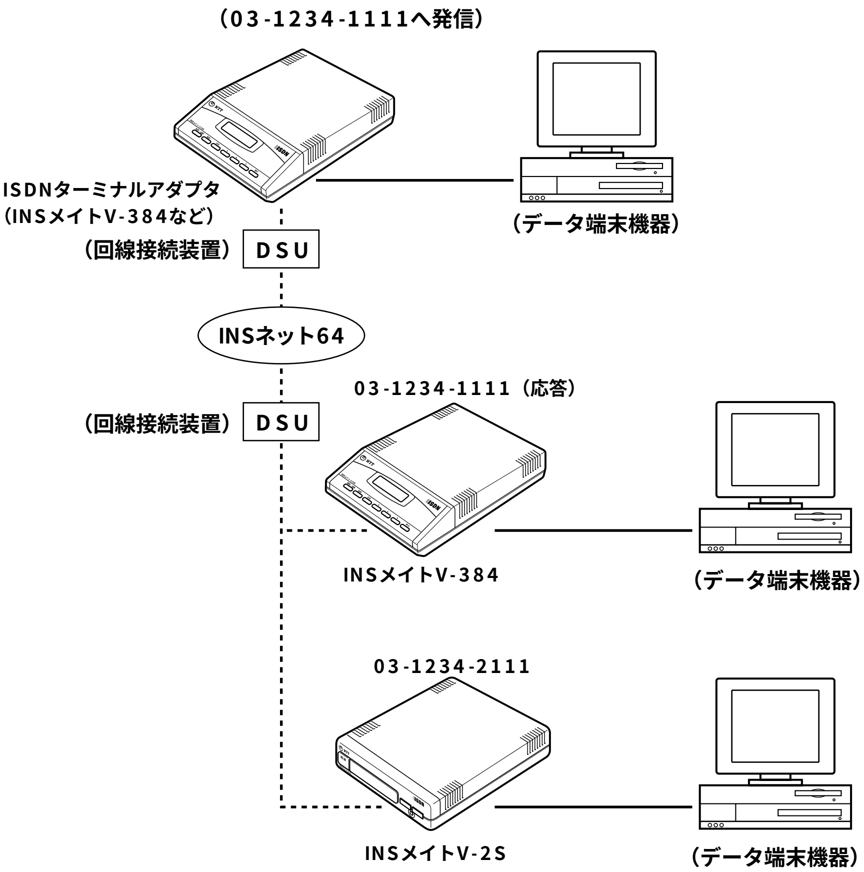
アドレス、サブアドレスとは

アドレスとは

アドレスは電話回線に付けられた電話番号です。NTTのダイヤルインサービス（有料）の申し込みをすると、1つの回線で複数のアドレスを持つことができます。アドレスを、同一バス上に接続されたデータ通信機器ごとに割り付けると、指定したデータ通信機器を呼び出すことができます。同一バス上に他のISDN機器を接続する場合には、ダイヤルインサービスをご利用ください。

■ダイヤルインサービス

〈例〉同一バス上に2つのISDN機器を接続し、それぞれにアドレスを設定したとき



サブアドレスとは

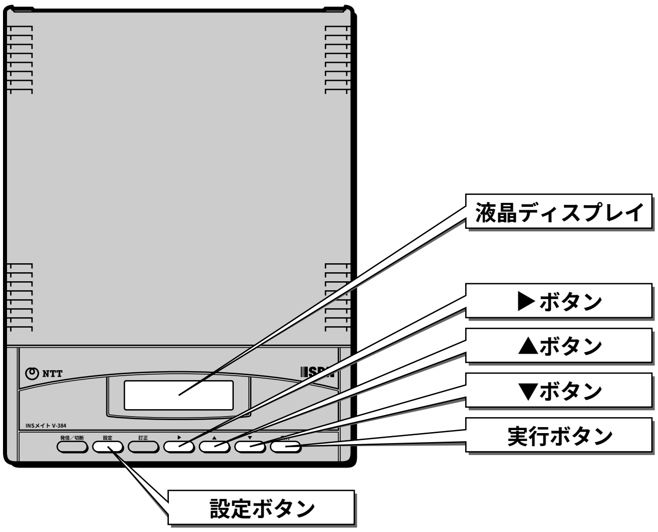
サブアドレスはINSネット64のサブアドレス通知サービス（無料）を受けるときに必要な番号です。電話番号のあとにサブアドレスをダイヤルすると、指定したデータ通信機器を呼び出すことができます。ダイヤルインサービスと同様の機能ですが、相手側もINSネットに加入している必要があります。

お知らせ

本装置は最初に接続したチャネル上で相手の2番目以降のチャネルの電話番号を送信してもらい、そのチャネルに発信して通信を開始します。このとき、相手から送信してもらう電話番号にサブアドレスは含まれないため、2番目以降のチャネルの発信はサブアドレスを指定した通信ができません。

アドレス、サブアドレスを設定するには

本装置の電話番号（自アドレス）とサブアドレスを設定します。ご利用になるすべてのチャネルの自アドレスとサブアドレスを設定してください。

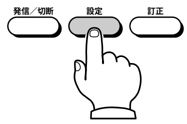


アドレス、サブアドレスを設定する

1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。

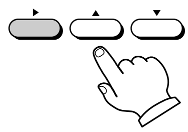
ソウチセッテイ



2 ▶ ボタンを押します。

装置設定画面が表示されます。

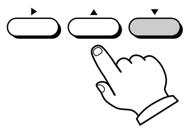
タンシュクタ゛イヤル



3 ▼ ボタンを2回押します。

自アドレスを設定する画面が表示されます。

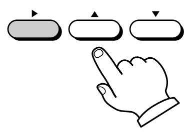
シ゛アト゛レス



4 ▶ ボタンを押します。

チャネル番号を選択する画面が表示されます。
自アドレスが設定されているときは、現在の設定値が表示されます。

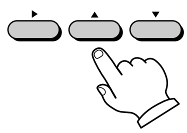
シ゛アト゛レス　1：



5 ▲ ボタン、▼ ボタンでチャネル番号（1～6）を選び、▶ ボタンを押します。

自アドレスを入力する画面が表示されます。
〈例〉チャネル番号2を選んだとき

シ゛アト゛レス　2：
_



ワンポイント

●**設定を中止するときは**
設定ボタンを押します。

●**サブアドレスを設定するときは**
手順6で、アドレス番号のあとに ▲ ボタン、▼ ボタンで「／」を選び、続けてサブアドレス番号を入力します。

お願い

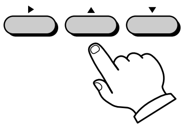
回線を接続したら、必ずその回線に対応するアドレス（自アドレス）を設定してください。自アドレスの設定と回線番号の関係は、以下のようになっています。

設定チャネル：	1　2	3　4	5　6
回線：	回線1	回線2	回線3

通常はチャネル1と2、3と4、5と6は同じアドレス番号になります。

6 ▲ボタン、▼ボタン、▶ボタンでアドレス番号を入力します。

```
 ｼﾞｱﾄﾞﾚｽ 2:
0312341111
```



詳しい入力方法はP22を参照してください。
ディスプレイに表示される番号は16桁までです。17桁目以降は右から左へ順次表示されます。

7 実行ボタンを押します。

自アドレス、サブアドレスが設定されて、設定画面に戻ります。

```
 ｼﾞｱﾄﾞﾚｽ
```

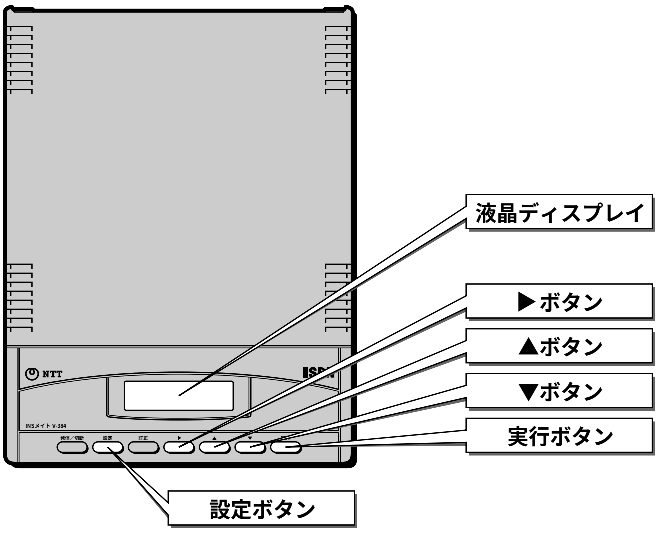


お知らせ

- ●データ通信に使用できるチャネルは、自アドレスを設定したチャネルのみです。ただし、自アドレスにサブアドレスのみを設定したチャネルは、データ通信に利用できません。
- ●自アドレスを設定するときは必ず市外局番から設定してください。
- ●自アドレスを登録できる桁数は最大20桁です。それ以上は「空白」か「／」しか選択できません。また、サブアドレスは最大19桁まででそれ以上は、▶ボタンを押すとチャネル番号を選択する画面に戻ります。
- ●自アドレス、サブアドレスが正しく設定されていないと通信できない場合があります。
- ●サブアドレスを設定すると、相手先が識別着信の設定をしている場合に通信できなくなることがあります。
- ●設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。
- ●各設定項目の設定範囲外の値を登録することはできません。

カレンダを設定するには

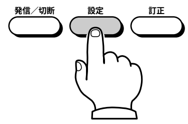
現在の年月日、時刻を設定します。



1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。

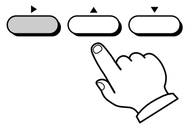
```
ソウチセッテイ
```



2 ▶ ボタンを押します。

装置設定画面が表示されます。

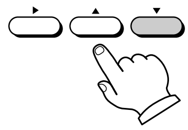
```
タンシュクタ゛イヤル
```



3 ▼ ボタンを6回押します。

カレンダを設定する画面が表示されます。

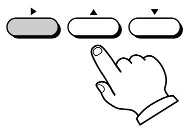
```
カレンタ゛
```



4 ▶ ボタンを1回押します。

「西暦」を設定する画面が表示されます。

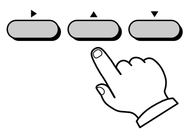
```
カレンタ゛
98-01-01 00:00
```



5 ▲ ボタン、▼ ボタンで西暦の下2桁を入力し、▶ ボタンを押します。

「月」を設定する画面が表示されます。

```
カレンタ゛
98-01-01 00:00
```



ワンポイント

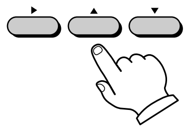
●**設定を中止するときは**
設定ボタンを押します。

●**うるう年の設定は**
自動的に計算されます。

6 ▲ボタン、▼ボタンで「月」を入力し、▶ボタンを押します。

「日」を設定する画面が表示されます。

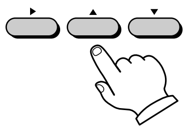
カレンダ゛
98−01−01 00:00



7 ▲ボタン、▼ボタンで「日」を入力し、▶ボタンを押します。

「時」を設定する画面が表示されます。

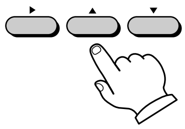
カレンダ゛
98−01−01 00:00



8 ▲ボタン、▼ボタンで「時」（00〜23）を入力し、▶ボタンを押します。

「分」を設定する画面が表示されます。

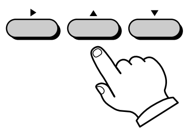
カレンダ゛
98−01−01 11:00



24時間制で入力してください。

9 ▲ボタン、▼ボタンで「分」を入力し、▶ボタンを押します。

カレンダ゛
98−01−01 11:59



10 実行ボタンを押します。

カレンダが設定されて、設定画面に戻ります。

カレンダ゛

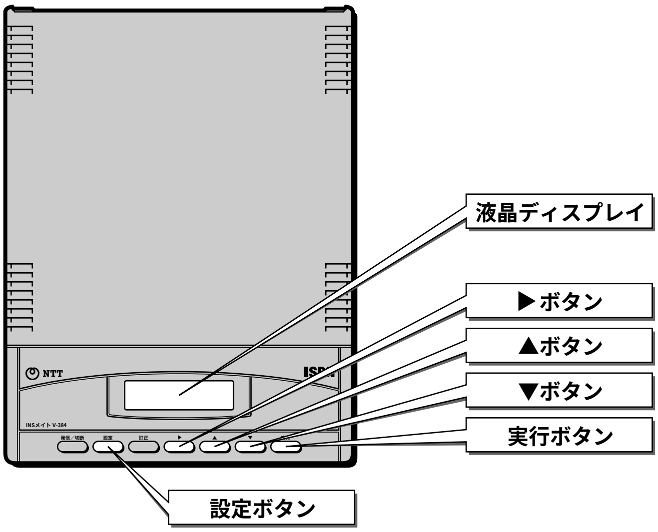


お知らせ

- ●設定が正しく行われないと、画面に「ERROR：セッテイ4」と表示されます。
- ●設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。
- ●各設定項目の設定範囲外の値を登録することはできません。
- ●内蔵の時計は、あくまで目安としてご利用ください。なお、誤差が生じたときは設定し直してください。（時間精度：平均月差約±1分）

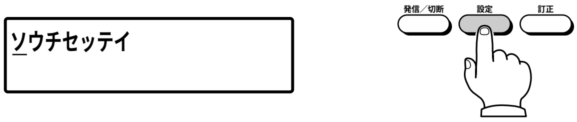
短縮ダイヤルを登録するには

相手先の電話番号（アドレス）、サブアドレスを短縮番号に登録しておくと、短縮発信ができます。また、識別着信（☛P50）を設定したときに、登録した相手先からの着信を受けるかどうかの設定もできます。



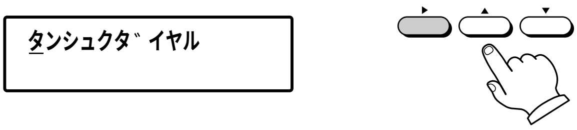
1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。



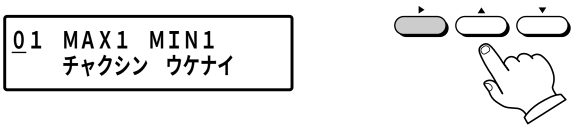
2 ▶ボタンを押します。

装置設定画面が表示されます。



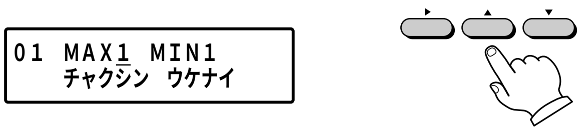
3 ▶ボタンを押します。

短縮番号を設定する画面が表示されます。



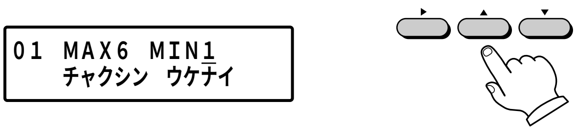
4 ▲ボタン、▼ボタンで短縮番号（01～20）を選び、▶ボタンを押します。

接続チャネルを設定する画面が表示されます。



5 ▲ボタン、▼ボタンで接続チャネル（0～6）を選び、▶ボタンを押します。

最小チャネルを設定する画面が表示されます。



「0」（1チャネルでの透過モード）（☛P94）を選ぶと手順7へ進みます。

ワンポイント

●チャネルの設定について
最低1チャネル分の設定をすることで最大6チャネル分（384kbit/s）の通信を行うことができます。残りのチャネル2～6は、相手先が応答しないときに次のアドレスに変更して発信させたいときに設定します。

●設定を中止するときは
設定ボタンを押します。

●相手先の電話番号のサブアドレスを設定するときは
手順10で、アドレス番号のあとに▲ボタン、▼ボタンで「／」を選んで、続けてサブアドレス番号を入力します。

●続けて次のチャネルを登録するときは
手順10で、最後の桁のあとに▲ボタン、▼ボタンで空白を選んで▶ボタンを押して次のチャネルを登録し、最後に必ず実行ボタンを押します。

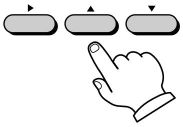
●識別着信するには
識別着信（☛P50）を「スル」に設定すると、短縮ダイヤルの登録で着信を「ウケル」に設定した番号からの着信を受け付け、「ウケナイ」に設定した番号からの着信を拒否します。

●着信を拒否するには
識別着信（☛P50）を「スル」に設定し、短縮ダイヤルの着信をすべて「ウケナイ」に設定します。

6 ▲ボタン、▼ボタンで最小チャネル（1～6）を選び、▶ボタンを押します。

着信を受け付けるかどうかを設定する画面が表示されます。

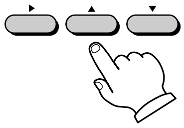
```
01 MAX6 MIN1
    チャクシン ウケナイ
```



7 ▲ボタン、▼ボタンで「ウケル」または「ウケナイ」を選び、▶ボタンを押します。

チャネル番号を設定する画面が表示されます。
電話番号が設定されているときは、現在の設定値が表示されます。

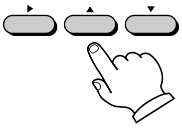
```
01−1
```



8 ▲ボタン、▼ボタンでチャネル番号（1～6）を選び、▶ボタンを押します。

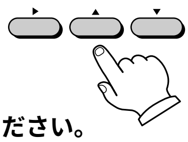
相手先の電話番号を入力する画面が表示されます。

```
01−1
_
```



9 ▲ボタン、▼ボタン、▶ボタンで相手先の電話番号を入力します。

```
01−1
0312341115
```



詳しい入力方法はP22を参照してください。
ディスプレイに表示される番号は16桁までです。17桁目以降は右から左へ順次表示されます。

10 実行ボタンを押します。

設定内容は登録されて、設定画面に戻ります。

```
タンシュクダイヤル
```

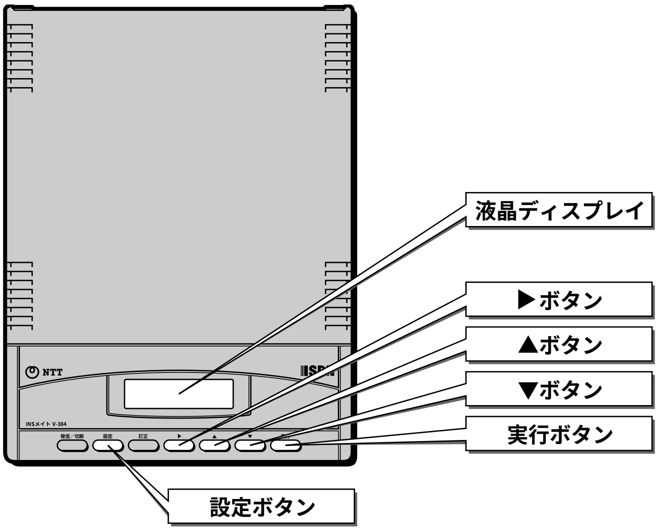


お知らせ

- MAXは、接続したいチャネル数を指定します。MINは、最低限接続したいチャネル数を指定します。MINで設定されたチャネル数の接続ができない場合は、データ通信を開始しません。
  MAXの値を0に設定すると、1チャネルでの透過モード通信となります。MAXの値がMINの値よりも小さいときは、MAXの値を接続したいチャネル数および最低限接続したいチャネル数とみなします。
- 識別着信は、発信者番号を通知できる方からの着信でご利用になれます。
- 手順7の着信を「ウケル」、「ウケナイ」の設定は、識別着信（☛P50）を「スル」に設定したときのみ有効です。識別着信を「シナイ」に設定したときは、すべての着信を受け付けます。
- 識別着信する相手先の電話番号を、複数の短縮番号に登録しないでください。
- 短縮番号に設定されているアドレス、サブアドレスを消去して実行ボタンを押したとき、「ERROR：セッテイ2」と表示された場合は自動発信で発信する短縮番号の設定（☛P40）を「ナシ」にして、再度設定し直してください。
- アドレスを設定するときは必ず市外局番から設定してください。
- アドレスを登録できる桁数は最大20桁です。それ以上は「空白」か「／」しか選択できません。またサブアドレスは最大19桁まででそれ以上は、▶ボタンを押すとチャネル番号を選択する画面に戻ります。
- アドレス、サブアドレスが正しく設定されていないと通信できない場合があります。
- 手順8で、チャネル番号は必ず1から順に登録してください。
- 設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。
- 各設定項目の設定範囲外の値を登録することはできません。

データポートインタフェースを設定するには

お買い求め時は、V.35インタフェースに設定されていますがオプションのRS-449変換ケーブルを使用すると、RS-449インタフェースを持つデータ端末機器を接続することができ、X.21変換ケーブルを使用すると、X.21インタフェースを持つデータ端末機器を接続することができます。データ端末機器をご使用になる前に、データポートインタフェースの設定と制御線の設定が必要です。



お知らせ

●RS-449インタフェースで使用される場合、「ER」は「TR」信号線に対応します。
●DTEインタフェースに関係する設定が正しく行われていないと、「ERROR：セッテイ1」と表示されます。「ERROR：セッテイ1」になる組み合わせは以下のとおりです。

設定項目	設定値			
DTEインタフェース	V.35	RS-449	X.21	
ジドウハッシンセイギョ	C		ER	RS

●DTEインタフェースの設定を変更すると、以下の条件で自動発信制御の設定値が自動的に変更されます。

DTEインタフェースの設定		自動発信制御設定の設定値
変更前の設定	変更後の設定	
V.35	X.21	C
RS-449	X.21	C
X.21/RS-449	V.35	ER
X.21/V.35	RS-449	RS

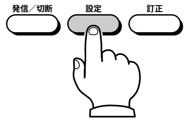
●設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないとき待機状態に戻ります。
●各種項目の設定範囲外の値を登録することはできません。

RS-449インタフェースを設定する

1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。

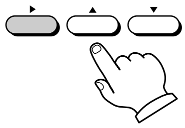
```
ソウチセッテイ
```



2 ▶ボタンを押します。

装置設定画面が表示されます。

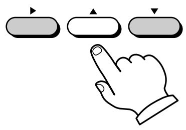
```
タンシュクダ゛イヤル
```



3 ▼ボタンを5回押して「DTEインタフェース」を選び、▶ボタンを押します。

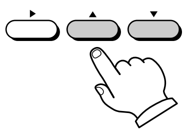
DTEインタフェースを設定する画面が表示されます。

```
 DTEインタフェース
V. 35
```



4 ▲ボタン、▼ボタンで「RS-449」を選びます。

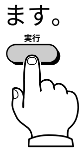
```
 DTEインタフェース
RS−449
```



5 実行ボタンを押します。

設定内容は登録されて、設定画面に戻ります。

```
DTEインタフェース
```

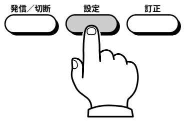


X.21インタフェースを設定する

1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。

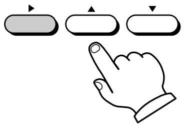
ｿｳﾁｾｯﾃｲ



2 ▶ ボタンを押します。

装置設定画面が表示されます。

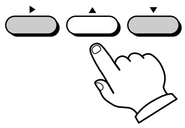
ﾀﾝｼｭｸﾀﾞｲﾔﾙ



3 ▼ ボタンを５回押して「DTEインタフェース」を選び、▶ ボタンを押します。

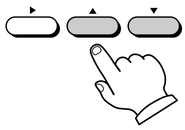
DTEインタフェースを設定する画面が表示されます。

DTEｲﾝﾀﾌｪｰｽ
V.35



4 ▲ ボタン、▼ ボタンで「X.21」を選びます。

DTEｲﾝﾀﾌｪｰｽ
X.21



5 実行ボタンを押します。

設定内容は登録されて、設定画面に戻ります。

DTEｲﾝﾀﾌｪｰｽ



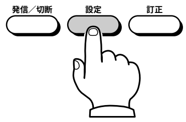
データ端末機器の制御線を設定する

インタフェースの設定が「V.35」または「RS-449」に設定されている場合、自動発信制御の設定値「ER」または「RS」を選択できます。

1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。

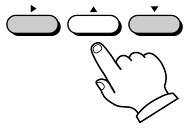
ｿｳﾁｾｯﾃｲ



2 ▼ ボタンを1回押して「DTEセッテイ」を選び、▶ ボタンを2回押します。

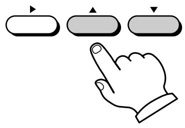
自動発信制御を設定する画面が表示されます。

ｼﾞﾄﾞｳﾊｯｼﾝｾｲｷﾞｮ
ER



3 ▲ ボタン、▼ ボタンで「RS」または「ER」を選びます。

ｼﾞﾄﾞｳﾊｯｼﾝｾｲｷﾞｮ
RS



4 実行ボタンを押します。

設定内容は登録されて、設定画面に戻ります。

ｼﾞﾄﾞｳﾊｯｼﾝｾｲｷﾞｮ



通信する前に

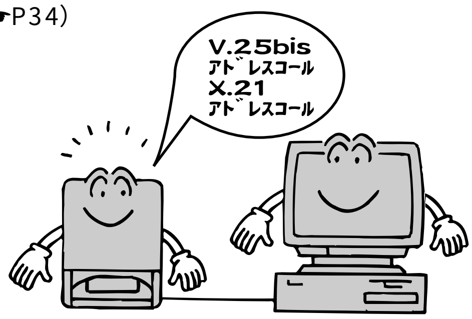
本装置は、複数のBチャネルを束ねて通信するモード（64kbit/s、128kbit/s、192kbit/s、256kbit/s、320kbit/s、384kbit/s）と透過モード（64kbit/s）のどちらを利用してもデータ通信ができます。

発信するとき

次のいずれかの方法で発信してください。

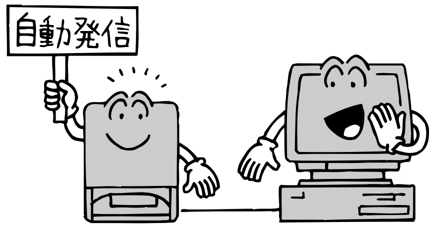
アドレスコール

データポートに接続したデータ端末機器により、V.25bisアドレスコール、X.21アドレスコールによる発信ができます。（☛P34）



自動発信

本装置に接続されたデータ端末機器からの指示により、あらかじめ登録してある短縮ダイヤルを使って発信します。（☛P40）



短縮発信

発信／切断ボタンで短縮番号を選択して、あらかじめ登録してある短縮ダイヤルを使って発信します。
（☛P43）



手動発信

操作パネルのボタンで相手先の電話番号を入力して発信します。（☛P44）

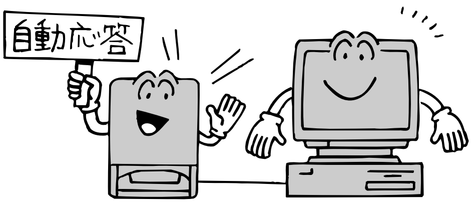


着信があったとき

次のいずれかの方法で応答してください。(☛P46)

自動応答

着信があるとデータ端末機器からの応答信号により応答し、データ通信を行うことができます。



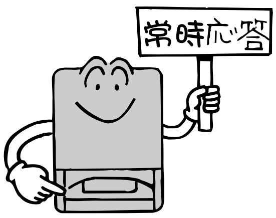
手動応答

操作パネルのボタンで応答し、データ通信を行うことができます。



常時応答

着信があるとすぐに応答し、データ通信を行うことができます。

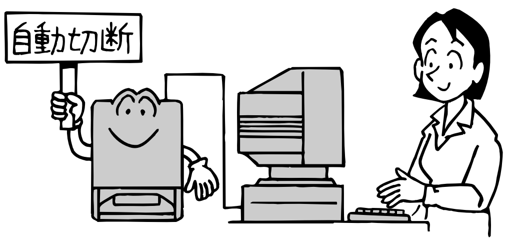


データ通信を終了するとき

次のどちらかの方法でデータ通信を終了します。

自動切断

本装置に接続されたデータ端末機器からの指示により、回線を切断してデータ通信を終了します。



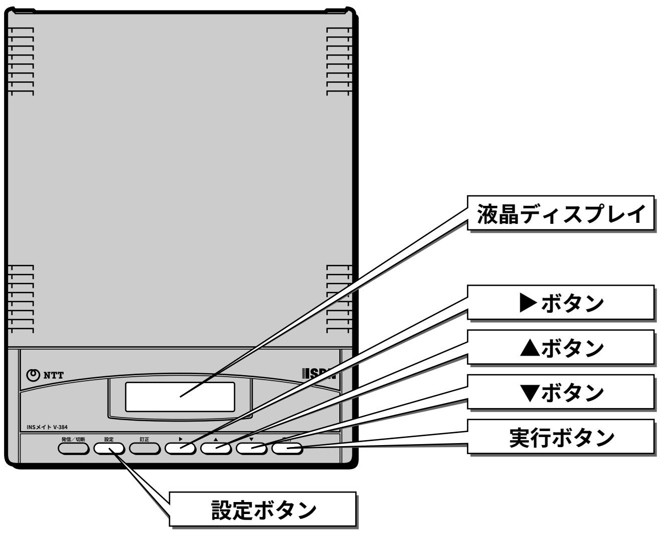
手動切断

データ通信中に発信／切断ボタンを2秒以上押して回線を切断し、データ通信を終了します。



アドレスコール発信するには

本装置に接続されたデータ端末機器から、V.25bisアドレスコールまたはX.21アドレスコールを使った発信をします。

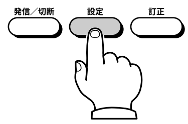


アドレスコールを設定する

1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。

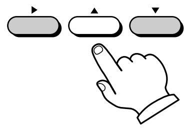
ソウチセッテイ



2 ▼ボタンを1回押して「DTEセッテイ」を選び、▶ボタンを押します。

自動発信制御を設定する画面が表示されます。

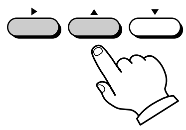
ジドウハッシンセイギョ



3 ▲ボタンを1回押して「アドレスコール」を選び、▶ボタンを押します。

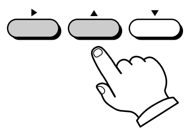
アドレスコールを設定する画面が表示されます。

アドレスコール



4 ▲ボタン、▼ボタンで「アリ」を選びます。

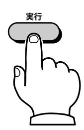
アドレスコール
アリ



5 実行ボタンを押します。

設定内容は登録されて、設定画面に戻ります。

アドレスコール



ワンポイント

●設定を中止するときは
設定ボタンを押します。

●アドレスコールの設定を解除するには
手順4で「ナシ」を選びます。

●V.35インタフェースを選んだ場合のアドレスコールについて
V.25bisアドレスコール発信となります。（☛P77、84）

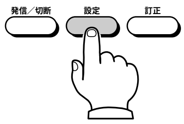
●RS-449インタフェースを選んだ場合のアドレスコールについて
V.25bisアドレスコール発信となります。（☛P77、86）

●X.21インタフェースを選んだ場合のアドレスコールについて
X.21アドレスコール発信となります。（☛P82、88）

6 設定ボタンを押します。

待機状態に戻ります。
〈アドレスコール＝アリのとき〉

```
01−01 11:59 ADRS
```



1行目の「ADRS」はアドレスコール「アリ」が設定されていることを示します。

〈アドレスコール＝ナシのとき〉

```
01−01 11:59 MANU
```

1行目の「MANU」は自動発信「シナイ」、アドレスコール「ナシ」が設定されていることを示します。

お知らせ

●V.25bisアドレスコールを選択される場合、以下の設定を行ってください。
- データポートインタフェース設定（☛P30）
- V.25bis同期モード設定（☛P36）
- 文字構成設定（☛P37）
- V.25bis発信VALインディケーション設定（☛P37）
- V.25bis相手アドレス通知設定（☛P38）

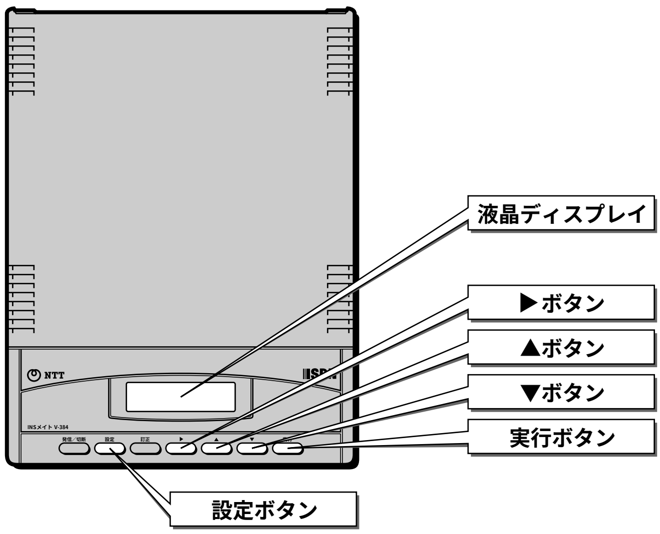
●X.21アドレスコールを選択される場合、以下の設定を行ってください。
- データポートインタフェース設定（☛P31）
- 文字構成設定（☛P37）
- X.21 SIキャラクタ設定（☛P39）

●アドレスコールを行う設定をすると、自動発信の設定は自動的に「ナシ」になります。
●自動発信設定と発信手順の関係は以下のとおりです。

設定項目	設定値				
「ジドウハッシン」設定	01〜20	シナイ			
「DTEインタフェース」設定	V.35 RS-449 X.21	V.35 または RS-449		X.21	
「アドレスコール」設定	ナシ	アリ	ナシ	アリ	ナシ
上記組合せのときの発信手順	信号線による自動発信	V.25bisアドレスコール	手動発信または短縮発信のみ	X.21アドレスコール	手動発信または短縮発信のみ

●設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。

アドレスコール発信するには

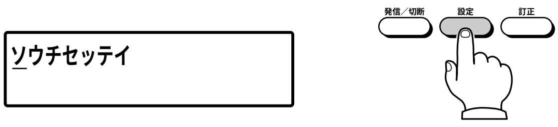


V.25bis同期モードを設定する

V.25bisのときの同期モード（HDLC,BSC）を設定します。（☛P77）

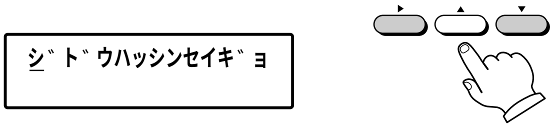
1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。



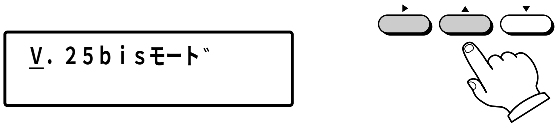
2 ▼ボタンを1回押して「DTEセッテイ」を選び、▶ボタンを押します。

自動発信制御を設定する画面が表示されます。

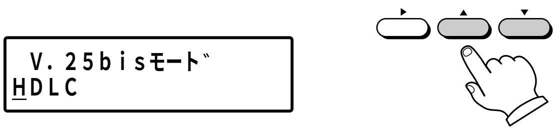


3 ▲ボタンを6回押して「V.25bisモード」を選び、▶ボタンを押します。

V.25bis同期モードを設定する画面が表示されます。

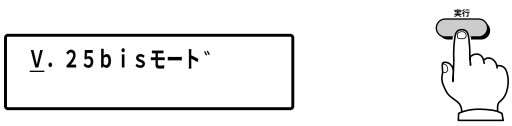


4 ▲ボタン、▼ボタンで「HDLC」または「BSC」を選びます。



5 実行ボタンを押します。

設定内容は登録されて、設定画面に戻ります。



お知らせ

- ●同期モード設定、文字構成設定はデータ端末機器の設定に合わせてください。
- ●文字構成の設定はV.25bis（同期モード‘BSC’）またはX.21のときのみ有効です。
  V.25bis（同期モード‘HDLC’）のときは文字構成の設定にかかわらず、8ビット+パリティナシで動作します。
- ●設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。

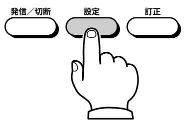
文字構成を設定する

V.25bis（同期モードBSC）またはX.21のときに同期データフォーマットの文字構成を設定します。

1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。

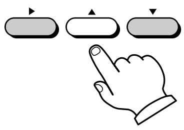
ソウチセッテイ



2 ▼ボタンを1回押して「DTEセッテイ」を選び、▶ボタンを押します。

自動発信制御を設定する画面が表示されます。

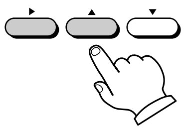
ジドウハッシンセイギョ



3 ▲ボタンを2回押して「モジコウセイ」を選び、▶ボタンを押します。

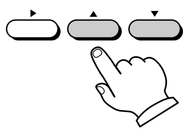
文字構成を設定する画面が表示されます。

モジコウセイ



4 ▲ボタン、▼ボタンで「7ビット＋キスウ」または「7ビット＋グウスウ」または「8ビット＋パリティナシ」を選びます。

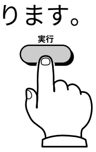
モジコウセイ
7ビット+キスウ



5 実行ボタンを押します。

設定内容は登録されて、設定画面に戻ります。

モジコウセイ



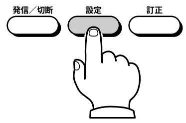
V.25bis発信VALインディケーションを設定する

V.25bisのときにデータ端末機器からCRN、またはCRSコマンドを受けたとき、VALインディケーションを出力するかの設定をします。（☛P78、80、84、86）

1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。

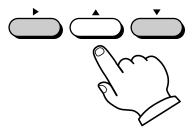
ソウチセッテイ



2 ▼ボタンを1回押して「DTEセッテイ」を選び、▶ボタンを押します。

自動発信制御を設定する画面が表示されます。

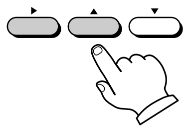
ジドウハッシンセイギョ



3 ▲ボタンを5回押して「V.25bisハッシンVAL」を選び、▶ボタンを押します。

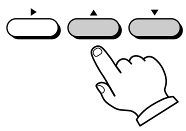
V.25bis発信VALインディケーション出力設定する画面が表示されます。

V.25bisハッシンVAL



4 ▲ボタン、▼ボタンで「シュツリョクシナイ」または「シュツリョクスル」を選びます。

V.25bisハッシンVAL
シュツリョクシナイ



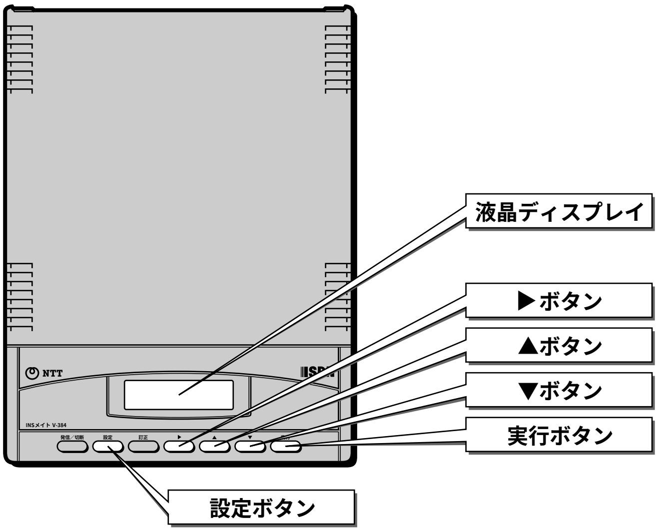
5 実行ボタンを押します。

設定内容は登録されて、設定画面に戻ります。

V.25bisハッシンVAL



アドレスコール発信するには

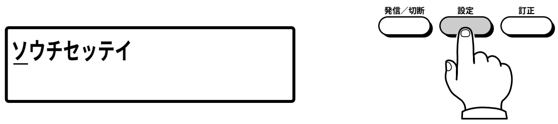


V.25bis相手アドレス通知を設定する

V.25bisのときに着信があったらデータ端末機器に相手電話番号（アドレス）を通知するかの設定をします。（☛P80）

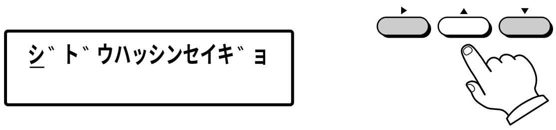
1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。



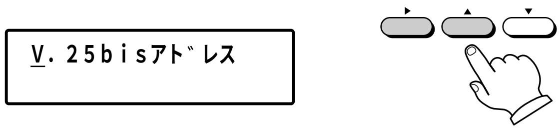
2 ▼ボタンを1回押して「DTEセッテイ」を選び、▶ボタンを押します。

自動発信制御を設定する画面が表示されます。



3 ▲ボタンを4回押して「V.25bisアドレス」を選び、▶ボタンを押します。

V.25bis相手アドレス通知を設定する画面が表示されます。



4 ▲ボタン、▼ボタンで「アイテアドレスツウチナシ」または「アイテアドレスツウチアリ」を選びます。



5 実行ボタンを押します。

設定内容は登録されて、設定画面に戻ります。



お知らせ

●設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。

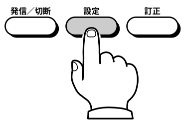
X.21 SIキャラクタを設定する

X.21のときにコールプログレス信号の先頭にSIキャラクタを付加するかの設定をします。**（☛P83）**

1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。

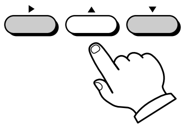
```
ソウチセッテイ
```



2 ▼ボタンを1回押して「DTEセッテイ」を選び、▶ボタンを押します。

自動発信制御を設定する画面が表示されます。

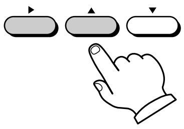
```
シ゛ト゛ウハッシンセイキ゛ョ
```



3 ▲ボタンを3回押して「X.21 SIキャラクタ」を選び、▶ボタンを押します。

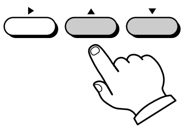
X.21 SIキャラクタを設定する画面が表示されます。

```
X. 21  SIキャラクタ
```



4 ▲ボタン、▼ボタンで「SIツケナイ」または「SIツケル」を選びます。

```
 X. 21  SIキャラクタ
SIツケナイ
```



5 実行ボタンを押します。

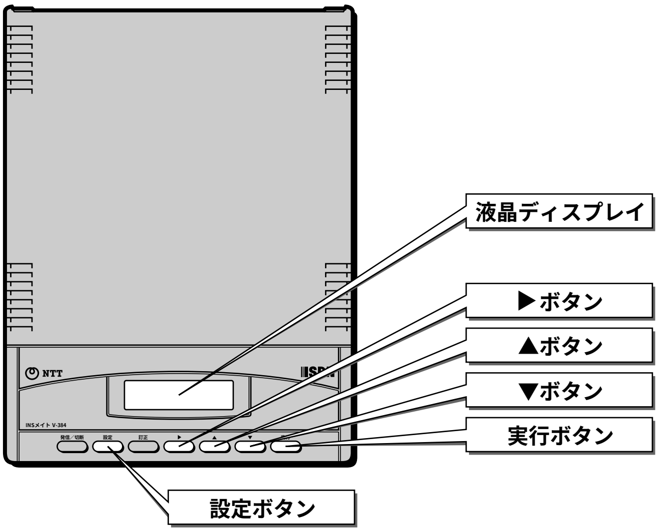
設定内容は登録されて、設定画面に戻ります。

```
X. 21  SIキャラクタ
```



自動発信するには

本装置に接続されたデータ端末機器からの指示により、あらかじめ登録してある短縮ダイヤルを使って発信します。データ端末機器からの指示は、V.35／RS-449インタフェースを選んだ場合は「ER」信号線、または「RS」信号線、X.21インタフェースを選んだ場合は「C」信号線の指示になります。



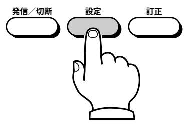
発信する短縮番号を設定する

高速データ通信の自動発信のときに発信する短縮番号を設定します。

1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。

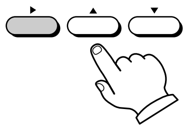
ソウチセッテイ



2 ▶ボタンを押します。

装置設定画面が表示されます。

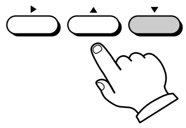
タンシュクタ゛イヤル



3 ▼ボタンを1回押します。

自動発信を設定する画面が表示されます。

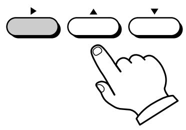
シ゛ト゛ウハッシン



4 ▶ボタンを押します。

短縮番号を選択する画面が表示されます。

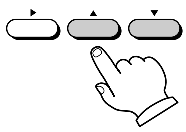
シ゛ト゛ウハッシン　ナシ
アト゛レスコールアリ



5 ▲ボタン、▼ボタンで短縮番号（01～20）を選びます。

登録してある相手先の電話番号が表示されます。

シ゛ト゛ウハッシン　01
0312341115



ワンポイント

●**設定を中止するときは**
設定ボタンを押します。

●**自動発信の設定を解除するには**
手順5で「ナシ」を選びます。
このとき、アドレスコールの設定内容が下段に表示されます。

●**各インタフェースの信号線について**
V.35インタフェースの信号線（☛P90）
RS-449インタフェースの信号線（☛P91）
X.21インタフェースの信号線（☛P92）

●**RS-449インタフェースを選んだ場合の自動発信について**
RS-449インタフェースを使用するには（☛P30）

●**X.21インタフェースを選んだ場合の自動発信について**
X.21インタフェースを使用するには（☛P31）

6 実行ボタンを押します。

設定内容は登録されて、自動発信画面に戻ります。

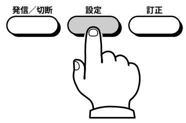
```
ジ゛ト゛ウハッシン
```



7 設定ボタンを押します。

待機状態に戻ります。

```
01−01 11:59 AUTO
01:0312341115
```



1行目の「AUTO」は、自動発信が設定されていることを示します。
2行目は、自動発信に設定されている短縮番号と電話番号が表示されます。

お知らせ

●自動発信設定と発信手順の関係は以下のとおりです。

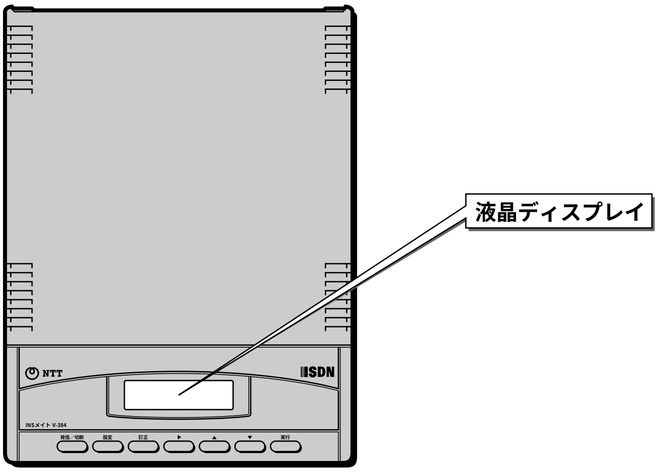
<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="5">設定値</th></tr>
<tr><td>「ジドウハッシン」設定</td><td>01～20</td><td colspan="4">シナイ</td></tr>
<tr><td>「DTEインタフェース」設定</td><td>V.35
RS-449
X.21</td><td colspan="2">V.35
または
RS-449</td><td colspan="2">X.21</td></tr>
<tr><td>「アドレスコール」設定</td><td>ナシ</td><td>アリ</td><td>ナシ</td><td>アリ</td><td>ナシ</td></tr>
<tr><td>上記組合せのときの発信手順</td><td>信号線による自動発信</td><td>V.25bis アドレスコール</td><td>手動発信または短縮発信のみ</td><td>X.21 アドレスコール</td><td>手動発信または短縮発信のみ</td></tr>
</table>

●自動発信を行う設定をすると、アドレスコールの設定は自動的に「ナシ」になります。
●自動発信を行う場合は、あらかじめ短縮ダイヤルを登録してください。
●自動発信に関係する設定が正しく行われていないと、「ERROR：セッテイ2」と表示されます。「ERROR：セッテイ2」になる組み合わせは以下のとおりです。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="3">設定値</th></tr>
<tr><td>ジドウハッシン</td><td colspan="3">01～20</td></tr>
<tr><td>ジドウハッシンセイギョ</td><td>ER</td><td>RS</td><td>C</td></tr>
<tr><td>ER・Cセッテイ</td><td>ON</td><td>無関係</td><td>ON</td></tr>
<tr><td>RSセッテイ</td><td>無関係</td><td>ON</td><td>無関係</td></tr>
</table>

●電話番号が設定されていない短縮番号を選ぶと、実行ボタンを押したときに「ERROR：セッテイ2」と表示されます。正しく設定された短縮番号を選んで設定し直してください。
●設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。
●各設定項目の設定範囲外の値を登録することはできません。

自動発信するには



自動発信する

DTEインタフェースの設定で「V.35」、自動発信制御の設定で「ER」を選んだ場合

1 本装置に接続されたデータ端末機器からの発信を指示します。

ER信号線が「OFF」から「ON」になります。

2 表示されている電話番号の相手に自動発信します。

```
ハッシン
0312341115
```

6チャネルで通信中の場合

```
ツウシンチュウ      ■■■■■■
```

3 本装置に接続されたデータ端末機器から切断を指示します。

ER信号線が「ON」から「OFF」になります。

4 自動的に回線が切断されます。

待機状態に戻ります。

ワンポイント

●V.35インタフェースを選んだ場合の自動発信について
ER信号線またはRS信号線の指示で自動発信することができます。(☛P31)

●RS-449インタフェースを選んだ場合の自動発信について
ER信号線またはRS信号線の指示で自動発信することができます。(☛P30)

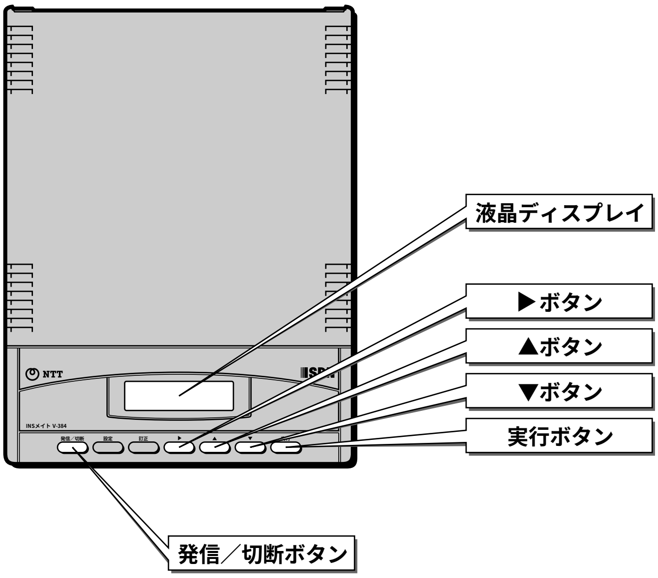
●X.21インタフェースを選んだ場合の自動発信について
C信号線の指示で自動発信することができます。(☛P31)

お知らせ

●1番目のチャネルには、設定している電話番号（アドレス）およびサブアドレスで発信しますが、2番目以降のチャネルはアドレスのみで発信します。
●同一回線上に接続された他のISDN機器が通信を行っている場合や、回線状態によっては希望するチャネル数で通信ができないことがあります。
●ER信号線／RS信号線／C信号線のON／OFFの間隔は、5秒以上空けるようにしてください。
●相手先が約40秒以内に応答しない場合には、待機状態に戻ります。
●発信が失敗したあと、もう一度発信し直すときは、1分30秒以上待ってから行ってください。

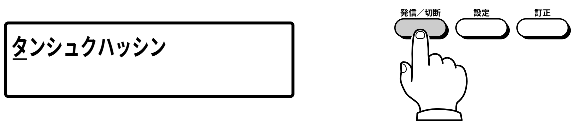
短縮発信するには

発信／切断ボタンで短縮番号を選択して、あらかじめ登録してある短縮ダイヤルを使って発信します。



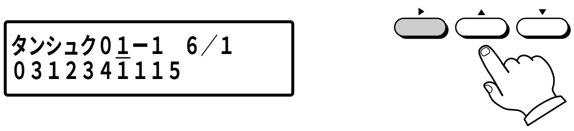
1 発信／切断ボタンを押します。

発信画面が表示されます。



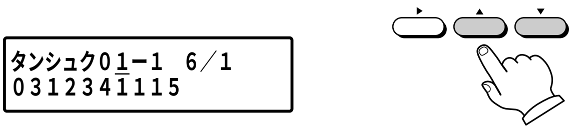
2 ▶ ボタンを押します。

短縮番号を選択する画面が表示されます。



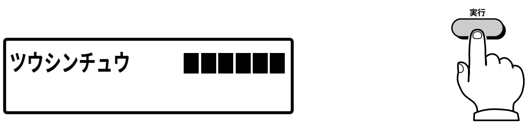
3 ▲ ボタン、▼ ボタンで短縮番号（01～20）を選びます。

登録してある相手先の電話番号が表示されます。



4 実行ボタンを押します。

短縮番号に設定されている最大6つのアドレスのうち、最小チャネル番号の電話番号（アドレス）に発信します。本装置に接続されたデータ端末機器へのDR信号線が「OFF」から「ON」になります。



5 通信を切断するときは、発信／切断ボタンを2秒以上押します。

ワンポイント

●あらかじめ表示される設定値について
前回短縮発信した設定値を表示します。電源を入れ直した場合またはリセットスイッチを押した場合は、短縮番号「01」を表示します。

●発信操作を中断したい場合は
実行ボタンを押す前に発信／切断ボタンを押します。

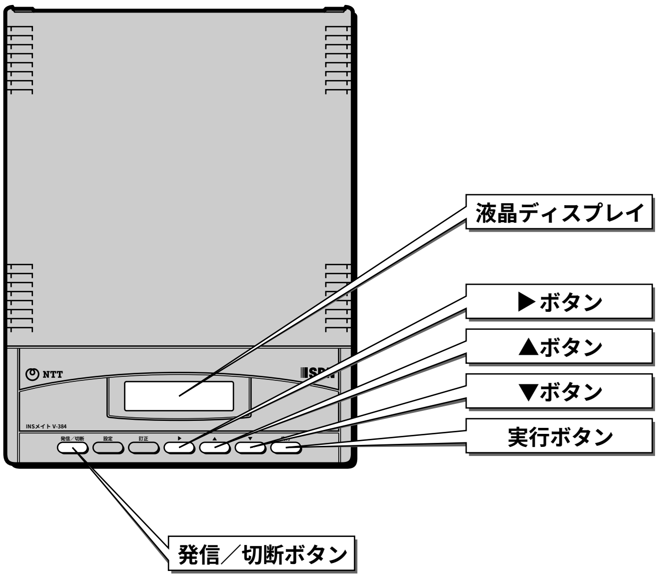
●別のチャネルに設定した電話番号（アドレス）を確認するには
手順3で ▶ ボタンを押すたびにチャネル番号が変わり、設定されている電話番号（アドレス）がチャネルごとに表示されます。

お知らせ

●最初は、設定している電話番号（アドレス）およびサブアドレスで発信しますが、2番目以降のチャネルは電話番号（アドレス）のみで発信します。
●同一回線上に接続された他のISDN機器が通信を行っている場合や、回線状態によっては希望するチャネル数で通信ができないことがあります。
●相手先が約40秒以内に応答しない場合には、待機状態に戻ります。

手動発信するには

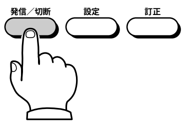
相手先の電話番号を入力して発信します。



1 発信／切断ボタンを押します。

発信画面が表示されます。

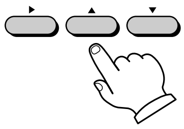
```
タンシュクハッシン
```



2 ▲ボタン、▼ボタンで「シュドウハッシン」を選び、▶ボタンを押します。

接続チャネルを設定する画面が表示されます。

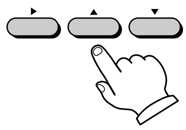
```
シュドウハッシン
MAX1 MIN1
```



3 ▲ボタン、▼ボタンで接続チャネル（0～6）を選び、▶ボタンを押します。

最小チャネルを設定する画面が表示されます。

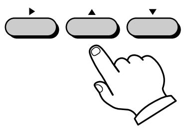
```
シュドウハッシン
MAX6 MIN1
```



4 ▲ボタン、▼ボタンで最小チャネル（1～6）を選び、▶ボタンを押します。

チャネル番号を設定する画面が表示されます。

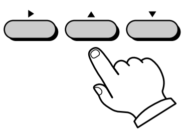
```
チャネル1
```



5 ▲ボタン、▼ボタンでチャネル番号（1～6）を選び、▶ボタンを押します。

相手先の電話番号を入力する画面が表示されます。

```
チャネル1
_
```



ワンポイント

●チャネルの設定について

最低1チャネル分の設定をすることで最大6チャネル分（384kbit/s）の通信を行うことができます。残りのチャネル2～6は、相手先が応答しないときに次の電話番号（アドレス）に変更して発信させたいときに設定します。

●あらかじめ表示される設定値について

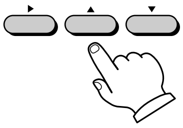
前回手動発信した設定値を表示します。電源を入れ直した場合、またはリセットスイッチを押した場合は初期値を表示します。

●発信操作を中断したい場合は

実行ボタンを押す前に発信／切断ボタンを押します。

6 ▲ボタン、▼ボタン、▶ボタンで相手先の電話番号を入力します。

チャネル1
0312341115



詳しい入力方法はP22を参照してください。

7 実行ボタンを押します。

下段に表示されている電話番号に発信します。
設定されている最大6つの電話番号（アドレス）のうち、最小チャネル番号の電話番号（アドレス）に発信します。

ハッシン
0312341115



本装置に接続されたデータ端末機器へのＤＲ信号線が「OFF」から「ON」になります。

ツウシンチュウ ■■■■■■

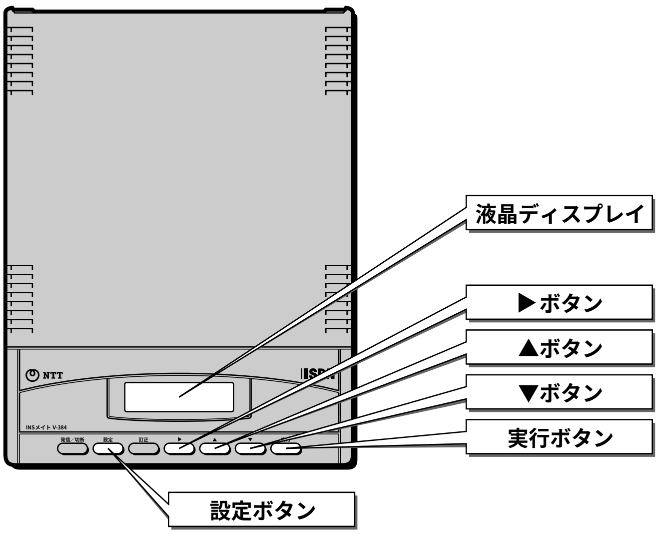
8 通信を切断するときは、発信／切断ボタンを２秒以上押します。

お知らせ

- ＭＡＸは、接続したいチャネル数を指定します。MINは、最低限接続したいチャネル数を指定します。MINで設定されたチャネル数の接続ができない場合は、データ通信を開始しません。
  ＭＡＸの値を0に設定すると、１チャネルでの透過モード通信となります。ＭＡＸの値がMINの値よりも小さいときは、ＭＡＸの値を接続したいチャネル数および最低限接続したいチャネル数とみなします。
- 電話番号（アドレス）を登録できる桁数は最大２０桁です。それ以上は「空白」か「／」しか選択できません。またサブアドレスは最大１９桁までで、それ以上はチャネル番号を選択する画面に戻ります。
- １番目のチャネルには、設定している電話番号（アドレス）およびサブアドレスで発信しますが、２番目以降のチャネルは電話番号（アドレス）のみで発信します。
- 同一回線上に接続された他のISＤＮ機器が通信を行っている場合や、回線状態によっては希望するチャネル数で通信ができないことがあります。
- 相手先が約４０秒以内に応答しない場合には、待機状態に戻ります。

応答するには

あらかじめ本装置の電話番号（自アドレス）とサブアドレスを登録しておくと、着信があると本装置に接続されたデータ端末機器からの応答信号に従って応答する自動応答、本装置の「実行」ボタンを押すと応答する手動応答、着信があると必ず応答する常時応答があります。

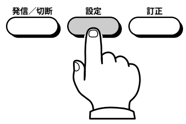


応答方法を設定する

1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。

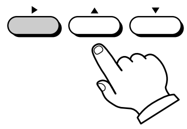
ソウチセッテイ



2 ▶ボタンを押します。

装置設定画面が表示されます。

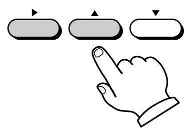
タンシュクタ゛イヤル



3 ▲ボタンを2回押して、「オウトウ」を選び、▶ボタンを押します。

応答方法を設定する画面が表示されます。

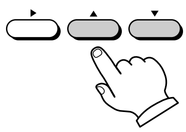
オウトウ



4 ▲ボタン、▼ボタンで「ジドウ」または「シュドウ」または「ジョウジ」を選びます。

短縮番号を選択する画面が表示されます。

オウトウ
シ゛ト゛ウ



5 実行ボタンを押します。

設定内容は登録されて設定画面に戻ります。

オウトウ



ワンポイント

●応答方法について

自動応答‥‥DTEからの応答信号に従って応答します。ただし、V.25bisアドレス発信の‘DIC’状態のときは応答しません。

手動応答‥‥本装置の「実行」ボタンを押すことにより応答します。ただし、DTEからの応答信号が「ON」であっても応答しません。

常時応答‥‥DTEからの応答信号がOFFのときや、V.25bisアドレス発信の‘DIC’状態のときでも応答します。

●発信者番号非通知理由によりLCD画面、通信履歴等は以下の様に表示します。

- ヒョウジケンガイ（サービス提供不可、サービス競合のとき）
- ヒツウチ（発信側非表示操作、非表示契約のとき）
- コウシュウデンワ（公衆電話発信のとき）

●設定を中止するときは

設定ボタンを押します。

ワンポイント

●**V.35インタフェースを選んだ場合の自動応答について**

〈アドレスコール＝ナシのとき〉

CI信号線でデータ端末機器へ着信があったことを伝え、ER信号線またはRS信号線の指示で自動応答することができます。(☛P31、85)

〈アドレスコール＝アリのとき〉

CI信号線とINC信号でデータ端末機器へ着信があったことを伝え、ER信号線またはRS信号線の指示で自動応答することができます。(☛P77、84)

●**RS-449インタフェースを選んだ場合の自動応答について**

〈アドレスコール＝ナシのとき〉

IC信号線でデータ端末機器へ着信があったことを伝え、TR信号線またはRS信号線の指示で自動応答することができます。(☛P30、87)

〈アドレスコール＝アリのとき〉

IC信号線とINC信号でデータ端末機器へ着信があったことを伝え、TR信号線またはRS信号線の指示で自動応答することができます。(☛P77、86)

●**X.21インタフェースを選んだ場合の自動応答について**

〈アドレスコール＝ナシのとき〉

I信号線でデータ端末機器へ着信があったことを伝え、C信号線の指示で自動応答することができます。
(☛P31、89)

〈アドレスコール＝アリのとき〉

2つの「SYN」符号の後「BEL」符号を送出してデータ端末機器へ着信があったことを伝え、(C，I)＝(1，ON)の指示で自動応答することができます。(☛P82、88)

お知らせ

- ●本装置の操作で回線を切断する場合は、発信／切断ボタンを2秒以上押してください。
- ●接続されたデータ端末機器がER/RS/C信号線をサポートしていない場合は、ER/C信号線の設定(☛P69)とRS信号線の設定(☛P70)を「ON」にしてください。
- ●同一回線上に接続された他のISDN機器が通信を行っている場合や、回線状態によっては希望するチャネル数で通信ができないことがあります。

自動応答に設定したとき

1 着信します。

相手先が電話番号通知を選択している場合には、相手先の電話番号が表示されます。
本装置に接続されたデータ端末機器へのCI信号線が「OFF」から「ON」になります。

```
チャクシン
0312341115
```

本装置に接続されたデータ端末機器からのER信号線またはRS信号線を「OFF」から「ON」にしてください。
本装置に接続されたデータ端末機器へのCS／CD信号線が「OFF」から「ON」になります。

2 自動応答します。

応答したチャネル数が表示されます。

```
オウトウ        ■■■___
0312341115
```

すべてのチャネルが応答したら「ツウシンチュウ」が表示されます。
本装置に接続されたデータ端末機器へのDR信号線が「OFF」から「ON」になります。

```
ツウシンチュウ    ■■■■■■
```

3 相手先が回線を切断します。

本装置に接続されたデータ端末機器へのCS/CD/DR信号線が「ON」から「OFF」になります。

4 自動的に回線が切断されます。

待機状態に戻ります。

応答するには

手動応答に設定したとき

1 着信します。

相手先が電話番号通知を選択している場合には、相手先の電話番号が表示されます。

```
チャクシン
0312341115
```

2 実行ボタンを押します。

応答したチャネル数が表示されます。

```
オウトウ        ■■■___
0312341115
```



すべてのチャネルが応答したら「ツウシンチュウ」が表示されます。

```
ツウシンチュウ    ■■■■■■
```

3 相手先が回線を切断します。

本装置に接続されたデータ端末機器へのCS/CD/DR信号が「ON」から「OFF」になります。

4 自動的に回線が切断されます。

待機状態に戻ります。

常時応答に設定したとき

1 着信します。

2 自動応答します。

応答したチャネル数が表示されます。

```
オウトウ        ■■■___
0312341115
```

すべてのチャネルが応答したら「ツウシンチュウ」が表示されます。

```
ツウシンチュウ    ■■■■■■
```

3 相手先が回線を切断します。

本装置に接続されたデータ端末機器へのCS/CD/DR信号が「ON」から「OFF」になります。

4 自動的に回線が切断されます。

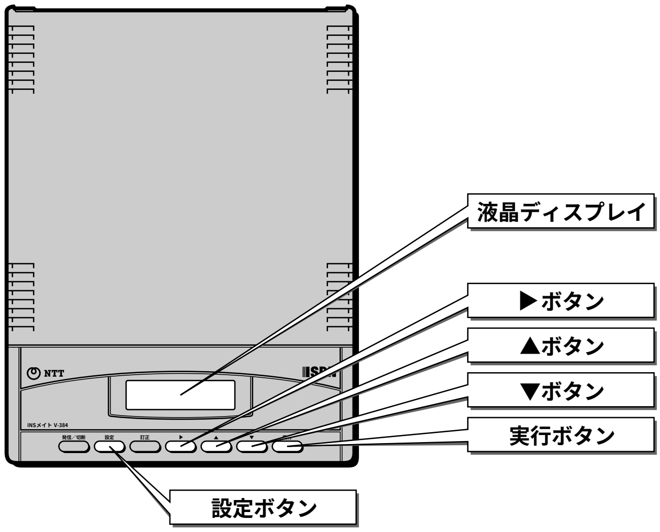
待機状態に戻ります。

お知らせ

- 手動応答に設定したとき着信したとき、「実行ボタン」を押さないと約3分で切断します。ただし、X.21アドレスコールのときは約1分で切断します。
- 本装置から回線を切断する場合は、発信／切断ボタンを2秒以上押してください。
- 接続されたデータ端末機器がER/RS/C信号線をサポートしていない場合は、ER/C信号線の設定（☛P69）とRS信号線の設定（☛P70）を「ON」にしてください。
- 同一回線上に接続された他のISDN機器が通信を行っている場合や、回線状態によっては希望するチャネル数で通信ができないことがあります。

通信履歴を確認するには

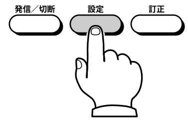
過去20回分の通信履歴（切断要因、通信開始時刻、通信終了時刻、相手先の電話番号、切断理由、料金）を確認することができます。



1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。

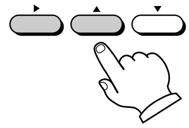
```
ソウチセッテイ
```



2 ▲ボタンを2回押して「サンショウ」を選び、▶ボタンを2回押します。

通信回数を選択する画面が表示されます。

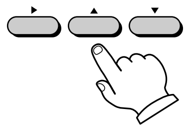
```
 ツウシンリレキ
01
```



3 ▲ボタン、▼ボタンで通信回数（01～20）を選び、▶ボタンを押します。

切断要因が表示されます。

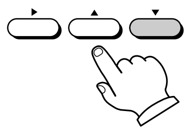
```
ツウシン
セツダン:カイセンセツダン
```



4 ▼ボタンを押します。

上段に通信開始時刻、下段に通信終了時刻が表示されます。

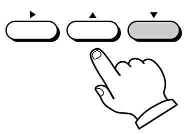
```
10-20 11:34:50
10-20 11:51:15
```



5 ▼ボタンを押します。

チャネル番号、料金、切断理由、相手先の電話番号が表示されます。

```
1¥2500      #127
0312341115
```



切断理由の詳細はP93を参照してください。

ワンポイント

●別のチャネルの通信履歴を確認するには

手順5で▼ボタンを続けて押すと、別のチャネルの料金、切断理由、相手先の電話番号が表示されます。

●続けて別の通信履歴を確認するには

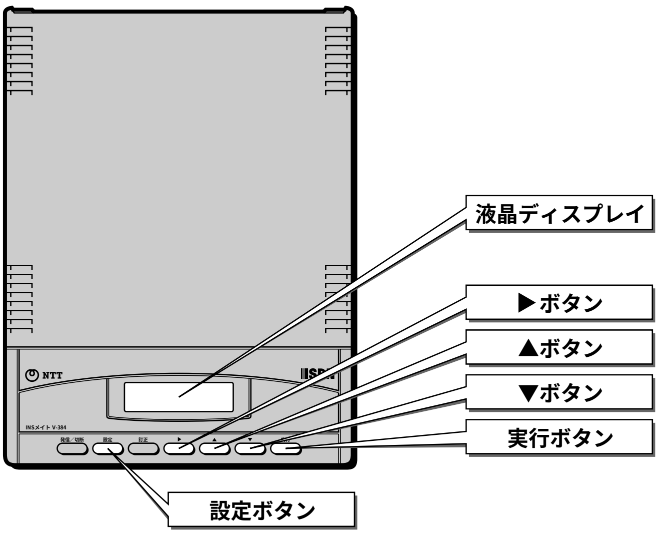
手順5で▼ボタンを続けて押し、切断要因が表示されたら実行ボタンを押して▶ボタンを押します。通信回数を選択する画面が表示され、回数を選んで確認することができます。

お知らせ

- ●通信料金はあくまで目安ですので、請求書の金額と一致しないことがあります。
- ●INSネット64から料金情報が送られてこないときは、通信料金は表示されません。
- ●発信に失敗した場合の通信履歴は、最後に発信したチャネルのみ確認することができます。
- ●設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。

識別着信を設定するには

あらかじめ短縮ダイヤルに登録された相手先からの着信のみに応答するように設定することができます。短縮ダイヤルの登録（☛P28）で行った識別着信の設定を有効にするときに、この操作を行います。



ワンポイント

●識別着信するには

識別着信を「スル」に設定すると、短縮ダイヤルの登録（☛P28）で、着信を「ウケル」に設定した番号からの着信を受け付け、「ウケナイ」に設定した番号からの着信を拒否します。

●着信を拒否するには

識別着信を「スル」に設定し、短縮ダイヤルの登録（☛P28）で、短縮ダイヤルの着信をすべて「ウケナイ」に設定します。

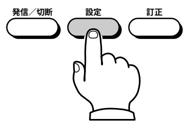
お知らせ

- ●識別着信は、発信者番号を通知できる方からの着信でご利用になれます。
- ●短縮ダイヤルの登録（☛P28）の着信を「ウケル」、「ウケナイ」の設定は、識別着信を「スル」に設定したときのみ有効です。識別着信を「シナイ」に設定したときは、すべての着信を受け付けます。
- ●識別着信で着信を受けたい相手先の電話番号（アドレス）にサブアドレスを設定していると、識別着信を「スル」に設定しても着信を拒否することがあります。
- ●設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。

1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。

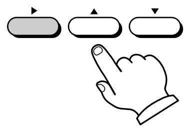
ソウチセッテイ



2 ▶ボタンを押します。

装置設定画面が表示されます。

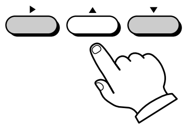
タンシュクタ゛イヤル



3 ▼ボタンを3回押して「シキベツチャクシン」を選び、▶ボタンを押します。

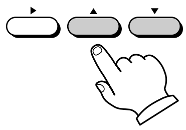
識別着信を設定する画面が表示されます。

シキヘ゛ツチャクシン
シナイ



4 ▲ボタン、▼ボタンで「スル」または「シナイ」を選びます。

シキヘ゛ツチャクシン
スル



5 実行ボタンを押します。

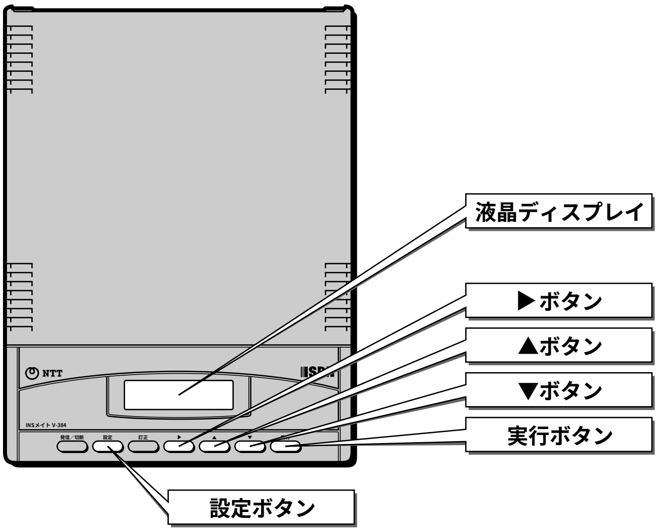
設定内容は登録されて、設定画面に戻ります。

シキヘ゛ツチャクシン



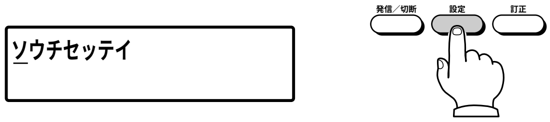
電話番号を通知しないようにするには

相手先に自分の電話番号を通知しないように設定することができます。
発信するときに自分の電話番号（自アドレス）を相手先に通知することを「発信者番号通知サービス」（発アドレス通知）といいます。



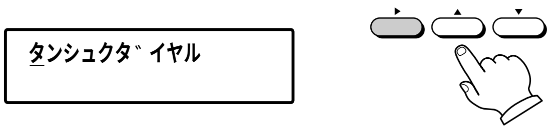
1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。



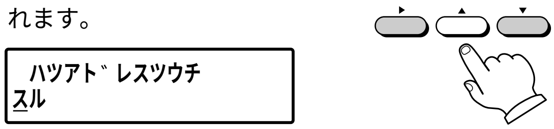
2 ▶ ボタンを押します。

装置設定画面が表示されます。

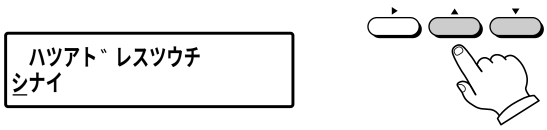


3 ▼ ボタンを4回押して「ハツアドレスツウチ」を選び、▶ ボタンを押します。

電話番号を通知するかどうかを設定する画面が表示されます。

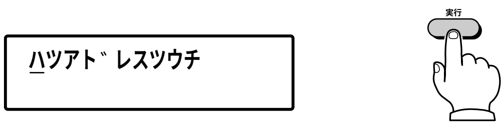


4 ▲ ボタン、▼ ボタンで「シナイ」を選びます。



5 実行ボタンを押します。

設定内容は登録されて、設定画面に戻ります。

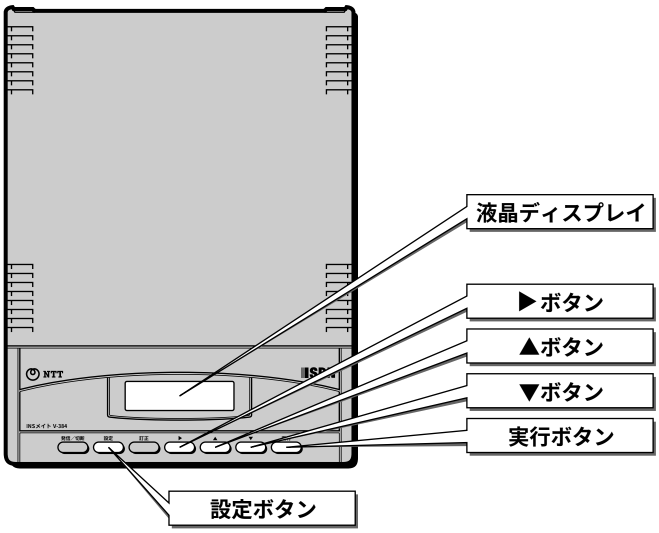


お知らせ

- ●発信者番号通知サービスで「回線ごと非通知」の契約をされた場合、必ず本装置の発アドレス通知設定を「シナイ」に設定してください。
- ●電話番号を通知しないように設定すると、すべての発信に対して相手先に自分の電話番号を通知しないようになります。
- ●電話番号を通知するしないにかかわらず、相手先が識別着信の設定をしている場合に通信できなくなることがあります。
- ●設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。

バルク動作を設定するには

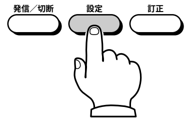
バルク伝送方式の設定を行います。通常は「ツウジョウ」に設定します。



1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。

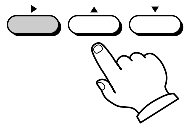
ソウチセッテイ



2 ▶ ボタンを押します。

装置設定画面が表示されます。

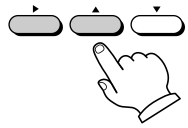
タンシュクタ゛イヤル



3 ▲ ボタンを1回押して「バルクドウサ」を選び、▶ ボタンを押します。

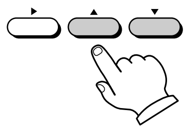
バルク動作を設定する画面が表示されます。

ハ゛ルクト゛ウサ



4 ▲ボタン、▼ ボタンで「ツウジョウ」または「チャクシンOPT」を選びます。

ハ゛ルクト゛ウサ
ツウシ゛ョウ



5 実行ボタンを押します。

設定内容は登録されて、設定画面に戻ります。

ハ゛ルクト゛ウサ



お知らせ

- ●バルク動作設定は、「ツウジョウ」の設定を変更しないでください。他社製TA等で通信できないときのみ「チャクシンOPT」に設定してください。
- ●他社製TAからの発信時は、本装置の回線1のチャネル1から順番に着信するように電話番号（アドレス）を設定してください。
- ●設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。

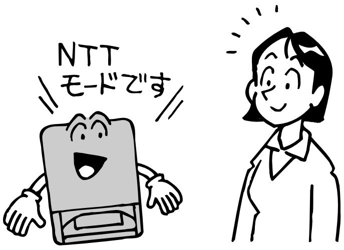
リモート保守とは

遠隔地から機能を設定したり、設定データを確認することができます。リモート保守には、NTTから操作する「NTTモード」と、お客様が操作できる「ユーザモード」があります。

リモート保守のご利用形態

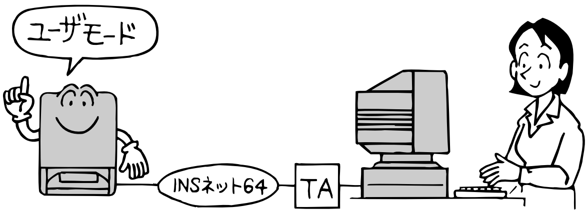
NTTモード

NTTから設定・確認などのリモート保守を受けられます。お買い求め時はNTTモードに設定されていますので、お客様からのリモート保守は行えません。



ユーザモード

お客様の操作でリモート保守を行います。ユーザモードに設定すると、NTTからのリモート保守は受けられません。



リモート保守に必要な装置・ソフトウェア

リモート保守を行うには、次の装置・ソフトウェアが必要です。

■データ端末装置

80桁／25行、数字、アルファベット、カタカナ（JIS X0201 8単位符号）が表示可能な端末

■通信ソフト

市販のパソコン通信用ソフト

■ターミナルアダプタ

INSメイトV-2SなどのJT-V110手順を持つターミナルアダプタ

通信ソフトおよびターミナルアダプタで最低限設定が必要な通信条件
〈JT-V110速度整合の通信条件〉

- 非同期
- インバンド交渉不可
- ユーザ速度　　　　　：9600bit/s
- ストップビット　　　：1ビット
- パリティを含むデータ長：8ビット
- パリティ情報　　　　：なし

STOP お願い

リモート保守を行う場合は、使用される通信ソフト、ターミナルアダプタおよびデータ端末装置の取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

リモート保守とは

ユーザモードのリモート保守

ユーザモードのリモート保守は、次の手順で行います。

ユーザモードに設定し、リモートサブアドレスを設定します。
リモートサブアドレスが一致する場合にのみリモート保守を行うことができます。(☛P55)

↓

パスワードを設定します。
最大8桁のパスワードを設定できます。パスワードを設定しなくてもリモート保守は行えます。(☛P56)

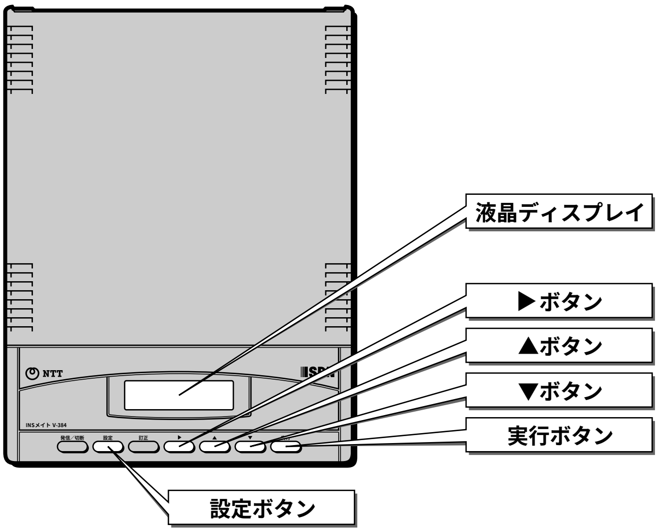
↓

リモート保守を行います。
次の設定・確認操作ができます。

- 短縮ダイヤルを設定する(☛P59)
- 自動発信を設定する(☛P60)
- 自アドレスを設定する(☛P60)
- パスワードを設定する(☛P60)
- 識別着信を設定する(☛P60)
- 発アドレス通知を設定する(☛P61)
- DTEインタフェースを設定する(☛P61)
- カレンダを設定する(☛P61)
- リモートサブアドレスを設定する(☛P62)
- 応答方法を設定する(☛P62)
- バルク動作を設定する(☛P62)
- 自動発信制御を設定する(☛P63)
- ER・C信号線を設定する(☛P63)
- RS信号線を設定する(☛P64)
- DR信号線を設定する(☛P64)
- CI信号線を設定する(☛P64)
- CD信号線を設定する(☛P64)
- ER・C／RSのオフ検出時間を設定する(☛P65)
- CS遅延時間を設定する(☛P65)
- V.25bis同期モードを設定する(☛P65)
- V.25bis発信VALインディケーションを設定する(☛P65)
- V.25bis相手アドレス通知を設定する(☛P66)
- X.21 SIキャラクタを設定する(☛P66)
- 文字構成を設定する(☛P66)
- アドレスコールを設定する(☛P66)
- 短縮ダイヤルの設定値を表示する(☛P67)
- 装置の設定値を表示する(☛P67)
- DTEの設定値を表示する(☛P67)
- 通信履歴を表示する(☛P67)
- 自己診断結果を表示する(☛P68)
- 設定内容をクリアする(☛P68)
- 設定内容をすべてクリアする(☛P68)

リモート保守を行う前に

本装置でリモート保守のモードを「ユーザ」に設定し、リモートサブアドレスを設定するとお客様の操作でリモート保守を行うことができます。



ワンポイント

●お買い求め時は
リモート保守はNTTモードに設定されています。

●設定内容を変えないで待機状態に戻るには
手順6で実行ボタンの代わりに、設定ボタンを押します。

お知らせ

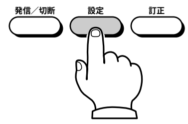
●リモートサブアドレスが正しく設定されていないと、リモート保守ができない場合があります。
●リモートサブアドレスは、本装置で設定したサブアドレス（☛P24）とは別の番号を設定してください。
●リモート保守のモードを「ユーザ」に設定すると、NTTからのリモート保守は受けられません。
●リモートサブアドレスが設定されていないのに、ユーザモードに変更しようとすると、「ERROR：セッテイ3」と表示されます。
●登録できるリモートサブアドレスの桁数は、最大19桁です。
●設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。
●各設定項目の設定範囲外の値を登録することはできません。

リモートサブアドレスを設定する

1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。

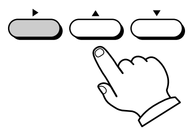
```
ソウチセッテイ
```



2 ▶ ボタンを押します。

装置設定画面が表示されます。

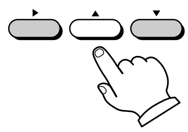
```
タンシュクタ゛イヤル
```



3 ▼ ボタンを7回押して「リモートサブアドレス」を選び、▶ ボタンを押します。

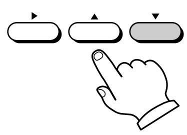
リモート保守のモードを設定する画面が表示されます。

```
リモートサフ゛アト゛レス
NTT
```



4 ▼ボタンを押して「ユーザ」を選びます。

```
リモートサフ゛アト゛レス
ユーサ゛
```

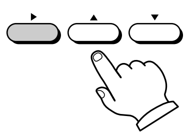


NTT：NTTからリモート保守を受ける
ユーザ：お客様の操作でリモート保守を行う

5 ▶ ボタンを押します。

リモートサブアドレスを入力する画面が表示されます。

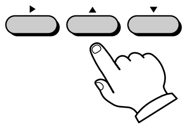
```
リモートサフ゛アト゛レス
_
```



リモート保守を行う前に

6 ▲ボタン、▼ボタン、▶ボタンでリモートサブアドレスを入力します。

ﾘﾓｰﾄｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ
12345678



詳しい入力方法はP22を参照してください。

7 実行ボタンを押します。

設定内容は登録されて、設定画面に戻ります。

ﾘﾓｰﾄｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ



ワンポイント

●**設定内容を変えないで待機状態に戻るには**
手順5で実行ボタンの代わりに、設定ボタンを押します。

お知らせ

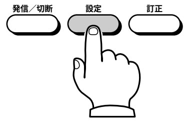
●パスワードを設定した場合は、リモート保守時に、パスワードを入力しないとリモートサブアドレスが一致してもリモート保守を受けられません。
●リモート保守のモードを「ユーザ」に設定すると、設定したパスワードが有効になります。
●パスワードを設定しなくても、リモート保守は行えます。
●パスワードを設定する場合は、（空白）を選んで実行ボタンを押しても設定は有効にはなりませんので必ず数値を選んで実行ボタンを押してください。

パスワードを設定する

1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。

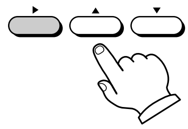
ｿｳﾁｾｯﾃｲ



2 ▶ボタンを押します。

装置設定画面が表示されます。

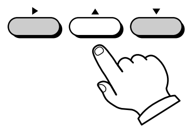
ﾀﾝｼｭｸﾀﾞｲﾔﾙ



3 ▼ボタンを8回押して「パスワード」を選び、▶ボタンを押します。

パスワードを設定する画面が表示されます。

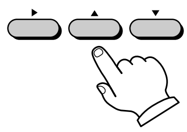
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
_



現在設定されているパスワードは表示できません。

4 ▲ボタン、▼ボタン、▶ボタンでパスワードを入力します。

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
12345678



パスワードは最大8桁入力できます。

5 実行ボタンを押します。

設定内容は登録されて、設定画面に戻ります。

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ



リモート保守を行うには

リモート保守用のターミナルアダプタから発信し、データ端末機器の画面に表示されるメニューを選択して各種設定を行います。リモート保守を行う前に、リモートサブアドレスの設定が必要です。(☛P55)
操作手順の画面は、パソコンの画面表示です。

リモート保守の流れ

1 リモート保守用のターミナルアダプタから、本装置のアドレスとリモートサブアドレスを付けて発信、応答したらリターンキーを押します。

パスワードを設定しているときは「パスワード？」と表示されます。
パスワードを設定していないときはメインメニューが表示されます。

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ?
```

2 パスワードを入力し、リターンキーを押します。

メインメニューが表示されます。

```
********************************
*         INS ﾒｲﾄ V-384        *
*         ｴﾝｶｸ ﾎｼｭ ﾓｰﾄﾞ        *
*         >> ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ <<        *
********************************

  ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｾﾝﾀｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

  99=ｼｭｳﾘｮｳ

  1=ｿｳﾁｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
  2=DTEｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
  3=ｻﾝｼｮｳﾒﾆｭｰ
  4=ｸﾘｱﾒﾆｭｰ
  >█
```

3 設定したいメニュー番号を入力し、リターンキーを押します。

設定メニュー一覧を参照してください。

4 「99」を入力して、メインメニューに戻ります。

5 「99」を入力して、リモート保守を終了します。

ワンポイント

●リモート保守用のターミナルアダプタから発信するアドレスは
本装置に設定してあるアドレス（1〜6チャネル）のどれにでも発信できます。

●パスワードを間違えたときは
パスワードを3回間違えて入力すると、回線が自動的に切断されます。

●画面表示の〔　〕の中の数値は
現在の設定値を示します。

●表示されている番号以外を入力すると
「ERROR」と表示され、再入力の画面になります。

●設定値を変更しないときは
リターンキーを押します。

●「ナニカキーヲオシテクダサイ」と表示されたときは
設定値を入力後、リターンキーを押すと「ナニカキーヲオシテクダサイ」と表示され、キー入力画面になります。このとき任意のキーを押すと設定メニュー画面になります。

お知らせ

●リモートサブアドレスが設定されていないときは、「ERROR：セッテイ3」と表示されます。
●リモート保守を行っているときに、2分以上なにも入力を行わないと自動的に回線を切断します。
●リモート保守を行っている間は、本装置の画面に「リモートツウシンチュウ」と表示され、発信、着信、および設定ボタンの操作はできません。
●識別着信を設定していても、リモート保守の着信が拒否されることはありません。

リモート保守を行うには

操作手順の画面は、パソコンの画面表示です。

■設定メニュー一覧

- メインメニュー
  - 99　シュウリョウ
  - 1　ソウチセッテイメニュー
    - 99　メインメニューニモドル
    - 1　タンシュクダイヤル
    - 2　ジドウハッシン
    - 3　ジアドレス
    - 4　シキベツチャクシン
    - 5　ハツアドレスツウチ
    - 6　DTEインタフェース
    - 7　カレンダ
    - 8　リモートサブアドレス
    - 9　パスワード
    - 10　オウトウ
    - 11　バルクドウサ
  - 2　DTEセッテイメニュー
    - 99　メインメニューニモドル
    - 1　ジドウハッシンセイギョ
    - 2　ER・Cセッテイ
    - 3　RSセッテイ
    - 4　DRセッテイ
    - 5　CIセッテイ
    - 6　CDセッテイ
    - 7　ER・C／RSオフケンシュツ
    - 8　CSチエンジカン
    - 9　V.25bisモード
    - 10　V.25bisハッシンVAL
    - 11　V.25bisアドレス
    - 12　X.21 SIキャラクタ
    - 13　モジコウセイ
    - 14　アドレスコール
  - 3　サンショウメニュー
    - 99　メインメニューニモドル
    - 1　タンシュクダイヤルセッテイチヒョウジ
    - 2　ソウチセッテイチヒョウジ
    - 3　DTEセッテイチヒョウジ
    - 4　ツウシンリレキ
    - 5　ジコシンダンケッカ
  - 4　クリアメニュー
    - 99　メインメニューニモドル
    - 1　セッテイクリア
    - 2　オールクリア

短縮ダイヤルを設定する

相手先の電話番号、サブアドレスを短縮ダイヤルに設定します。

1 「1　ソウチセッテイメニュー」から「1　タンシュクダイヤル」を選びます。

2 短縮番号（01～20）を入力し、リターンキーを押します。

```
ソウチセッテイ／タンシュクダ゛イヤル
    タンシュクバ゛ンゴ゛ウ（01－20）
    >01
```

短縮番号を入力せずにリターンキーを押すと、ソウチセッテイメニューに戻ります。

3 最大接続可能チャネル数（0～6）を入力し、リターンキーを押します。

```
MAXチャネル（1－6,0=トランスペ゜アレント）[6]
>6
```

0：トランスペアレント（1チャネルでの透過モード）
1～6：チャネル数

4 最小接続チャネル数（1～6）を入力し、リターンキーを押します。

```
MINチャネル（1－6）[1]
>1
```

5 「1」または「2」を押し、リターンキーを押します。

```
チャクシン [2]          1=ウケル    2=ウケナイ
>1
```

1：登録されている番号の着信を受ける
2：登録されている番号の着信を受けない

6 チャネル番号（1～6）を入力し、リターンキーを押します。

```
チャネルバ゛ンゴ゛ウ（1－6）
>1
```

チャネル番号を入力せずにリターンキーを押すと、短縮番号を入力する画面に戻ります。

7 相手先の電話番号、「／」、サブアドレスの順に入力し、リターンキーを押します。

設定内容は登録されて、チャネル番号を入力する画面に戻ります。

```
NO.01－1：[]
>0312341115
```

電話番号は最大20桁、サブアドレスは最大19桁入力できます。
「／」のみの入力は無効となり、「ERROR」と表示されます。「(電話番号）／」と入力したときは、「／」を除いた番号のみの入力とみなします。
すでに登録されている電話番号を消去するときは、1文字分のスペースを入力してリターンキーを押すと電話番号が消去されます。

リモート保守を行うには

操作手順の画面は、パソコンの画面表示です。

自動発信を設定する

自動発信する短縮番号を設定します。

1 「1　ソウチセッテイメニュー」から「2　ジドウハッシン」を選びます。

2 自動発信したい短縮番号を入力し、リターンキーを押します。

```
ソウチセッテイ/ジドウハッシン
  タンシュクバンゴウ(00=ジドウハッシンシナイ、01-20)[01]
  >01
```

パスワードを設定する

最大8桁までのパスワードを設定できます。

1 「1　ソウチセッテイメニュー」から「9　パスワード」を選びます。

2 パスワードを入力し、リターンキーを押します。

```
ソウチセッテイ/パスワード
  >12345678
```

パスワードは8桁まで入力できます。

自アドレスを設定する

自分の電話番号（自アドレス)、サブアドレスを設定します。

1 「1　ソウチセッテイメニュー」から「3　ジアドレス」を選びます。

2 チャネル番号を入力し、リターンキーを押します。

```
ソウチセッテイ/ジアドレス
  チャネルバンゴウ(1-6)
  >1
```

3 電話番号、「／」、サブアドレスの順に入力し、リターンキーを押します。

```
ソウチセッテイ/ジアドレス
  チャネルバンゴウ(1-6)
  >1
  チャネル1
  [0312341111/1]
  >■
```

電話番号（自アドレス）は最大20桁まで、サブアドレスは最大19桁まで入力できます。
「／」のみの入力は無効となり、「ERROR」と表示されます。「(自アドレス）／」と入力したときは、「／」を除いた番号のみの入力とみなします。
すでに登録されている電話番号を消去するときは、1文字分のスペースを入力してリターンキーを押すと電話番号が消去されます。

識別着信を設定する

識別着信を設定します。

1 「1　ソウチセッテイメニュー」から「4　シキベツチャクシン」を選びます。

2 「1」または「2」を押し、リターンキーを押します。

```
ソウチセッテイ/シキベツチャクシン
  シキベツチャクシン[2]      1=スル   2=シナイ
  >1
```

1：する
2：しない

お知らせ

●自動発信に関係する設定が正しく行われていないと、「ERROR：セッテイ2」と表示されます。「ERROR：セッテイ2」になる組み合わせは以下のとおりです。

設定項目	設定値		
ジドウハッシン	01～20		
ジドウハッシンセイギョ	ER	RS	C
ER・Cセッテイ	ON	無関係	ON
RSセッテイ	無関係	ON	無関係

●電話番号が設定されていない短縮番号を選ぶと、「ERROR：セッテイ2」と表示されます。正しく設定された短縮番号を選んで設定し直してください。

発アドレス通知を設定する

相手先に自分の電話番号を表示させるかどうかを設定します。

1 「1　ソウチセッテイメニュー」から「5　ハツアドレスツウチ」を選びます。

2 「1」または「2」を押し、リターンキーを押します。

```
ソウチセッテイ／ハツアト゛レスツウチ
   ハツアト゛レスツウチ [1]         1=スル    2=シナイ
   >1
```

1：する
2：しない

DTEインタフェースを設定する

DTEインタフェースをV.35、RS-449、X.21から選択します。

1 「1　ソウチセッテイメニュー」から「6　DTEインタフェース」を選びます。

2 DTEインタフェースを選び、リターンキーを押します。

```
ソウチセッテイ／DTEインタフェース
   DTEインタフェース [1]        1=V. 35   2=RS−449   3=X. 21
   >1
```

1：V.35
2：RS-449
3：X.21

カレンダを設定する

表示するカレンダの年月日、時刻を設定します。

1 「1　ソウチセッテイメニュー」から「7　カレンダ」を選びます。

2 現在の年月日を入力し、リターンキーを押します。

```
ソウチセッテイ／カレンタ゛
   ヒツ゛ケ [98−01−01]     YEAR−MONTH−DATE
   >98−01−01
```

3 現在の時刻を入力し、リターンキーを押します。

```
ソウチセッテイ／カレンタ゛
   ヒツ゛ケ [98−01−01]     YEAR−MONTH−DATE
   >98−01−01
   シ゛コク [00:00]     HOUR:MIN
   >11:59
```

お知らせ

●DTEインタフェースに関係する設定が正しく行われていないと、「ERROR：セッテイ1」と表示されます。「ERROR：セッテイ1」になる組み合わせは以下のとおりです。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="4">設定値</th></tr>
<tr><td>DTEインタフェース</td><td>V.35</td><td>RS-449</td><td colspan="2">X.21</td></tr>
<tr><td>ジドウハッシンセイギョ</td><td colspan="2">C</td><td>ER</td><td>RS</td></tr>
</table>

●DTEインタフェースの設定を変更すると、以下の条件で自動発信制御の設定値が自動的に変更されます。

DTEインタフェースの設定		自動発信制御設定の設定値
変更前の設定	変更後の設定	
V.35	X.21	C
RS-449	X.21	C
X.21/RS-449	V.35	ER
X.21/V.35	RS-449	RS

リモート保守を行うには

操作手順の画面は、パソコンの画面表示です。

リモートサブアドレスを設定する

リモート保守で使用するサブアドレスを設定します。

1 「1　ソウチセッテイメニュー」から「8　リモートサブアドレス」を選びます。

2 「1」を押し、リターンキーを押します。

```
ソウチセッテイ／リモートサブ゛アト゛レス
    モート゛ [2]          1=ユーザ゛     2=NTT
    >1
```

1：ユーザモード
2：NTTモード
「NTTモード」を選ぶと、リモートサブアドレスは設定できません。

3 リモートサブアドレスを入力し、リターンキーを押します。

```
ソウチセッテイ／リモートサブ゛アト゛レス
    モート゛ [2]          1=ユーザ゛     2=NTT
    >1
    リモートサブ゛アト゛レス
     [12345678]
    >12345678
```

リモートサブアドレスは最大19桁まで入力できます。

応答方法を設定する

着信があったときの応答方法を設定します。

1 「1　ソウチセッテイメニュー」から「10　オウトウ」を選びます。

2 「1～3」を押し、リターンキーを押します。

```
ソウチセッテイ／オウトウ
    オウトウ [1]          1=シ゛ト゛ウ    2=シュト゛ウ    3=シ゛ョウシ゛
    >1
```

1：自動応答
2：手動応答
3：常時応答

バルク動作を設定する

バルク通信の方法を設定します。

1 「1　ソウチセッテイメニュー」から「11　バルクドウサ」を選びます。

2 「1」または「2」を押し、リターンキーを押します。

```
ソウチセッテイ／ハ゛ルクト゛ウサ
    ハ゛ルクト゛ウサ [1]          1=ツウシ゛ョウ    2=チャクシンOPT
    >1
```

1：通常
2：着信オプション

自動発信制御を設定する

データ端末機器の制御信号線による自動発信の方法をER、RS、Cから選択します。

1 「2　DTEセッテイメニュー」から「1　ジドウハッシンセイギョ」を選びます。

2 DTEからの自動発信制御信号線を選択し、リターンキーを押します。

```
DTEセッテイ／ジドウハッシンセイギョ
  ジドウハッシンセイギョ [1]        1=ER   2=RS   3=C
  >1
```

1：ER
2：RS
3：C

ER・C信号線を設定する

データ端末機器がER・C信号線を使用するかどうかを設定します。

1 「2　DTEセッテイメニュー」から「2　ER・Cセッテイ」を選びます。

2 「1」または「2」を押し、リターンキーを押します。

```
DTEセッテイ／ER・Cセッテイ
  ER・Cセッテイ [1]        1=DTE   2=ON
  >1
```

1：DTE
2：ON

お知らせ

●自動発信制御に関係する設定が正しく行われていないと、「ERROR：セッテイ1」と表示されます。「ERROR：セッテイ1」になる組み合わせは以下のとおりです。

設定項目	設定値			
DTEインタフェース	V.35	RS-449	X.21	
ジドウハッシンセイギョ	C		ER	RS

●ER・C信号線に関係する設定が正しく行われていないと、「ERROR：セッテイ2」と表示されます。「ERROR：セッテイ2」になる組み合わせは以下のとおりです。

設定項目	設定値		
ジドウハッシン	01～20		
ジドウハッシンセイギョ	ER	RS	C
ER・Cセッテイ	ON	無関係	ON
RSセッテイ	無関係	ON	無関係

●電話番号が設定されていない短縮番号を選ぶと、「ERROR：セッテイ2」と表示されます。正しく設定された短縮番号を選んで設定し直してください。

リモート保守を行うには

操作手順の画面は、パソコンの画面です。

RS信号線を設定する

データ端末機器がRS信号線を使用するかどうかを設定します。

1 「2　DTEセッテイメニュー」から「3　RSセッテイ」を選びます。

2 「1」または「2」を押し、リターンキーを押します。

```
DTEセッテイ／RSセッテイ
  RSセッテイ [1]        1=DTE   2=ON
  >1
```

1：データ端末機器の信号線を使用する
2：データ端末機器の信号線を使用しない

CI信号線を設定する

データ端末機器への制御信号線CI線のONに関する条件を設定します。

1 「2　DTEセッテイメニュー」から「5　CIセッテイ」を選びます。

2 「1」または「2」を押し、リターンキーを押します。

```
DTEセッテイ／CIセッテイ
  CIセッテイ [1]        1=チャクシンノミ   2=ツウシンモON
  >1
```

1：着信時のみONにする
2：ER＝OFFまたは通信終了までON

DR信号線を設定する

データ端末機器への制御信号線DR線のOFFに関する条件を設定します。

1 「2　DTEセッテイメニュー」から「4　DRセッテイ」を選びます。

2 「1」または「2」を押し、リターンキーを押します。

```
DTEセッテイ／DRセッテイ
  DRセッテイ [1]        1=OFFスル   2=OFFシナイ
  >1
```

1：ER・RS＝ONでも回線が切断したら信号線をOFFにする
2：ER・RS＝ONなら回線が切断しても信号線をOFFにしない

CD信号線を設定する

データ端末機器への制御信号線CD線のONに関する条件を設定します。

1 「2　DTEセッテイメニュー」から「6　CDセッテイ」を選びます。

2 「1」または「2」を押し、リターンキーを押します。

```
DTEセッテイ／CDセッテイ
  CDセッテイ [1]        1=ER／RS=ONデ゛ON   2=ツウシンチュウON
  >1
```

1：ER/RSがONのときONにする
2：通信中のみONにする

お知らせ

RS信号線に関係する設定が正しく行われていないと、「ERROR：セッテイ2」と表示されます。「ERROR：セッテイ2」になる組み合わせは以下のとおりです。

設定項目	設定値		
ジドウハッシン	01～20		
ジドウハッシンセイギョ	ER	RS	C
ER・Cセッテイ	ON	無関係	ON
RSセッテイ	無関係	ON	無関係

ER・C／RSのオフ検出時間を設定する

データ端末機器からの制御信号線ER・C／RS線のオフ検出時間を設定します。

1 「2　DTEセッテイメニュー」から「7　ER・C／RSのオフケンシュツ」を選びます。

2 「1」または「2」を押し、リターンキーを押します。

```
DTEセッテイ／ER・C／RSオフケンシュツ
  ER・C／RSオフケンシュツ [1]      1=1100ms   2=80ms
  >1
```

1：1100ms
2：80ms

CS遅延時間を設定する

データ端末機器への制御信号線CS線の遅延時間を設定します。

1 「2　DTEセッテイメニュー」から「8　CSチエンジカン」を選びます。

2 「1」または「2」を押し、リターンキーを押します。

```
DTEセッテイ／CSチエンジカン
  CSチエンジカン [1]      1=60ms   2=20ms
  >1
```

1：60ms
2：20ms

V.25bis同期モードを設定する

V.25bisの同期モードを設定します。

1 「2　DTEセッテイメニュー」から「9　V.25bisモード」を選びます。

2 「1」または「2」を押し、リターンキーを押します。

```
DTEセッテイ／V.25bisモード
  V.25bisモード [1]      1=HDLC   2=BSC
  >1
```

1：HDLC
2：BSC

V.25bis発信VALインディケーションを設定する

V.25bisのVALインディケーション出力を設定します。

1 「2　DTEセッテイメニュー」から「10　V.25bisハッシンVAL」を選びます。

2 「1」または「2」を押し、リターンキーを押します。

```
DTEセッテイ／V.25bisハッシンVAL
  V.25bisハッシンVAL [1]      1=シュツリョクシナイ   2=シュツリョクスル
  >1
```

1：出力しない
2：出力する

お知らせ

- ●ER・C/RSのオフ検出時間の設定は、自動発信制御の設定値の信号線に対する設定となります。
- ●信号線のON／OFFのタイミングには、数msの誤差があります。

リモート保守を行うには

操作手順の画面は、パソコンの画面です。

V.25bis相手アドレス通知を設定する

V.25bisの着信時に相手電話番号（アドレス）を通知するかを設定します。

1 「2　DTEセッテイメニュー」から「11　V.25bisアドレス」を選びます。

2 「1」または「2」を押し、リターンキーを押します。

```
DTEｾｯﾃｲ/V.25bisｱﾄﾞﾚｽ
  V.25bisｱﾄﾞﾚｽ[1]        1=ｱｲﾃｱﾄﾞﾚｽﾂｳﾁﾅｼ   2=ｱｲﾃｱﾄﾞﾚｽﾂｳﾁｱﾘ
  >1
```

1：相手アドレス通知なし
2：相手アドレス通知あり

文字構成を設定する

同期データフォーマットの文字構成を設定します。

1 「2　DTEセッテイメニュー」から「13　モジコウセイ」を選びます。

2 「1～3」を押し、リターンキーを押します。

```
DTEｾｯﾃｲ/ﾓｼﾞｺｳｾｲ
  ﾓｼﾞｺｳｾｲ[1]        1=7ﾋﾞｯﾄ+ｷｽｳ   2=7ﾋﾞｯﾄ+ｸﾞｳｽｳ   3=8ﾋﾞｯﾄ+ﾊﾟﾘﾃｨﾅｼ
  >1
```

1：7ビット＋奇数パリティ
2：7ビット＋偶数パリティ
3：8ビット＋パリティ無し

X.21 SIキャラクタを設定する

X.21のときコールプログレスの先頭にSIキャラクタを付加するかを設定します。

1 「2　DTEセッテイメニュー」から「12　X.21 SIキャラクタ」を選びます。

2 「1」または「2」を押し、リターンキーを押します。

```
DTEｾｯﾃｲ/X.21 SIｷｬﾗｸﾀ
  X.21 SIｷｬﾗｸﾀ[1]        1=SIﾂｹﾅｲ   2=SIﾂｹﾙ
  >1
```

1：SI付けない
2：SI付ける

アドレスコールを設定する

アドレスコールをするかどうかを設定します。

1 「2　DTEセッテイメニュー」から「14　アドレスコール」を選びます。

2 「1」または「2」を押し、リターンキーを押します。

```
DTEｾｯﾃｲ/ｱﾄﾞﾚｽｺｰﾙ
  ｱﾄﾞﾚｽｺｰﾙ[1]        1=ｱﾘ   2=ﾅｼ
  >1
```

1：アドレスコールあり
2：アドレスコールなし

短縮ダイヤルの設定値を表示する

現在の短縮ダイヤルの設定値を表示します。

1 「3　サンショウメニュー」から「1　タンシュクダイヤルセッテイチヒョウジ」を選びます。

2 表示したい短縮番号（01～20）を押し、リターンキーを押します。

短縮ダイヤルの設定値が表示されます。

```
サンショウ／タンシュクタ゛イヤルセッテイチヒョウシ゛
   タンシュクハ゛ンコ゛ウ（01－20）
   >01
   01（チャクシンウケナイ）  MAX（6）  MIN（6）
     －1：12345／12
     －2：
     －3：123／1
     －4：1234567
     －5：
     －6：12／12345
   タンシュクハ゛ンコ゛ウ（01－20）
   >■
```

続けて次の短縮番号を入力できます。

装置の設定値を表示する

本装置の現在の設定値を表示します。

1 「3　サンショウメニュー」から「2　ソウチセッテイチヒョウジ」を選びます。

装置の設定値が表示されます。

```
サンショウ／ソウチセッテイチヒョウシ゛
 ・シ゛ト゛ウハッシン（01）
 ・シ゛アト゛レス
   1：0312341111
   2：0312341111
   3：0312341112
   4：0312341112
   5：0312341113
   6：0312341113
 ・シキヘ゛ツチャクシン（スル）
 ・ハツアト゛レスツウチ（スル）
 ・DTEインタフェース（V．35）
 ・カレンタ゛（98－01－01  11：59）
 ・リモートサフ゛アト゛レス（ユーサ゛モート゛）
 ・リモートサフ゛アト゛レス（12345678）
 ・オウトウ（シ゛ト゛ウ）
 ・ハ゛ルクト゛ウサ（ツウシ゛ョウ）
 ナニカ  キー  ヲ  オシテクタ゛サイ

■
```

DTEの設定値を表示する

DTEの現在の設定値を表示します。

1 「3　サンショウメニュー」から「3　DTEセッテイチヒョウジ」を選びます。

DTEの設定値が表示されます。

```
サンショウ／DTEセッテイチヒョウシ゛
 ・シ゛ト゛ウハッシンセイキ゛ョ（ER）
 ・ER・Cセッテイ（ON）
 ・RSセッテイ（ON）
 ・DRセッテイ（OFFスル）
 ・CIセッテイ（チャクシンノミ）
 ・CDセッテイ（ER／RS=ONテ゛ON）
 ・ER・C／RSオフケンシュツ（80ms）
 ・CSチエンシ゛カン（60ms）
 ・V．25bisモート゛（HDLC）
 ・V．25bisハッシンVAL（シュツリョクシナイ）
 ・V．25bisアト゛レス（アイテアト゛レスツウチナシ）
 ・X．21  SIキャラクタ（SIツケナイ）
 ・モシ゛コウセイ（7ヒ゛ット+キスウ）
 ・アト゛レスコール（アリ）
 ナニカ  キー  ヲ  オシテクタ゛サイ

■
```

通信履歴を表示する

過去20回分の通信履歴を表示できます。

1 「3　サンショウメニュー」から「4　ツウシンリレキ」を選びます。

2 表示させたい通信履歴の番号（1～20）を入力し、リターンキーを押します。

通信履歴が表示されます。

```
サンショウ／ツウシンリレキ
   ツウシンリレキ（1－20）
   >1
 1．ツウシン
    セツタ゛ン：シ゛ソウチセツタ゛ン
    カイシ    ：09／12  03：06：17
    シュウリョウ：09／12  03：09：35
   1－¥900．リユウ  #16
     0312341111
   2－¥900．リユウ  #16
     0312341111
   3－¥900．リユウ  #16
     0312341112
   4－¥900．リユウ  #16
     0312341112
   5－¥900．リユウ  #16
     0312341113
   6－¥900．リユウ  #16
     0312341113
   ツウシンリレキ（1－20）
   >■
```

切断理由の詳細はP93を参照してください。

続けて次の通信履歴の番号を入力できます。

リモート保守を行うには

操作手順の画面は、パソコンの画面です。

自己診断結果を表示する

自己診断の結果を表示します。

1 「3　サンショウメニュー」から「5　ジコシンダンケッカ」を選びます。

自己診断結果が表示されます。

正常時

```
ｻﾝｼｮｳ/ｼﾞｺｼﾝﾀﾞﾝｹｯｶ
ｾｲｼﾞｮｳ

 ﾅﾆｶ ｷｰ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

 ■
```

エラー時

```
ｻﾝｼｮｳ/ｼﾞｺｼﾝﾀﾞﾝｹｯｶ
ｿｳﾁｲｼﾞｮｳ
01200000
 ﾅﾆｶ ｷｰ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

 ■
```

設定内容に異常があり、設定内容を初期化したとき

```
ｻﾝｼｮｳ/ｼﾞｺｼﾝﾀﾞﾝｹｯｶ
ﾒﾓﾘｸﾘｱ

 ﾅﾆｶ ｷｰ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

 ■
```

2 何かキーを押します。

参照メニューに戻ります。

設定内容をクリアする

短縮ダイヤル、パスワード、カレンダを除く設定内容をお買い求め時の設定内容に戻します。

1 「4　クリアメニュー」から「1　セッテイクリア」を選びます。

2 「1」または「2」を押し、リターンキーを押します。

```
ｸﾘｱ/ｾｯﾃｲｸﾘｱ
  ｸﾘｱｼﾏｽｶ? [1]      1=NO   2=YES
  >2■
```

1：NO
2：YES

3 リターンキーを押します。

クリアメニューに戻ります。

設定内容をすべてクリアする

カレンダを除く設定内容をすべてお買い求め時の設定内容に戻します。

1 「4　クリアメニュー」から「2　オールクリア」を選びます。

2 「1」または「2」を押し、リターンキーを押します。

```
ｸﾘｱ/ｵｰﾙｸﾘｱ
  ｸﾘｱｼﾏｽｶ? [1]      1=NO   2=YES
  >2■
```

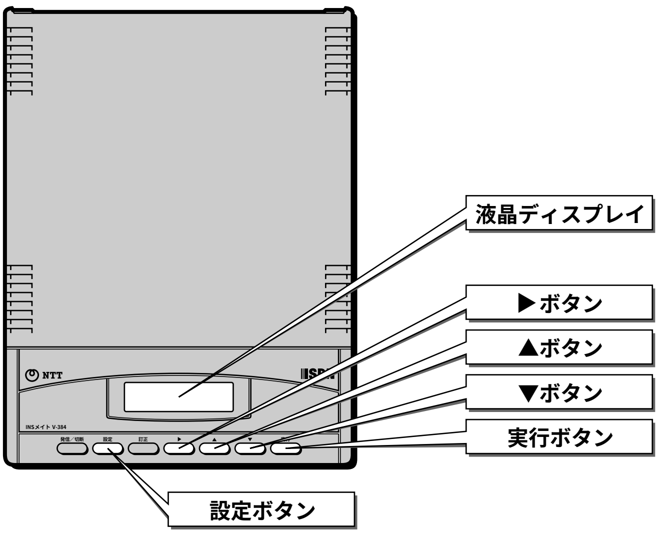
1：NO
2：YES

3 リターンキーを押します。

クリアメニューに戻ります。

データ端末機器がER・C信号線を使用するときは

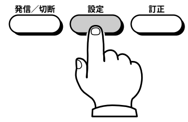
データ端末機器がER・C信号線を使用するかどうかを設定できます。



1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。

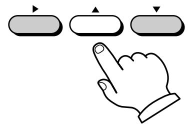
```
ソウチセッテイ
```



2 ▼ボタンを1回押して「DTEセッテイ」を選び、▶ボタンを押します。

自動発信制御を設定する画面が表示されます。

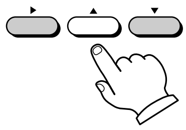
```
ジドウハッシンセイギョ
```



3 ▼ボタンを1回押して「ER・Cセッテイ」を選び、▶ボタンを押します。

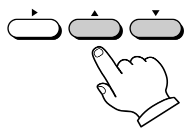
ER・C信号線を設定する画面が表示されます。

```
 ER・Cセッテイ
DTE
```



4 ▲ボタン、▼ボタンで「DTE」を選びます。

```
 ER・Cセッテイ
DTE
```



DTE：データ端末機器の信号線を使用する
ON：データ端末機器の信号線を使用しない

5 実行ボタンを押します。

設定内容は登録されて、設定画面に戻ります。

```
ER・Cセッテイ
```

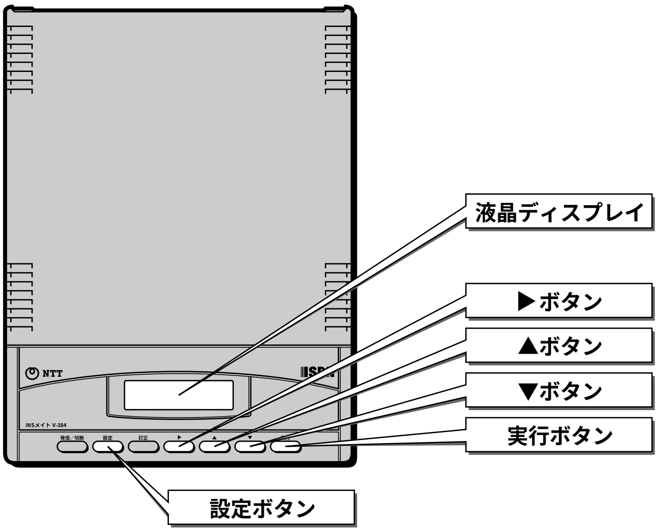


お知らせ

- DTEインタフェース＝「X.21」でアドレスコール＝「アリ」のときは、ER・C設定は無効となります。
- 設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。

データ端末機器がRS信号線を使用するときは

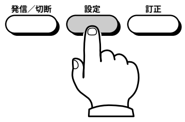
データ端末機器がRS信号線を使用するかどうかを設定できます。



1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。

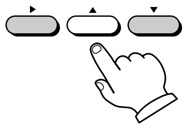
```
ソウチセッテイ
```



2 ▼ボタンを1回押して「DTEセッテイ」を選び、▶ボタンを押します。

自動発信制御を設定する画面が表示されます。

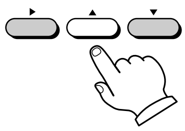
```
ジ゛ト゛ウハッシンセイキ゛ョ
```



3 ▼ボタンを2回押して「RSセッテイ」を選び、▶ボタンを押します。

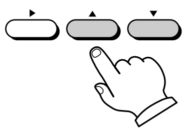
RS信号線を設定する画面が表示されます。

```
 RSセッテイ
DTE
```



4 ▲ボタン、▼ボタンで「DTE」を選びます。

```
 RSセッテイ
DTE
```



DTE：データ端末機器の信号線を使用する
ON：データ端末機器の信号線を使用しない

5 実行ボタンを押します。

設定内容は登録されて、設定画面に戻ります。

```
RSセッテイ
```

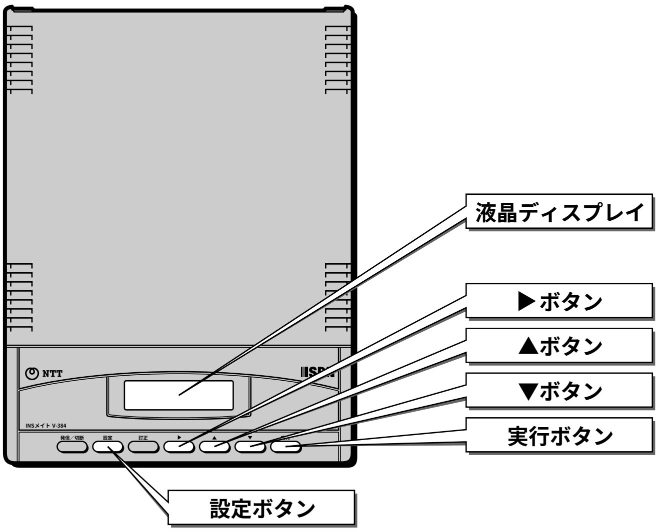


お知らせ

●設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。

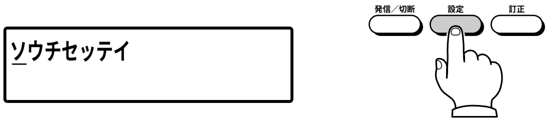
DR信号線の動作を設定するには

データ端末機器への制御信号線DR線のOFFに関する条件を設定することができます。



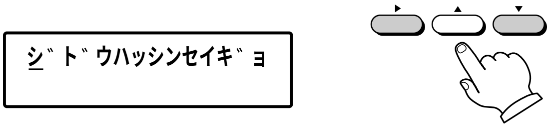
1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。



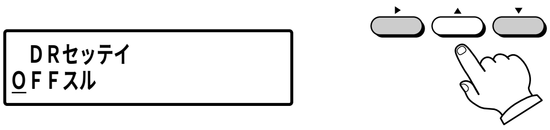
2 ▼ボタンを1回押して「DTEセッテイ」を選び、▶ボタンを押します。

自動発信制御を設定する画面が表示されます。

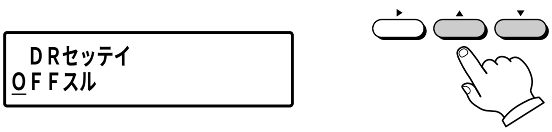


3 ▼ボタンを3回押して「DRセッテイ」を選び、▶ボタンを押します。

DR信号線を設定する画面が表示されます。



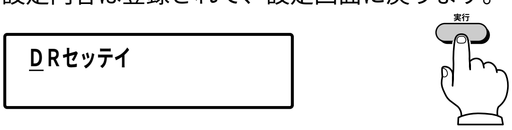
4 ▲ボタン、▼ボタンで「OFFスル」または「OFFシナイ」を選びます。



OFFスル：ER・RS＝ONでも回線が切断したら信号線をOFFにする
OFFシナイ：ER・RS＝ONなら回線が切断しても信号線をOFFにしない

5 実行ボタンを押します。

設定内容は登録されて、設定画面に戻ります。

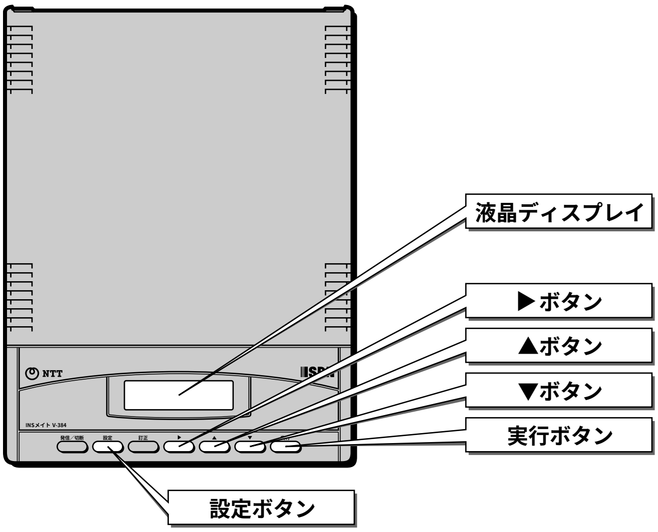


お知らせ

- RS-449インタフェースで使用される場合は、DM信号線に対応します。
- 設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。

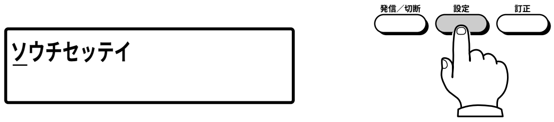
CI信号線の動作を設定するには

データ端末機器への制御信号線CI線のONに関する条件を設定することができます。



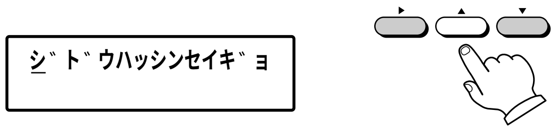
1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。



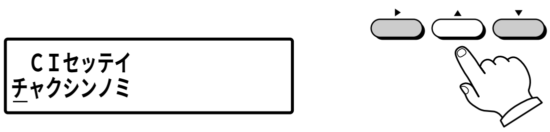
2 ▼ボタンを1回押して「DTEセッテイ」を選び、▶ボタンを押します。

自動発信制御を設定する画面が表示されます。

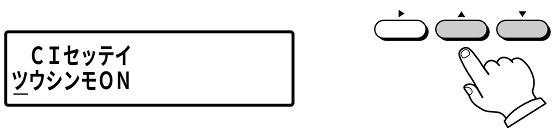


3 ▼ボタンを4回押して「CIセッテイ」を選び、▶ボタンを押します。

CI信号線を設定する画面が表示されます。



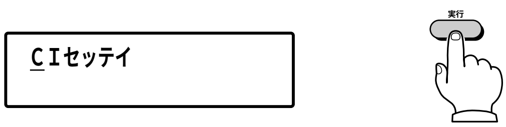
4 ▲ボタン、▼ボタンで「チャクシンノミ」または「ツウシンモON」を選びます。



チャクシンノミ：着信中のみONにする
ツウシンモON：ER＝OFFまたは通信終了までON

5 実行ボタンを押します。

設定内容は登録されて、設定画面に戻ります。

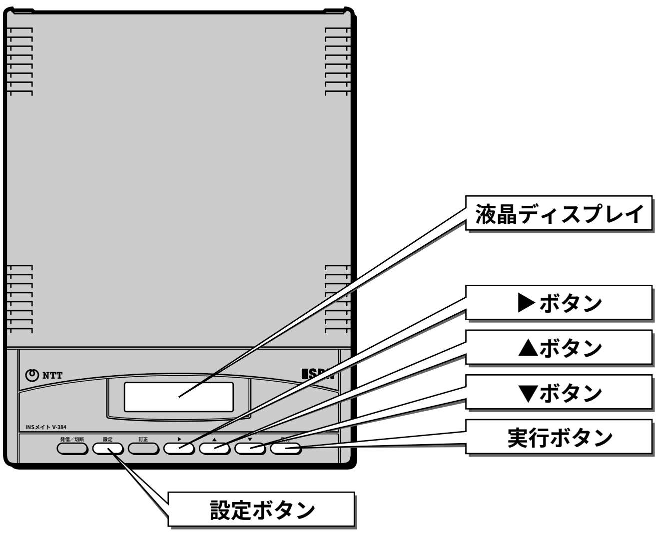


お知らせ

- RS-449インタフェースで使用される場合は、IC信号線に対応します。
- 設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。

CD信号線の動作を設定するには

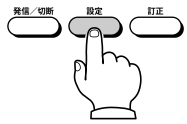
データ端末機器への制御信号線CD線のONに関する条件を設定することができます。



1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。

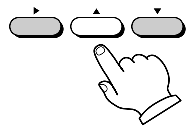
ソウチセッテイ



2 ▼ボタンを1回押して「DTEセッテイ」を選び、▶ボタンを押します。

自動発信制御を設定する画面が表示されます。

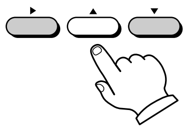
ジ゛ト゛ウハッシンセイキ゛ョ



3 ▼ボタンを5回押して「CDセッテイ」を選び、▶ボタンを押します。

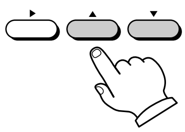
CD信号線を設定する画面が表示されます。

CDセッテイ
ER／RS=ONテ゛ON



4 ▲ボタン、▼ボタンで「ER／RS＝ONデON」または「ツウシンチュウON」を選びます。

CDセッテイ
ER／RS=ONテ゛ON



ER/RS＝ONデON：ER/RSがONのときONにする
ツウシンチュウON：データ通信可能なときONにする

5 実行ボタンを押します。

設定内容は登録されて、設定画面に戻ります。

CDセッテイ

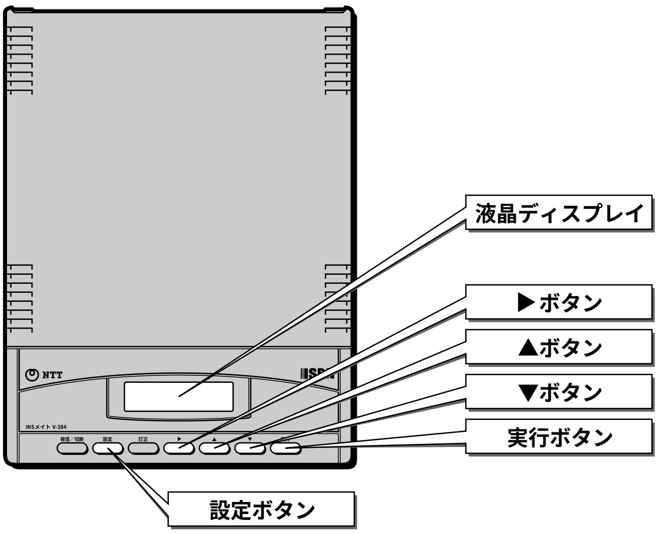


お知らせ

- ●RS-449インタフェースで使用される場合は、RR信号線に対応します。
- ●設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。

ER·C／RS信号線のオフ検出時間を変更するには

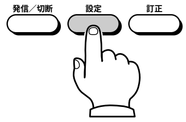
ER·C／RS信号線のオフを検出するまでの時間を「1100ms」、「80ms」のどちらかに変更することができます。



1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。

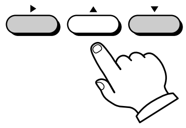
```
ソウチセッテイ
```



2 ▼ボタンを1回押して「DTEセッテイ」を選び、▶ボタンを押します。

自動発信制御を設定する画面が表示されます。

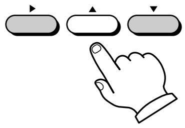
```
ジドウハッシンセイギョ
```



3 ▼ボタンを6回押して「ER・C/RSオフケンシュツ」を選び、▶ボタンを押します。

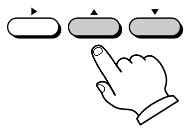
ER・C/RS信号線オフ検出を設定する画面が表示されます。

```
ER・C／RSオフケンシュツ
1100ms
```



4 ▲ボタン、▼ボタンで「1100ms」または「80ms」を選びます。

```
ER・C／RSオフケンシュツ
80ms
```



5 実行ボタンを押します。

設定内容は登録されて、設定画面に戻ります。

```
ER・C／RSオフケンシュツ
```

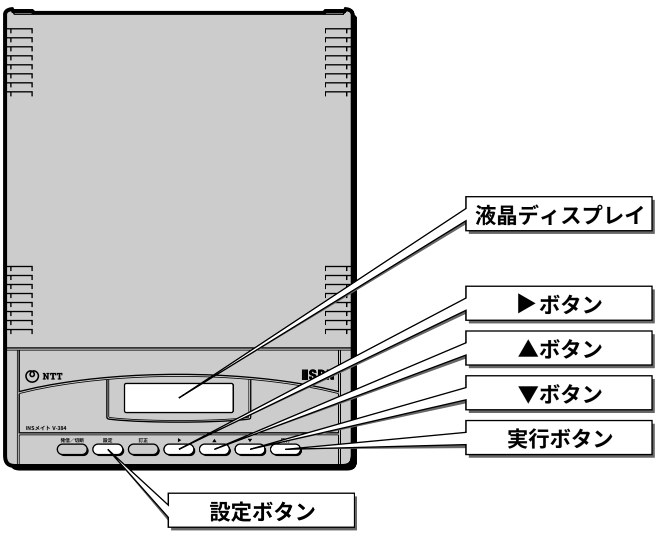


お知らせ

- ●ER・C/RS信号線のオフ検出時間の設定は、自動発信制御の設定値の信号線に対する設定となります。
- ●信号線のON/OFFのタイミングには、数msの誤差があります。
- ●設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。
- ●各設定項目の設定範囲外の値を登録することはできません。

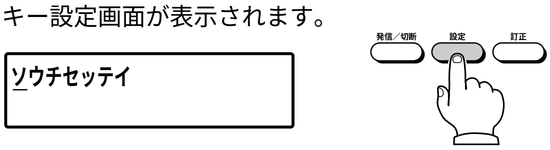
CS信号線の遅延時間を変更するには

ER/RS信号線のオンを検出してからCS信号線をオンとするまでの時間を「60ms」、「20ms」のどちらかに変更することができます。



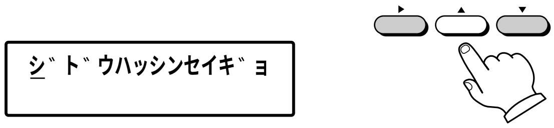
1 設定ボタンを押します。

キー設定画面が表示されます。



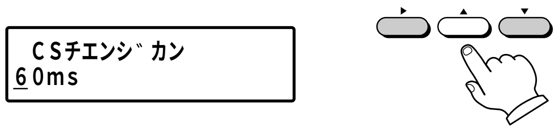
2 ▼ボタンを1回押して「DTEセッテイ」を選び、▶ボタンを押します。

自動発信制御を設定する画面が表示されます。

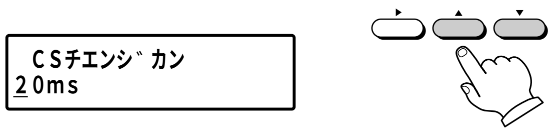


3 ▼ボタンを7回押して「CSチエンジカン」を選び、▶ボタンを押します。

CS信号線の遅延時間を設定する画面が表示されます。

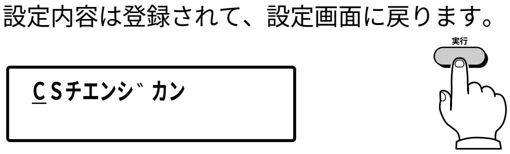


4 ▲ボタン、▼ボタンで「60ms」または「20ms」を選びます。



5 実行ボタンを押します。

設定内容は登録されて、設定画面に戻ります。

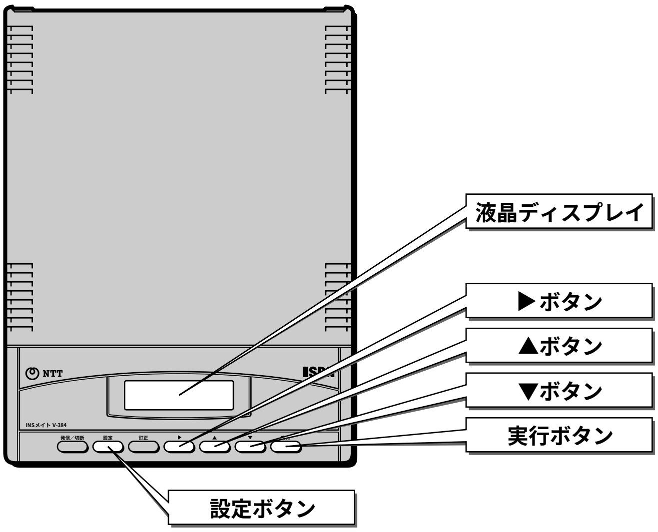


お知らせ

- ●信号線のON/OFFのタイミングには、数msの誤差があります。
- ●設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。
- ●各設定項目の設定範囲外の値を登録することはできません。

自己診断結果を表示するには

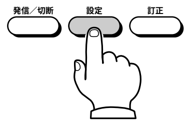
電源を入れたとき、またはリセットスイッチを押したときの自己診断の結果を表示することができます。



1 設定ボタンを押します。

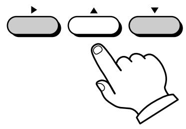
キー設定画面が表示されます。

ソウチセッテイ



2 ▼ボタンを2回押して「サンショウ」を選び、▶ボタンを押します。

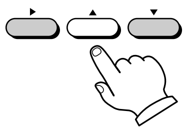
ツウシンリレキ



3 ▼ボタンを1回押して「ジコシンダンケッカ」を選び、▶ボタンを押します。

自己診断結果が表示されます。

セイシ゛ョウ



4 実行ボタンを押します。

参照メニューに戻ります。

シ゛コシンタ゛ンケッカ



お知らせ

設定状態で約30秒間ボタン操作を行わないと待機状態に戻ります。

V.25bisアドレスコールについて

V.25bisとは、一般交換電話網に接続するVシリーズモデムに関して自動起呼、自動応答のデータ端末間を接続する手順です。

コマンドとインディケーションとデータフォーマット

データ端末機器から本装置に送出されるデータを‘コマンド’、本装置からデータ端末機器に送出されるデータを‘インディケーション’と呼びます。
又、送受信は、64kbit/s同期式のBSC、HDLCフォーマットにより行います。

BSCフォーマット

SYN	SYN	STX	コマンド／インディケーション	ETX

SYN：同期記号
STX：テキスト開始
ETX：テキスト終了

HDLCフォーマット

F	A	C	コマンド／インディケーション	FCS	F

F：フラグ　FCS：フレーム検査シーケンス
A：アドレスフィールド
C：コントロールフィールド

コマンド

コマンド	内容
CRN	発信指示
CRS	短縮発信指示
PRN	短縮ダイヤル登録要求
RLN	短縮ダイヤル表示要求
DIC	自動応答禁止要求
CIC	DICコマンドの解除要求

インディケーション

インディケーション	内容
INC	着信表示
INV	コマンドエラー
VAL	コマンド正常受信
LSN	RLNコマンドに対する応答
DLC	CRN、CRSコマンドに対する再発信規制の応答
CFI	CRN、CRSコマンドに対する発信失敗時の応答

V.25bisアドレスコールについて

V.25bisとは、一般交換電話網に接続するVシリーズモデムに関して自動起呼、自動応答のデータ端末間を接続する手順です。

コマンドとインディケーション詳細

CRNコマンド（本装置に対する発信指示）

●パラメータフォーマット

CRN XXX・・・・・・・・・・XXX ＊ XX・・・・・・・・・・XX ＃ X XX・・・・・・・・・・XX

電話番号（最大20桁）　サブアドレス（最大19桁）　通信指示　コメント

- 電話番号、サブアドレスが最大桁数を超えたときはコマンドエラーになります。
- 通信指示は、＃0：トランスペアレント通信、＃1〜6：1B〜6B通信、＃0〜6以外：1B通信になります。また、通信指示＝最大接続チャネルとなります。
- 1番目のチャネルには、設定しているアドレスおよびサブアドレスで発信しますが、2番目以降のチャネルはアドレスのみで発信します。

CRSコマンド（本装置に対する短縮発信指示）

●パラメータフォーマット

CRS XX

短縮番号（01〜20）

PRNコマンド（本装置への短縮ダイヤル登録要求）

●パラメータフォーマット

〔登録する〕

PRN XX ；XXX・・・・・・・・・・XXX ＊ XX・・・・・・・・・・XX ＃ X

短縮番号（01〜20）　電話番号（最大20桁）　サブアドレス（最大19桁）　通信指示

- 短縮番号、電話番号、サブアドレスが最大数、最大桁数を超えたときはコマンドエラーになります。
- 通信指示は、＃0：トランスペアレント通信、＃1〜6：1B〜6B通信、＃0〜6以外：1B通信になります。また、通信指示＝最大接続チャネル数となります。
- このコマンドで設定できない項目は全てデフォルトになります。

〔消去する〕

PRN XX ；

短縮番号（01〜20）

- 短縮番号 XX に登録されている電話番号を消去します。（デフォルト値になります）

RLNコマンド（本装置の短縮ダイヤル表示要求）

●パラメータフォーマット

〔短縮番号を指示して表示〕

RLN XX

短縮番号（01〜20）

〔全短縮番号表示〕

RLN

- 短縮ダイヤルのメモリエリアの内容を表示します。

DICコマンド（本装置の自動応答禁止要求）

●パラメータフォーマット

DIC

- このコマンドを受けたときは、自動応答禁止状態になります。
- DTE状態が着信状態のときは、着信した呼を切断します。(ただし、応答方法の設定が自動応答‘ジドウ’のときのみ)
- アドレスコール＝「ナシ」のときは、自動応答禁止状態は無効となります。

CICコマンド（DICコマンドの解除要求）

●パラメータフォーマット

CIC

- このコマンドを受けたときは、自動応答禁止状態を解除します。（DICコマンドの解除）
- データ端末が着信状態のときは、その呼に自動応答します。
  (ただし、応答方法の設定が自動応答‘ジドウ’で、DTEからの応答信号がONのときのみ)

V.25bisアドレスコールについて

V.25bisとは、一般交換電話網に接続するVシリーズモデムに関して自動起呼、自動応答のデータ端末間を接続する手順です。

INCインディケーション（本装置に接続されたデータ端末機器への着信表示）

●パラメータフォーマット

〔相手アドレスなし〕

INC

〔相手アドレスあり〕

INC XXX･･･････････XXX ＊ XX･･･････････XX

電話番号（最大20桁）　サブアドレス（最大19桁）

- 相手アドレス（発番号情報要素、発サブアドレス情報要素）があるときは続けて表示します。
- 電話番号＋サブアドレスが最大桁を超えた部分は表示しません。

INVインディケーション（コマンドエラー通知）

●パラメータフォーマット

INV

- コマンドエラーになる場合は未設定コマンドやパラメータエラーのときです。

VALインディケーション（コマンド正常受信）

●パラメータフォーマット

VAL

- 本装置に正常にコマンド受信されたことを知らせます。

LSNインディケーション（RLNコマンドに対する応答表示）

●パラメータフォーマット

〔登録あり〕

LSN XX ；XXX･･･････････XXX ＊ XX･･･････････XX ＃ X

短縮番号（01～20）　電話番号（最大20桁）　サブアドレス（最大19桁）　通信指示

- 通信指示は、＃0：トランスペアレント通信、＃1～6：1B～6B通信、＃0～6以外：1B通信になります。
  また、通信指示＝最大接続チャネル数となります。

〔登録なし〕

LSN XX ；

短縮番号（01～20）

DLCインディケーション（CRN、CRSコマンドに対する発信規制の応答）

●パラメータフォーマット

DLC

• 発信指示をしたが、再発信規制のため接続失敗したとき表示します。

CFIインディケーション（CRN、CRSコマンドに対する発信失敗の応答）

●パラメータフォーマット

CFIXX

失敗要因

• 失敗要因は下表の種類があります。

失敗要因	内　　容
AB	タイムアウトで接続失敗したとき
NS	短縮番号に電話番号が登録されていないとき
ET	その他

X.21アドレスコールについて

X.21とは公衆データ網における同期式データ端末装置（DTE）とデータ回線終端装置（DCE）間のインタフェース用物理的特性と呼制御手順を定義したものです。

呼制御手順の送受信は64kbit/s同期式により行います。

待機時

データ端末機器がレディ状態にある場合、（T、C）＝（1、OFF）となっていると本装置は（R、I）＝（1、OFF）にしています。

発信時

DTEは「選択信号送出可」信号を受信した後、選択信号の送信を開始します。

- 選択信号のフォーマット

S Y N	S Y N	XXX･･･････････XXX	*	XX･･････････XX	#	X	XX･･････････XX	+
		電話番号（最大20桁）	区切り符号	サブアドレス（最大19桁）	区切り符号	通信指示	コメント	終了符号

通信指示は、＃0：トランスペアレント通信、＃1～6：1B～6B通信です。
1番目のチャネルには、設定しているアドレスおよびサブアドレスで発信しますが、2番目以降のチャネルはアドレスのみで発信します。

着信時

着信があった場合、2つの「SYN」符号の後「BEL」符号を送信します。
DTEは「BEL」符号を受信してから（T,C）＝（1,ON）とすることで応答を指示します。

復旧要求

通信中にC＝ON→OFFとなった場合、本装置は（R、I）＝（0、OFF）にします。
網に対して「切断」メッセージを送出します。その後、全チャネルが解放されたら、回路Rを「1」にします。

切断指示

通信中に網より「切断」メッセージを受信すると（R、I）＝（0、OFF）にします。同時に網に「解放」メッセージを送出します。

不完了呼

DTEより要求された選択信号により網へ接続が確立できない場合、本装置はその理由をコールプログレスフォーマットにより回路Rに送信します。

［SI付加しない場合］

SYN	SYN	XX	＋
		コード	終了符号

［SI付加する場合］

SYN	SYN	SI	XX	＋
			コード	終了符号

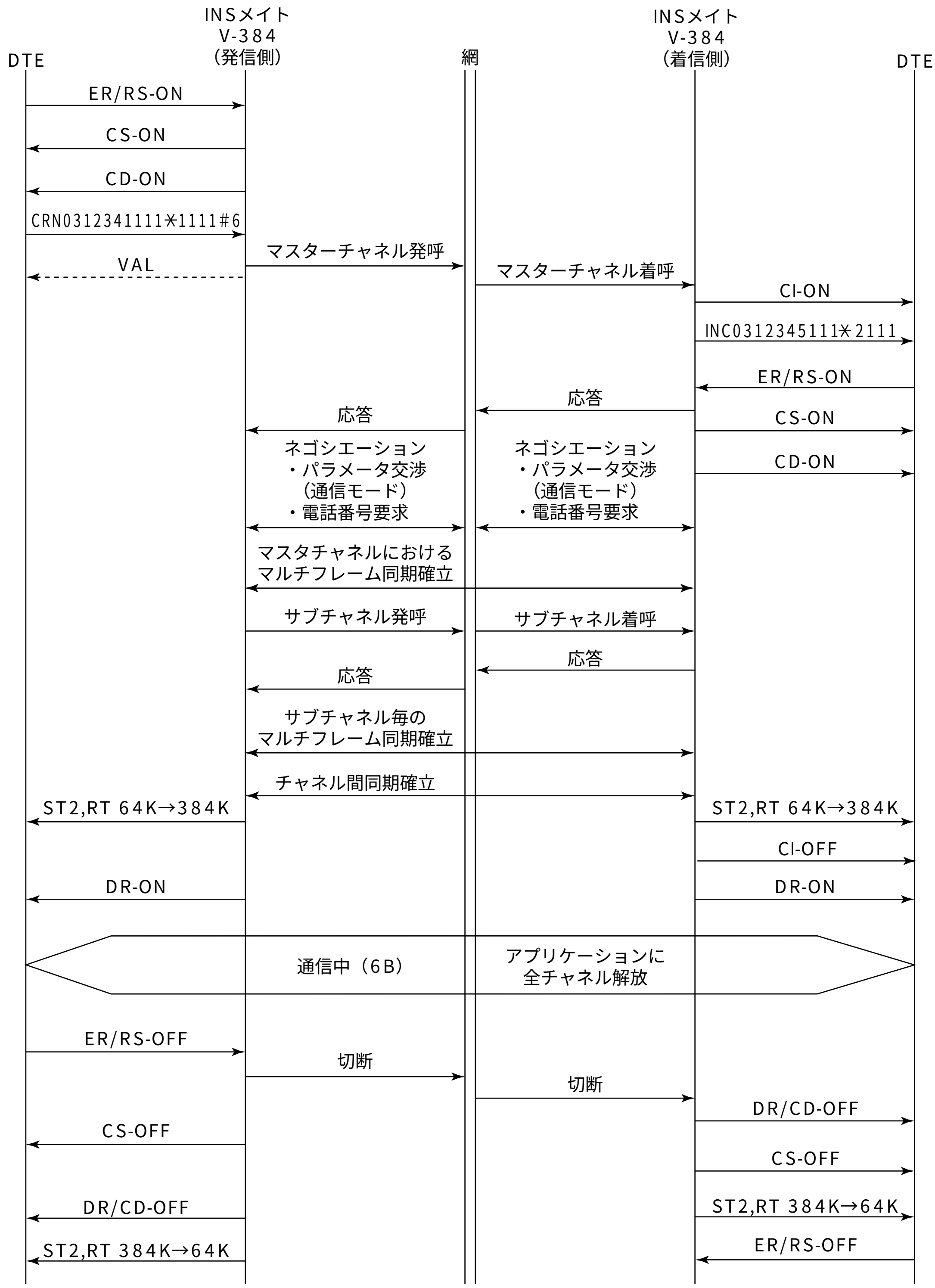
コード	コールプログレス信号名	内容
21	相手ビジー	相手から切断理由＃17（着ユーザビジー）で切断された
22	選択信号手順誤り	選択信号のフォーマットが不正、選択信号手順タイムアウト
43	接続不可	網から切断理由＃1（欠番）で切断された
45	制御可ノット・レディ	網から切断理由＃18（着ユーザレポンスなし）で切断された またはタイムアウト
46	制御不可ノット・レディ	他のコールプログレス信号理由に当てはまらないとき
71	長期網輻輳	網から切断理由＃42（交換機輻輳）で切断された

V.35発着信シーケンス

●アドレスコールの場合（例）（電話番号0312341111，サブアドレス1111，接続チャネル数6Bで発信）

INSメイトV-384の設定値

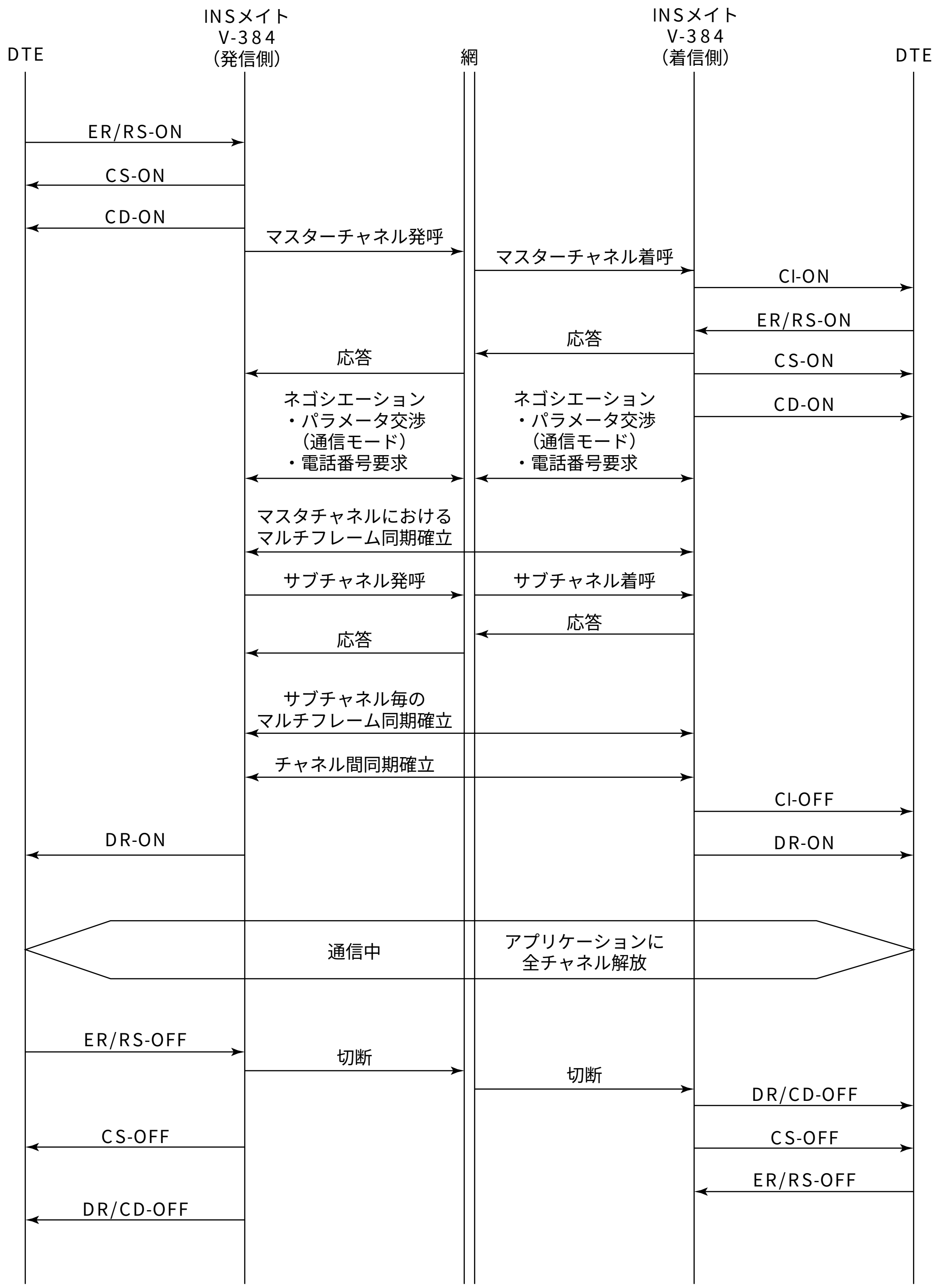
- **DTEインタフェース＝「V.35」**
- **ER・C設定＝「DTE」**
- **RS設定＝「DTE」**
- **DR設定＝「OFFスル」**
- **CI設定＝「チャクシンノミ」**
- **CD設定＝「ER/RS＝ONデON」**
- **自動発信=「ナシ」**
- **アドレスコール＝「アリ」**



●自動発着信の場合（例）

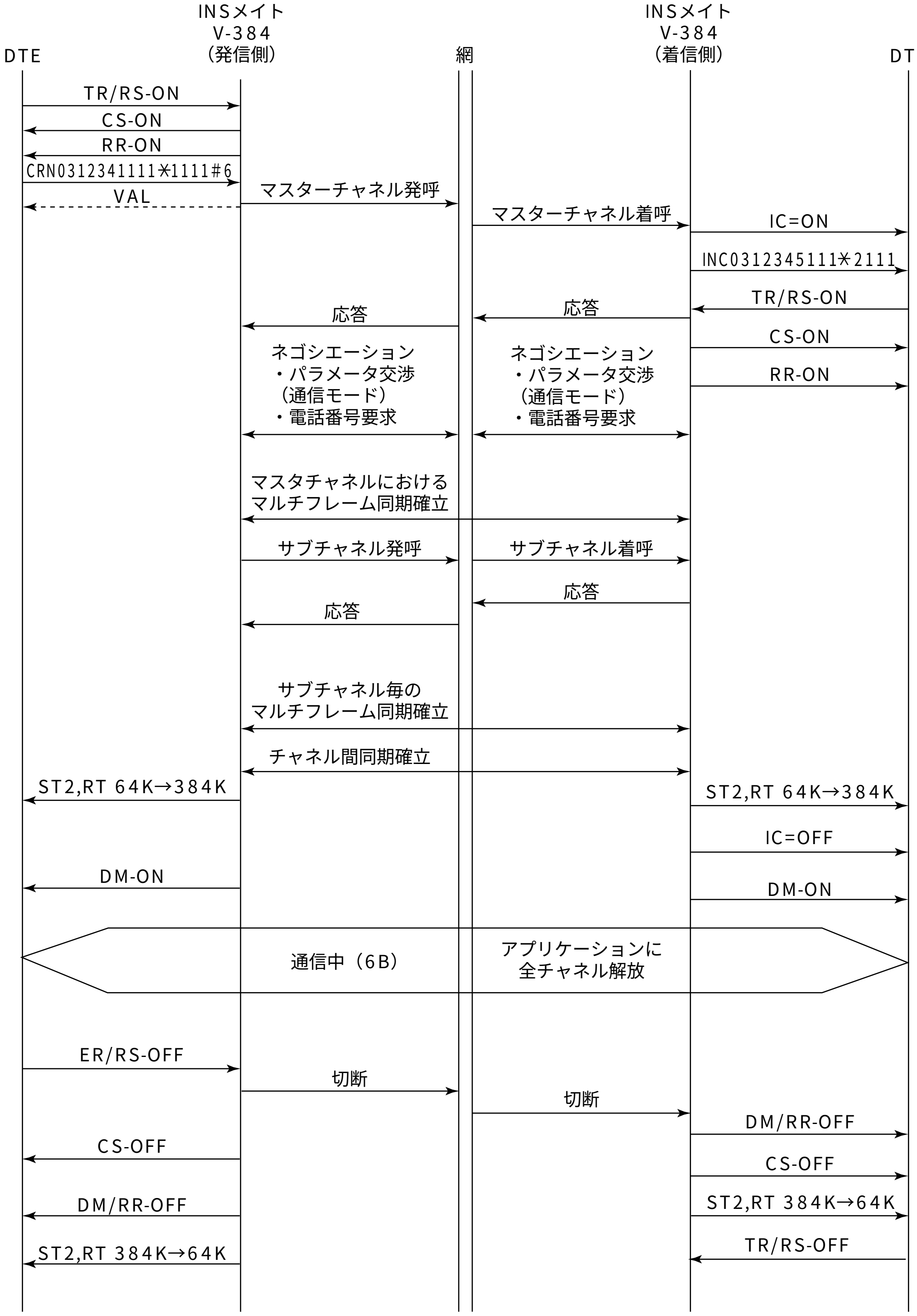
INSメイトV-384の設定値

- **DTEインタフェース＝「V.35」**
- **ER・C設定＝「DTE」**
- **RS設定＝「DTE」**
- **DR設定＝「OFFスル」**
- **CI設定＝「チャクシンノミ」**
- **CD設定＝「ER/RS＝ONデON」**
- **自動発信=「01〜20」**



RS-449発着信シーケンス

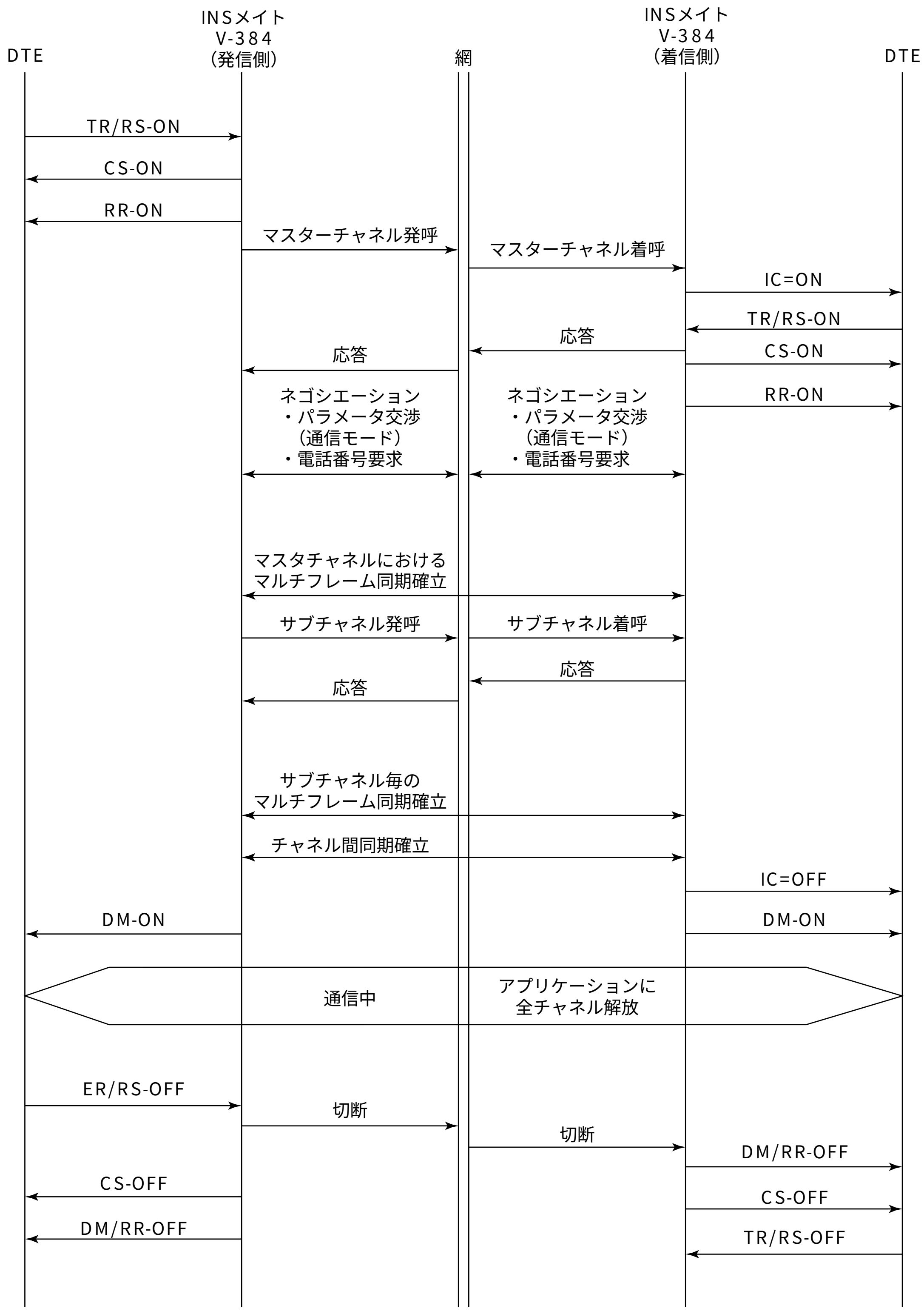
●アドレスコールの場合（例）（電話番号0312341111，サブアドレス1111，接続チャネル数6Bで発信）
INSメイトV-384の設定値
- DTEインタフェース＝「RS-449」
- ER・C設定＝「DTE」
- RS設定＝「DTE」
- CI設定=「チャクシンノミ」
- DR設定＝「OFFスル」
- CD設定＝「ER/RS＝ONデON」
- 自動発信=「ナシ」
- アドレスコール＝「アリ」



●自動発着信の場合（例）

INSメイトV-384の設定値

- DTEインタフェース＝「RS-449」
- ER・C設定＝「DTE」
- RS設定＝「DTE」
- CI設定=「チャクシンノミ」
- DR設定＝「OFFスル」
- CD設定＝「ER/RS＝ONデON」
- 自動発信=「01～20」

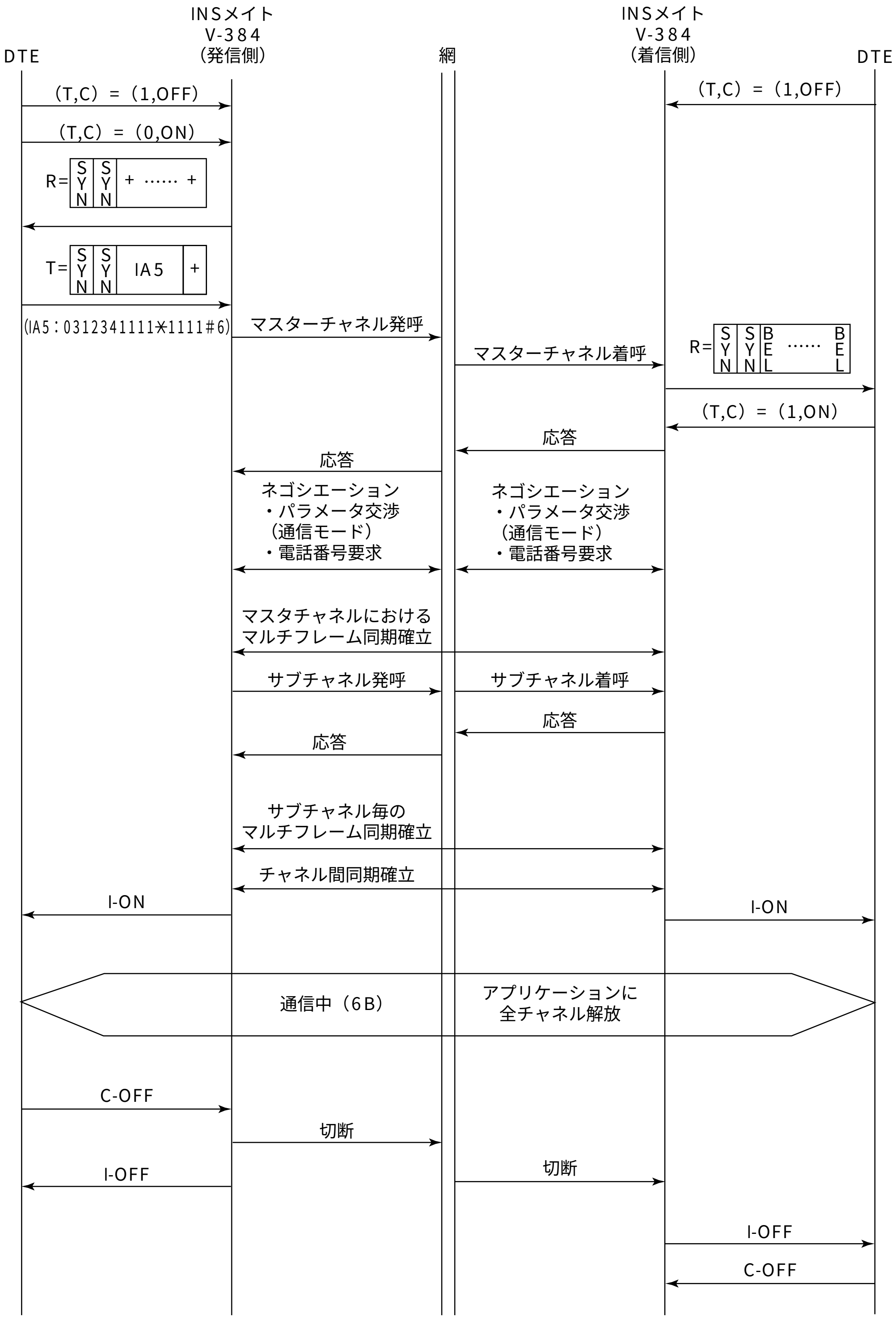


X.21発着信シーケンス

●アドレスコールの場合（例）（電話番号0312341111，サブアドレス1111，接続チャネル数6Bで発信）

INSメイトV-384の設定値

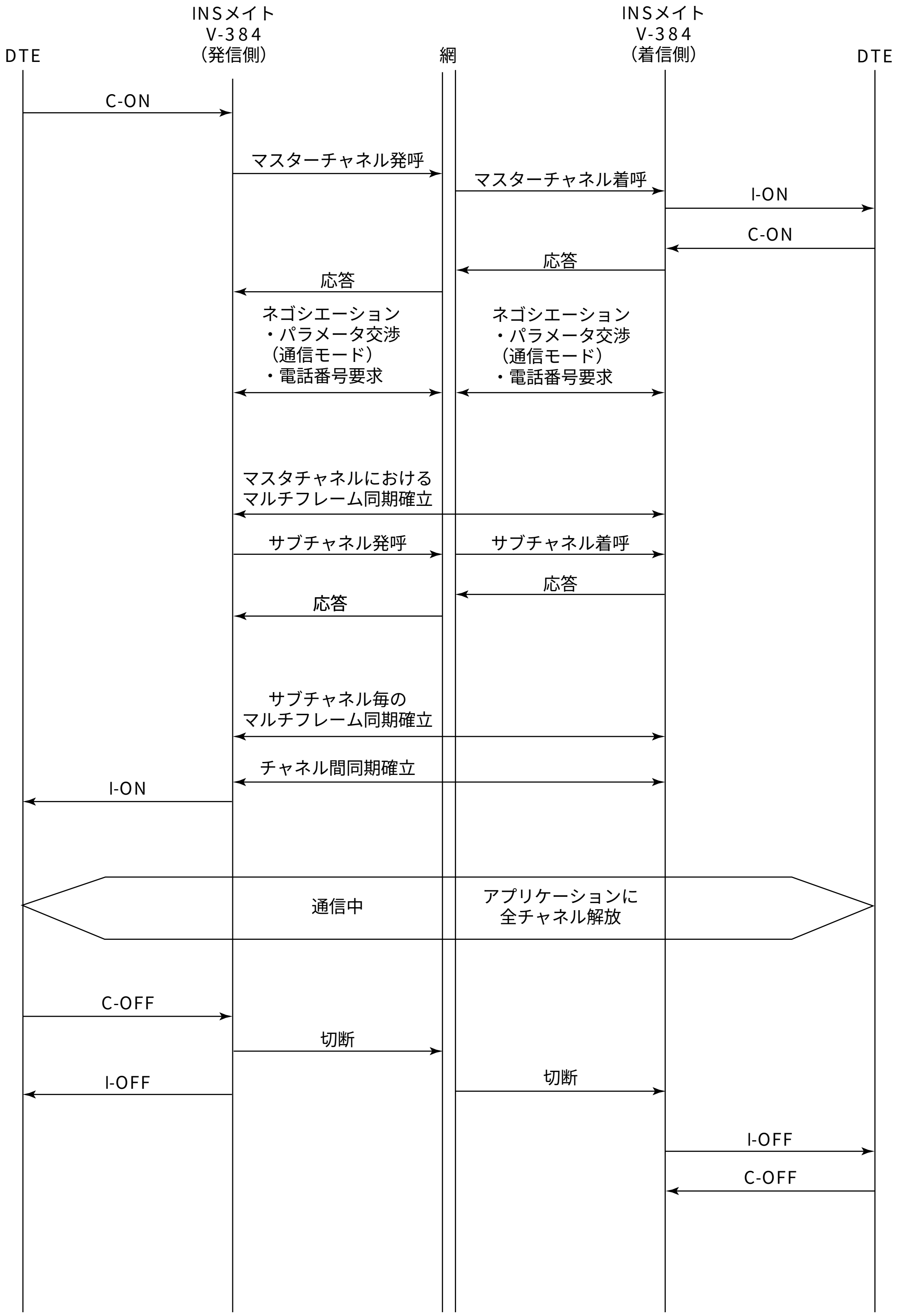
- **DTEインタフェース＝「X.21」**
- **自動発信=「ナシ」**
- **アドレスコール=「アリ」**



●自動発着信の場合（例）

INSメイトV-384の設定値

- **DTEインタフェース＝「X.21」**
- **ER・C設定＝「DTE」**
- **自動発信=「01～20」**

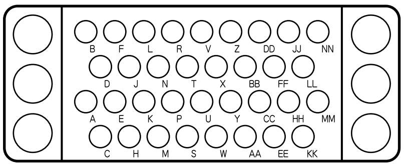


V.35インタフェースの信号線

V.35は、同期式データ伝送用モデムについての規定です。

●データ端末機器－本装置間の相互接続回路の名称とピン配置

34ピンコネクタ（メス型）
（ISO　2593準拠）



固定用ネジは4-40UNCネジを使用

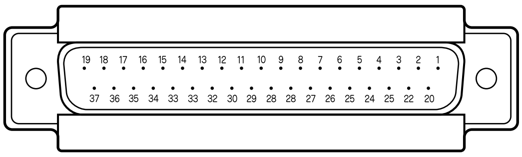
ピン番号	相互接続回路		信号の方向		機　　能
	名　　称	記号	端末	本装置	
A	保安用アース	FG	──	──	装置のフレームアースです
B	信号用アース	SG	──	──	相互接続回路の基準電位を与えます
C	送信要求	RS	──	→	本装置のデータ送信機能を制御します ON　：本装置にデータ送信を要求します OFF：本装置にデータ送信を要求しません
D	送信可	CS	←	──	本装置がデータ送信可能かどうかを示します ON　：本装置にデータの送信が可能です OFF：本装置にデータを送信できません
E	データセット レディ	DR	←	──	本装置がデータ送信可能かどうかを示します ON　：データ端末とデータ授受を行う準備ができていることを示します OFF：データ端末とデータ授受を行う準備ができていないことを示します
F	キャリア検出	CD	←	──	本装置が、データ端末にデータ受信を要求していることを示します ON　：データ端末にデータ受信を要求します OFF：データ端末にデータ受信を要求しません
H	データ端末レディ	ER	──	→	データ端末で動作準備ができているかどうかを示します ON　：データ端末でデータ授受の準備ができていることを示します OFF：データ端末でデータ授受の準備ができていないことを示します
J	呼出表示	CI	←	──	データ端末に着信していることを示します ON　：着信があることを示します OFF：着信がないことを示します
P	送信データ	SD-A	──	→	データ端末から本装置に送られるデータです
R	受信データ	RD-A	←	──	本装置からデータ端末に送られるデータです
S	送信データ	SD-B	──	→	データ端末から本装置に送られるデータです
T	受信データ	RD-B	←	──	本装置からデータ端末に送られるデータです
V	受信タイミング	RT-A	←	──	データ端末に受信信号のタイミングを与えます
X	受信タイミング	RT-B	←	──	データ端末に受信信号のタイミングを与えます
Y	送信タイミング	ST2-A	←	──	データ端末に送信信号のタイミングを与えます
AA	送信タイミング	ST2-B	←	──	データ端末に送信信号のタイミングを与えます

RS-449 インタフェースの信号線

RS-449は、DTEとDCE間の機械的特性と電気的特性についての規定です。

●データ端末機器－本装置間の相互接続回路の名称とピン配置

37ピンコネクタ（メス型）
（JIS　X5103準拠）



固定用ネジはM3のネジを使用

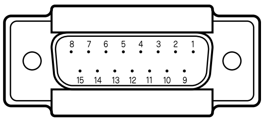
ピン番号	相互接続回路		信号の方向		機　　能
	名　　称	記号	端末	本装置	
1	保安用アース	FG	───	───	装置のフレームアースです
4	送信データ	SD-A	───	──→	データ端末から本装置に送られるデータです
5	送信タイミング	ST-A	←──	───	データ端末に送信信号のタイミングを与えます
6	受信データ	RD-A	←──	───	本装置からデータ端末に送られるデータです
7	送信要求	RS-A	───	──→	本装置のデータ送信機能を制御します
8	受信タイミング	RT-A	←──	───	データ端末に受信信号のタイミングを与えます
9	送信可	CS-A	←──	───	本装置へデータ送信可能かどうかを示します
11	データセットレディ	DM-A	←──	───	本装置がデータ送信可能かどうかを示します
12	データ端末レディ	TR-A	───	──→	データ端末で動作準備ができているかどうかを示します
13	受信キャリア検出	RR-A	←──	───	本装置が、データ端末にデータ受信を要求していることを示します
15	被呼表示	IC	←──	───	本装置が着呼信号を受信していることを示します
19	信号用アース	SG	───	───	相互接続回路の基準電位を与えます
22	送信データ	SD-B	───	──→	データ端末から本装置に送られるデータです
23	送信タイミング	ST-B	←──	───	データ端末に送信信号のタイミングを与えます
24	受信データ	RD-B	←──	───	本装置からデータ端末に送られるデータです
25	送信要求	RS-B	───	──→	本装置のデータ送信機能を制御します
26	受信タイミング	RT-B	←──	───	データ端末に受信信号のタイミングを与えます
27	送信可	CS-B	←──	───	本装置がデータ送信可能かどうかを示します
29	データセットレディ	DM-B	←──	───	本装置がデータ送信可能かどうかを示します
30	データ端末レディ	TR-B	───	──→	データ端末で動作準備ができているかどうかを示します
31	受信キャリア検出	RR-B	←──	───	本装置が、データ端末にデータ受信を要求していることを示します

X.21 インタフェースの信号線

X.21は、公衆データ網における同期式動作向けのデータ端末装置とデータ回線終端装置間のインタフェースについての規定です。

●データ端末機器ー本装置間の相互接続回路の名称とピン配置

15ピンコネクタ（メス型）
（JIS　X5102準拠）



固定用ネジはM3のネジを使用

ピン番号	相互接続回路		信号の方向		機　能
	名　称	記号	端末	本装置	
2	送信データ	T-A	────	───→	データ端末から本装置に送られるデータです
3	データ端末レディ	C-A	────	───→	データ端末で動作準備ができているかどうかを示します
4	受信データ	R-A	←───	────	本装置からデータ端末に送られるデータです
5	受信キャリア検出	I-A	←───	────	本装置が、データ端末にデータ受信を要求していることを示します
6	送受信タイミング	S-A	←───	────	データ端末に送受信信号のタイミングを与えます
7	フレームタイミング	B-A	←───	────	データ端末に、フレームのタイミングを与えます
8	信号用アース	SG	────	────	相互接続回路の基準電位を与えます
9	送信データ	T-B	────	───→	データ端末から本装置に送られるデータです
10	データ端末レディ	C-B	────	───→	データ端末で動作準備ができているかどうかを示します
11	受信データ	R-B	←───	────	本装置からデータ端末に送られるデータです
12	受信キャリア検出	I-B	←───	────	本装置が、データ端末にデータ受信を要求していることを示します
13	送受信タイミング	S-B	←───	────	データ端末に送受信信号のタイミングを与えます
14	フレームタイミング	B-B	←───	────	データ端末に、フレームのタイミングを与えます
15	保安用アース	FG	────	────	装置のフレームアースです

切断時の理由表示

●切断要因

表　示	内　容
カイセンセツダン	網から切断を受信したため切断した
ジソウチセツダン	通信中、本装置から通信を切断した
チャネルブソク	チャネル数不足のため通信を切断した
ハッシンチュウシ	相手が応答する前に本装置から通信を切断した
タイムアウト	本装置のタイムアウトにて通信を切断した
バルク	バルク回路のエラー検出にて通信を切断した
バルクモード	バルクモードの不一致を検出したため通信を切断した
リモート	リモート保守回線が切断した

●理由

表　示	内　容	表　示	内　容
＃1	欠番	＃63	その他のサービス利用不可クラス
＃2	指定中継網へのルートなし	＃65	未提供伝達能力指定
＃3	相手へのルートなし	＃66	未提供チャネル種別指定
＃6	チャネル利用不可	＃69	未提供ファシリティ要求
＃7	呼が設定済のチャネルへ着呼	＃70	制限ディジタル情報転送能力のみ可能
＃16	正常切断	＃79	その他のサービス、またはオプションの未提供クラス
＃17	着ユーザビジー	＃81	無効呼番号値使用
＃18	着ユーザレスポンスなし	＃82	無効チャネル番号使用
＃19	着ユーザ応答なし（呼出中）	＃83	指定された中断呼識別番号未使用
＃20	加入者不在	＃84	中断呼識別番号使用中
＃21	通信拒否	＃85	中断呼なし
＃22	相手加入者番号変更	＃86	指定中断呼切断復旧済
＃26	選択されなかったユーザの切断復旧	＃87	ユーザはCUGメンバでない
＃27	着側インタフェース起動不可	＃88	端末属性不一致
＃28	無効番号フォーマット（不完全番号）	＃91	無効中継網選択
＃29	ファシリティ拒否	＃95	その他の無効メッセージクラス
＃30	状態問合への応答	＃96	必須情報要素不足
＃31	その他の正常クラス	＃97	メッセージ種別未定義、または未提供
＃34	利用可回線／チャネルなし	＃98	呼状態とメッセージ不一致、またはメッセージ種別未定義、または未提供
＃38	網障害		
＃41	一時的障害	＃99	情報要素／パラメータ未定義または、未提供
＃42	交換機輻輳	＃100	情報要素内容無効
＃43	アクセス情報廃棄	＃101	呼状態とメッセージ不一致
＃44	要求回線／チャネル利用不可	＃102	タイマ満了による回復
＃47	その他のリソース使用不可クラス	＃111	その他の手順誤りクラス
＃49	サービス品質（QOS）利用不可	＃127	その他のインタワーキングクラス
＃50	要求ファシリティ未契約	リンク1	回線が外れている、または自アドレスなし
＃57	伝達能力不許可	リンク2	リンク障害、または通信中に回線が外れた
＃58	現在利用不可伝達能力	キセイ	再発信回数の制御による発信規制

ISO/IEC 13871とは

ISO/IEC 13871は、Bチャネルをn本束ねて、n×64kbit/sの高速伝送路を論理的に設定し、通信データのバルク伝送を行うものです。テレビ会議システム、LANなど、高速なアプリケーションに見合う伝送速度を出すために、複数のチャネルがネットワーク上に張られ、アプリケーションからはあたかもn×64kbit/sの高速伝送を行っているように見えます。

モード

ISO/IEC 13871には、次にあげるように5つのモードがありますが、本装置では透過モードとモード1が利用できます。

●透過モード（トランスペアレントモード）

このモードでは、着信呼はただちにアプリケーションに解放されます。したがって、ターミナルアダプタでは通信パラメータの交渉や同期補正は行いません。アプリケーションで同期をとる場合は、このモードを利用します。

●モード0

このモードでは、最初に接続されたチャネル（マスタチャネル）上で通信パラメータの交渉（電話番号の受け渡し）のみが行われます。外部のビデオコーデックなどで同期をとる場合に、このモードを利用します。

●モード1

このモードでは、アプリケーション伝送速度は64kbit/sの倍数になります。ユーザは回線の全バンド幅を利用できますが、通信中のチャネルの監視機能はありません。ターミナルアダプタは、n本のBチャネルを接続し、通信パラメータの交渉と同期確立のあとに全チャネルをアプリケーションに解放します。したがって、回線エラーなどによって同期が失われた場合は、ユーザは再び呼の設定を行う必要があります。

●モード2

このモードでは、アプリケーション伝送速度は63kbit/sのn倍になります。これは、回線をモニタするためのオーバヘッドの分（1/64）だけデータ伝送に使用できるビットが減少するためです。ターミナルアダプタは、常に同期補正とビットエラーテストを行うことによって全チャネルを監視します。このため、回線エラーが生じても同期は自動回復します。

●モード3

このモードでは、アプリケーション伝送速度は64kbit/sの（n－1）倍になります。これは、1本余分のBチャネルを接続して、回線モニタのためのオーバヘッドを確保し、回線速度と等しいアプリケーション伝送速度を保つためです。ターミナルアダプタは、常に同期補正とエラーテストを行うことによって、チャネルを監視します。このため、回線エラーが生じても同期は自動回復します。

設定一覧表

お客様が設定できる機能の一覧です。
「お客様の設定」の欄には、設定された内容をご記入ください。

機　能	設定内容（下線部はお買い求め時の設定値）	お客様の設定			参照ページ
短縮ダイヤル	短縮番号01	MAX：	MIN：	ウケル/ウケナイ	☛P28
	短縮番号01−チャネル1	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号01−チャネル2	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号01−チャネル3	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号01−チャネル4	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号01−チャネル5	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号01−チャネル6	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号02	MAX：	MIN：	ウケル/ウケナイ	
	短縮番号02−チャネル1	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号02−チャネル2	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号02−チャネル3	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号02−チャネル4	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号02−チャネル5	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号02−チャネル6	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号03	MAX：	MIN：	ウケル/ウケナイ	
	短縮番号03−チャネル1	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号03−チャネル2	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号03−チャネル3	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号03−チャネル4	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号03−チャネル5	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号03−チャネル6	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号04	MAX：	MIN：	ウケル/ウケナイ	
	短縮番号04−チャネル1	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号04−チャネル2	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号04−チャネル3	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号04−チャネル4	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号04−チャネル5	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号04−チャネル6	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号05	MAX：	MIN：	ウケル/ウケナイ	
	短縮番号05−チャネル1	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号05−チャネル2	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号05−チャネル3	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号05−チャネル4	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号05−チャネル5	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号05−チャネル6	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号06	MAX：	MIN：	ウケル/ウケナイ	
	短縮番号06−チャネル1	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号06−チャネル2	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号06−チャネル3	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号06−チャネル4	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号06−チャネル5	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号06−チャネル6	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号07	MAX：	MIN：	ウケル/ウケナイ	
	短縮番号07−チャネル1	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号07−チャネル2	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号07−チャネル3	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号07−チャネル4	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号07−チャネル5	アドレス：		サブアドレス：	
	短縮番号07−チャネル6	アドレス：		サブアドレス：	

設定一覧表

お客様が設定できる機能の一覧です。
「お客様の設定」の欄には、設定された内容をご記入ください。

機　能	設定内容（下線部はお買い求め時の設定値）	お客様の設定	参照ページ
短縮ダイヤル	短縮番号08	MAX：　MIN：　ウケル/ウケナイ	☛P28
	短縮番号08−チャネル1	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号08−チャネル2	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号08−チャネル3	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号08−チャネル4	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号08−チャネル5	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号08−チャネル6	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号09	MAX：　MIN：　ウケル/ウケナイ	
	短縮番号09−チャネル1	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号09−チャネル2	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号09−チャネル3	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号09−チャネル4	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号09−チャネル5	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号09−チャネル6	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号10	MAX：　MIN：　ウケル/ウケナイ	
	短縮番号10−チャネル1	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号10−チャネル2	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号10−チャネル3	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号10−チャネル4	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号10−チャネル5	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号10−チャネル6	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号11	MAX：　MIN：　ウケル/ウケナイ	
	短縮番号11−チャネル1	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号11−チャネル2	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号11−チャネル3	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号11−チャネル4	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号11−チャネル5	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号11−チャネル6	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号12	MAX：　MIN：　ウケル/ウケナイ	
	短縮番号12−チャネル1	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号12−チャネル2	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号12−チャネル3	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号12−チャネル4	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号12−チャネル5	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号12−チャネル6	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号13	MAX：　MIN：　ウケル/ウケナイ	
	短縮番号13−チャネル1	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号13−チャネル2	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号13−チャネル3	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号13−チャネル4	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号13−チャネル5	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号13−チャネル6	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号14	MAX：　MIN：　ウケル/ウケナイ	
	短縮番号14−チャネル1	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号14−チャネル2	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号14−チャネル3	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号14−チャネル4	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号14−チャネル5	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号14−チャネル6	アドレス：　サブアドレス：	

機　能	設定内容（下線部はお買い求め時の設定値）	お客様の設定	参照ページ
短縮ダイヤル	短縮番号15	MAX：　MIN：　ウケル／ウケナイ	☛P28
	短縮番号15－チャネル1	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号15－チャネル2	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号15－チャネル3	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号15－チャネル4	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号15－チャネル5	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号15－チャネル6	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号16	MAX：　MIN：　ウケル／ウケナイ	
	短縮番号16－チャネル1	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号16－チャネル2	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号16－チャネル3	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号16－チャネル4	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号16－チャネル5	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号16－チャネル6	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号17	MAX：　MIN：　ウケル／ウケナイ	
	短縮番号17－チャネル1	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号17－チャネル2	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号17－チャネル3	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号17－チャネル4	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号17－チャネル5	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号17－チャネル6	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号18	MAX：　MIN：　ウケル／ウケナイ	
	短縮番号18－チャネル1	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号18－チャネル2	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号18－チャネル3	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号18－チャネル4	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号18－チャネル5	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号18－チャネル6	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号19	MAX：　MIN：　ウケル／ウケナイ	
	短縮番号19－チャネル1	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号19－チャネル2	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号19－チャネル3	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号19－チャネル4	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号19－チャネル5	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号19－チャネル6	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号20	MAX：　MIN：　ウケル／ウケナイ	
	短縮番号20－チャネル1	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号20－チャネル2	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号20－チャネル3	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号20－チャネル4	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号20－チャネル5	アドレス：　サブアドレス：	
	短縮番号20－チャネル6	アドレス：　サブアドレス：	
自動発信	ナシ 01～20		☛P40
自アドレス	チャネル1	自アドレス：　サブアドレス：	☛P24
	チャネル2	自アドレス：　サブアドレス：	
	チャネル3	自アドレス：　サブアドレス：	
	チャネル4	自アドレス：　サブアドレス：	
	チャネル5	自アドレス：　サブアドレス：	
	チャネル6	自アドレス：　サブアドレス：	

設定一覧表

お客様が設定できる機能の一覧です。
「お客様の設定」の欄には、設定された内容をご記入ください。

機　能	設定内容（下線部はお買い求め時の設定値）	お客様の設定	参照ページ
リモートサブアドレス	NTT ユーザ	リモートサブアドレス：	☛P55
パスワード	パスワード最大8桁		☛P56
識別着信	シナイ スル		☛P50
発アドレス通知	スル シナイ		☛P51
DTE インタフェース	V.35 RS−449 X.21		☛P30、31
カレンダ	98−01−01 00：00		☛P26
応答設定	ジドウ シュドウ ジョウジ		☛P46
バルク動作設定	ツウジョウ チャクシンOPT		☛P52
自動発信制御	ER RS C		☛P31
ER・C設定	DTE ON		☛P69
RS設定	DTE ON		☛P70
DR設定	OFFスル OFFシナイ		☛P71
CI設定	チャクシンノミ ツウシンモON		☛P72
CD設定	ER/RS＝ONデON ツウシンチュウON		☛P73
ER・C/RSオフ 検出時間設定	1100ms 80ms		☛P74
CS遅延時間設定	60ms 20ms		☛P75
V.25bis同期モード設定	HDLC BSC		☛P36
V.25bis発信VAL インディケーション設定	シュツリョクシナイ シュツリョクスル		☛P37
V.25bis相手アドレス通知設定	アイテアドレスツウチナシ アイテアドレスツウチアリ		☛P38
X.21 SIキャラクタ設定	SIツケナイ SIツケル		☛P39
文字構成設定	7ビット＋キスウ 7ビット＋グウスウ 8ビット＋パリティナシ		☛P37
アドレスコール	アリ ナシ		☛P34
通信履歴確認		――――	☛P49
自己診断結果確認		――――	☛P76
設定クリア	NO YES	――――	☛P18
オールクリア	NO YES	――――	☛P20

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、修理に出す前に次の点をご確認ください。

こんなとき	原　　因	確認してください	参照ページ
動作しない	接続方法が間違っている	正しく接続してください	☛P14
	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグを正しく差し込んでください	☛P14
	停電中のため	故障ではありません	—
ディスプレイの表示が出ない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグを正しく差し込んでください	☛P14
発信ができない	自アドレスが正しく設定されていない	正しく設定してください	☛P24
発信ができない（通信履歴の切断時に「リンク1」「リンク2」が表示される）	INSネット64回線接続用ジャックとINSネット64回線用モジュラジャックの接続がしっかりされていない	付属の電話機コードで正しく接続してください	☛P14
自動発信ができない	データ端末機器接続用コネクタに正しく接続されていない	正しく接続してください	☛P14
	相手先の番号が正しく設定されていない	正しく設定してください	☛P28
	自動発信設定がされていない	正しく設定してください	☛P40
	自アドレスが正しく設定されていない	正しく設定してください	☛P24
	データ端末機器の制御信号線の設定が間違っている	正しく設定してください	☛P30、31
データ通信ができない	データ端末機器接続用コネクタに正しく接続されていない	正しく接続してください	☛P14
着信ができない	自アドレスが正しく設定されていない	正しく設定してください	☛P24
	識別着信が「スル」に設定されている	「シナイ」に設定してください	☛P50
設定したチャネル数で通信ができない	回線が正しく接続されていない	正しく接続してください	☛P14
	チャネル番号と自アドレスが正しく設定されていない	正しく設定してください	☛P24
	相手先の電話番号が正しく設定されていない	正しく設定してください	☛P28、44
「ERROR：チャネルブソク」が表示され、発信できない	回線が正しく接続されていない	正しく接続してください	☛P14
	チャネル番号と自アドレスが正しく設定されていない	正しく設定してください	☛P24
	自アドレスの設定チャネル数とMAX、MINの値の関係が正しくない	MAXの値が0のときは、自アドレスを最低1つは設定してください MAXの値がMINの値より大きいか、または等しいときは、自アドレス設定チャネル数をMINの値以上に設定してください	☛P24
		MAXの値がMINの値よりも小さいときは、自アドレス設定チャネル数をMAXの値以上にしてください	
	相手先の電話番号が正しく設定されていない	正しく設定してください	☛P28、44

索　引

アルファベット

五十音

【ア行】

【カ行】

【サ行】

【タ行】

【ハ行】

【マ行】

【ラ行】

仕様／保守サービスのご案内

■仕　様

回線インタフェース	適用回線	INSネット64
	収容回線数	3回線
	接続端子	8ピンモジュラージャック（ISO/IS 8877準拠）
	インタフェース	ITU-T勧告I.430及びTTC標準JT-I430準拠
	インタフェース形態	ポイントーマルチポイント接続　呼毎起動
データポート	収容端末数	1式
	接続インタフェース	V.35　34ピンコネクタ　※1
	電気的インタフェース	ITU-T勧告V.10／V.11／V.28／V.35準拠
	接続制御手順	ITU-T勧告X.21／V.25bis準拠
	最大速度	384kbit/s
通信方式		ISO／IEC 13871、JS-13871準拠
設定方法		LCD表示（16桁2行）
使用電源		AC100V±10V（50／60Hz）
消費電力		約7W
外形寸法		約195mm（幅）×約266mm（奥行）×約51mm（高さ）
質量		約1.0kg

※1：オプションのケーブルを接続することによりX.21、RS-449の接続が可能です。

■保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
ＮＴＴでは、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時にはＮＴＴが無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービスの料金については、ＮＴＴ通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。
〈NTT通信機器お取扱相談センタ：0120-109217（トークニイーナ）〉

●補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

916031A3

この取扱説明書は、
森林資源保護のため、
再生紙を使用してお
ります。

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

〈NTT通信機器お取扱相談センタ：0120－109217（トークニイーナ）〉

NTT
NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE CORPORATION

日本電信電話株式会社
〒163-8019 東京都新宿区西新宿3-19-2

本1594-3（98.11）
INSメイトV-384トリセツ